

新刊案内……………2

ジャンル別書籍紹介

研究書 (国語・日本語・他) ……………	8
(上代) ……………	8
(中古) ……………	11
(中世) ……………	14
(近世) ……………	16
(近代) ……………	16
教科書 ……………	17
(上代) ……………	18
(中古) ……………	19
(中世) ……………	22
(近世) ……………	24
(近代・現代・日本語・教育・言語) ……………	25
一般書 (上代) ……………	26
(中古) ……………	27
(中世) ……………	30
(近世) ……………	33
(近代・現代) ……………	36
(文学・文化全般) ……………	41

シリーズ別書籍紹介

新典社研究叢書 ……………	47
古代中世文学論考 ……………	55
和歌文学注釈叢書 ……………	56
新典社注釈叢書 ……………	56
青表紙本 源氏物語 ……………	56
影印本シリーズ ……………	57
影印校注古典叢書 ……………	58
新典社校注叢書 ……………	59
大妻文庫 ……………	59
活字本 教科書 ……………	59
単行本 (研究書・資料・他) ……………	60
日本の作家 ……………	60
女性作家評伝シリーズ ……………	61
新典社選書 ……………	61
新典社新書 ……………	63
一般単行本 ……………	65
書名索引 ……………	68
著者・編者索引 ……………	75
新典社常備店一覧 ……………	80





古代中世文学論考 第41集 古代中世文学論考刊行会 編
諸書引用の『先代旧事本紀』 松本弘毅／“歴史叙述”として読む漢文伝 河野友哉／『蜻蛉日記』上巻後半部の始発から歌との別れへ 堤和博／平中の物語と『源氏物語』との相互影響関係 伊勢光／若紫巻「北山のなにかし寺」のモデル案 加藤伸江／杯中の月かげ 坪美奈子／『四条宮主殿集』の寛子と主殿 牛山睦子／『太閤真蹟記』異本系統考 竹内洪介

ISBN978-4-7879-3541-0 A5判上製 280頁 6710円



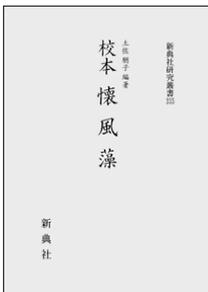
古代中世文学論考 第42集 古代中世文学論考刊行会 編
『先代旧事本紀』における石上神宮の位置 間枝遼太郎／『うつほ物語』忠こそ巻の継母子譚の構造 張可勝／杯中の月かげ 坪美奈子／『擲金抄』所収「讚十斎仏」詩句考 李筱硯／西行『山家心中集』考 穴井潤／惟明親王の『正治初度百首』雑歌考 北原沙友里／日蓮の龍口靈験譚について 丹治正弘

ISBN978-4-7879-3542-7 A5判上製 280頁 6710円



古代中世文学論考 第43集 古代中世文学論考刊行会 編
平安朝文学における乳児の「物語」 小泉咲／若紫巻の北山なにかし寺と高雄山神護寺 川島絹江／『源氏物語』の海辺における四季と鳥の表象 草野勝／玉鬘の「文殿」居住の意義 太田美知子／手習巻・夢浮橋巻の浮舟をめぐる「～はつ」「棄つ」「やむ」 箆尾知佳／『紫式部日記』の言葉 田嶋知子／『堤中納言物語』「貝あはせ」論 陣野英則／『平家物語』の災異説と中世天文道 児島啓祐／當麻曼茶羅縁起成立考 中野顕正

ISBN978-4-7879-3543-4 A5判上製 320頁 7040円

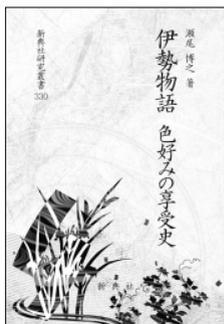


校本 懷風藻 土佐朋子 編著

諸本解題 底本・対校本・附 懷風藻諸本の傾向と関係／校本 懷風藻序・懷風藻目録・懷風藻

＊天理大学附属天理図書館蔵（榊原忠次旧蔵）懷風藻を底本として、現在参看可能なすべての諸本を対象に校合。底本の忠実な翻刻と字形の再現のほか、諸本の解題をも備えた、古代漢詩文研究必携の書。

新典社研究叢書335 ISBN978-4-7879-4335-4 A5判上製 456頁 15400円



伊勢物語 色好みの享受史

瀬尾博之 著

第一部 『伊勢物語』注釈史における主人公像 『伊勢物語愚見抄』から宗祇・三条西家流注釈書へ／『伊勢物語』注釈史における〈憐愍する業平〉の変遷／『伊勢物語集注』について／堂上の『伊勢物語』解釈／『勢語臆断』における業平像／『伊勢物語古意』における業平像／『伊勢物語新釈』の注釈態度／『伊勢物語』注釈史における人物像／第二部 『伊勢物語』と物語の私家集 物語の私家集とは何か／『元良親王集』についての一考察／『一条摂政御集』の物語性／『敦忠集』の物語性／『伊勢物語』の人物像と物語の私家集

新典社研究叢書330 ISBN978-4-7879-4330-9 A5判上製 352頁 11000円



蜻蛉日記上巻前半部研究

堤和博 著

第一章 兼家からの求婚場面、「序段」／第二章 「返し、いと古めきたり」考／第三章 兼家の嘘の言い訳を求める道綱母の歌語り享受／第四章 桃の節供の翌日の贈答歌の場面／第五章 道綱母と時姫の二組の贈答歌／第六章 離婚状態になった時の道綱母の歌／第七章 離婚状態を脱した時の贈答歌／第八章 46～48番の贈答歌の場面を中心とした考察／第九章 49～52番の二組の贈答歌の場面を中心とした考察／第十章 「さ夜ふけてかくやしぐれのふりは出づ」兼家に対する道綱母／第十一章 「若き御心（心地）に」考／他

新典社研究叢書332 ISBN978-4-7879-4332-3 A5判上製 432頁 13750円



賀茂保憲女 紫式部の先達

天野紀代子 著

Ⅰ 賀茂保憲女とは？ 散文へ はみ出す女流歌人／叔父・慶滋保胤／「まれの細道」／学者の娘の家居の生涯／Ⅱ 『賀茂保憲女集』序文解説 悲しい身の上と執筆／季節めぐりと日本語／恋の種々相、歌の始まり／歌の力、歌集編纂／雑歌の序文／歌と人生にまつわる随筆／「序文」語彙索引

* 仮名書きの長い序文を冠し源氏物語にも影響を与えた賀茂保憲女集。痲瘡流行時、執筆を生きる支えとした女性の先駆的な試みとは。

新典社選書101 ISBN978-4-7879-6851-7 B6判並製 144頁 1210円



源氏物語論攷

上野辰義 著

第一章 桐壺更衣のことは 桐壺更衣の歌／桐壺更衣の造形と人間像／「命生く」攷／第二章 夕顔と光源氏と紫式部 夕顔と紫のゆかりの物語／狐の怪異と源氏物語／幻巻の春／紫式部と藤原宣孝／第三章 宇治十帖の基盤 「そのころ」で書き起こされる源氏物語の巻頭について／宇治の大君の道心をめぐって／「山ぶし」と宇治十帖／第四章 源氏物語と美的語彙 讚美の機能／「いまめく」「いまめかし」等の語義について／「なさけ」の語義と性格／「春はあけぼの」と「春のあけぼの」

新典社研究叢書334 ISBN978-4-7879-4334-7 A5判上製 416頁 13200円



『源氏物語』庭と邸宅 —— 想定配置図私案 ——

加藤伸江 著

第一編 六条院の庭の想定 明石の御方の町に池はあったか／春の町と秋の町の池の差異／秋の町の滝についての考察／他／第二編 六条院の邸宅の想定 儀式における六条院の入口／六条院の馬場殿の規模／妻戸の間と隅の間の相違／若宮誕生後六日目の移動／他／第三編 周辺地（須磨・宇治）の想定 茅屋は源氏の造営か／宇治八の宮邸の構造についての再考／浮舟巻「橘の小島」の位置／付説 六条院に影響を与えた河原院の池とは／「町」・「間」の読み方の考察
新典社研究叢書 329 ISBN978-4-7879-4329-3 A5判上製 352頁 11220円



日本古典文学における孝文化 —— 『源氏物語』を中心として ——

趙秀全 著

第一部 古代日中における「孝」の歴史的展開 中国における「孝」と『孝経』の展開／日本における「孝」と『孝経』の展開／第二部 公的空間における文学と「孝」 『孝経』に関わる漢詩／「書始」と『孝経』／他／第三部 私的空間における文学と「孝」 和歌に詠まれる「孝」／『うつほ物語』の俊蔭巻にみる「孝」／『源氏物語』における「孝」／他／第四部 私的空間における文学と「孝」 『松浦宮物語』にみる「忠」と「孝」／『十六夜日記』と為氏の「不孝」／他
新典社研究叢書 336 ISBN978-4-7879-4336-1 A5判上製 424頁 13750円



源氏物語 現代語訳書誌集成

佐藤由佳 著

第一部 〈完訳〉編 與謝野晶子（与謝野晶子）／吉澤義則／谷崎潤一郎／窪田空穂／佐成謙太郎／他／第二部 〈全訳〉編 窪田空穂／與謝野晶子／沼澤龍雄ほか／五十嵐力／他／第三部 〈抄訳〉編 宮田和一郎／舟橋聖一／規川川佑輔／瀬戸内寂聴／岩佐美代子／第四部 〈意訳〉編 吉井勇／鈴木正彦／河原萬吉・和田萬吉／長柄忠子／他／第五部 〈翻案〉編 吉屋信子／川口松太郎／田辺聖子／橋本治／他／第六部 〈その他〉編 時海結衣／佐優秀樹／他

新典社研究叢書 331 ISBN978-4-7879-4331-6 A5判上製 328頁 10560円



『建礼門院右京大夫集』の発信と影響

日記文学会中世分科会 編

【解説】建礼門院右京大夫とその家集 小林賢太／『建礼門院右京大夫集』と王朝物語の関係について 横溝博／『建礼門院右京大夫集』における七夕歌群 小林賢太／『建礼門院右京大夫集』における「縹の薄様」をめぐる 中村成里／『建礼門院右京大夫集』と物語文学 大倉比呂志／交響する虚構と実情 中村文／『建礼門院右京大夫集』における出自意識 久保貴子／右京大夫系図・平家系図

新典社選書 99 ISBN978-4-7879-6849-4 B6判並製 312頁 25300円

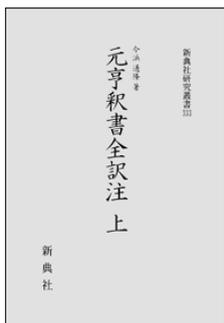


百人一首を読み直す2 ― 言語遊戯に注目して ―

吉海直人 著

天智天皇「秋の田の」歌（一番）を読み解く／「白妙の」は枕詞か／柿本人丸歌（三番）の「ひとりかも寝ん」の解釈／大伴家持「かささぎの」歌（六番）を待恋として読む／在原業平歌（一七番）の「ちはやぶる」幻想／俊恵法師歌（八五番）の「闇のひま」再考／他
＊広く親しまれている百人一首も、その歌独自の表現に注目して読み直す、従来説とは異なる解釈の可能性が見えてくる。和歌の読み解きから、藤原定家の選歌意識にも迫る、好評書籍待望の続編。

新典社選書97 ISBN978-4-7879-6847-0 B6判並製 312頁 2915円



元享釈書全訳注 上

今浜通隆 著

解説—『元享釈書』の世界— 作者について／成立について／内容について／影響・評価・諸本について／訳注 凡例／『元享釈書』を献上するための上申書／巻第一～巻第十

＊鎌倉時代後期に日本で最初に作られた仏教通史・元享釈書。五山文学の先駆的存在たる作者・虎関師錬が精魂込めた大作を現代語訳し注をつけた。上巻は巻第十まで収録。後醍醐天皇への上申書つき。

新典社研究叢書333 ISBN978-4-7879-4333-0 A5判上製 760頁 24750円



元禄名家句集略注 上嶋鬼貫篇

玉城司・竹下義人・木下優 著

表紙解説—鬼貫の「烏帽子付」／上嶋鬼貫略歴—俳人としての生涯と俳句／注釈／付録（鬼貫周辺の人物・鬼貫句集と伊丹俳書の解題・鬼貫年譜・参考文献）／初句索引／語彙索引

＊元禄俳諧の名家たちを現代語訳・語釈するシリーズ、第五篇は上嶋鬼貫。特徴的な長い前書きも含めてすべて注釈し、周辺人物の解説・鬼貫句集等の解題・鬼貫年譜ほかを収録。初句・語彙索引つき。

ISBN978-4-7879-0647-2 A5判並製 496頁 4950円

寺田洋祐 俳画集 蕪村・一茶に遊ぶ

寺田洋祐 画



父 寺田洋祐の俳画 寺田和弘／寺田洋祐 略歴／蕪村（春・夏・秋・冬）／一茶（春・夏・秋・冬）／寺田洋祐氏の俳画 玉城司

＊200年の時を超えて蘇る江戸の洒落、四季の美。人と自然をユーモアあふれる筆致で自在に描いた画家のスケッチブックから100点の俳画を厳選。苦難の中にも明るく楽しく豊かな人生を生きるヒントを。

ISBN978-4-7879-7927-8 A5判並製 112頁 2530円

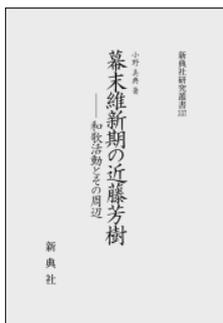


鳳朗と一茶、その時代 —— 近世後期俳諧と地域文化 ——

金田房子・玉城司 編

※俳諧が日常とともにあった近世後期の豊かな地域文化に注目した、10名の研究者による論集。旅の俳諧師・鳳朗と一茶を軸に、新資料に基づき、都市と地方に生きる人々の活発な文化交流に光をあてる。(執筆者：金田房子・玉城司・大西紀夫・金子俊之・金子はな・紅林健志・時田紗緒里・松井忍・山崎和真・和田健一)

新典社選書100 ISBN978-4-7879-6850-0 B6判並製 376頁 3080円



幕末維新期の近藤芳樹 —— 和歌活動とその周辺

小野美典 著

第一部 近藤芳樹の編集した類題和歌集の考察/第二部 近藤芳樹の作品の考察/第三部 近藤芳樹が編集・出版・成立に関与した作品の考察/第四部 資料編—資料紹介と翻刻

※激動の長州藩を生き、維新後は、宮内省に出仕した歌人・国学者である近藤芳樹。多くの歌文集の編集・出版にも関与したその事績を追う論考のほか、禁門の変関係者の歌集など資料翻刻も多数掲載。
新典社研究叢書337 ISBN978-4-7879-4337-8 A5判上製 584頁 18700円



もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」 第4集

伊藤鉄也 編

復刻 『随筆集 花を折る』後篇/講演 第三回池田亀鑑賞受賞作の紹介と選考理由/『狭衣物語』との出会い/第三回池田亀鑑賞授賞式と記念講演会/馬賊とは何ぞ?/連載 池田亀鑑の研究史/コラム 随筆集「花を折る」に纏わる二、三の思い出/資料 復刻・池田亀鑑著作選/流行作家・池田芙蓉・青山櫻州の時代/闇野冥火の少女小説/アルバム・池田亀鑑

ISBN978-4-7879-6054-2 A5判並製 372頁 3190円



二・二六事件の思想課題 —— 三島事件への道程

野村幸一郎 著

第一章 青年将校たちの多様性/第二章 民族主義と『共産党宣言』/第三章 久野収と橋川文三の視点/第四章 アジア主義との関わり/第五章 内政への傾斜/第六章 違犯とエロティシズム/第七章 疎外されるエクスタティコン/第八章 幽頭一貫のゆくえ

※二・二六事件の青年将校たちの証言と、彼らに影響を与えたとされる北一輝の思想を比較検証。二・二六を視野に三島由紀夫をもたどる。

新典社新書82 ISBN978-4-7879-6182-2 新書判並製 160頁 1100円



戦場を発見した作家たち —— 石川達三から林芙美子へ

蒲豊彦 著

第一部 戦場の捉え方 日中開戦初期の戦地報告／提灯行列と石川達三／火野葦平の新たな戦場／レマルク、バルビュス、丘東平／
第二部 漢口攻略と総力戦 保衛大武漢と宣伝戦／漢口を目指す日本人／従軍画家／作られた「漢口一番乗り」／林芙美子の戦場

＊戦前の日本で人々はどう戦争に巻き込まれ、また主体的に関わったか。石川達三、火野葦平、林芙美子の戦争文学を中心に考察する。

新典社選書98 ISBN978-4-7879-6848-7 B6判並製 320頁 2585円



向田邦子の末尾文トランプ

半沢幹一 著

小説編 かかわそ／だらだら坂／はめ殺し窓／三枚肉／マンハッタン／
犬小屋／男眉／大根の月／りんごの皮／酸っぱい家族／耳／他

エッセイ編 父の詫び状／身体髪膚／隣の神様／記念写真／他

＊向田邦子の短編小説と『父の詫び状』所収エッセイから末尾文を引用し、しめくくりの意図を解説。読者に「カタルシス」を感じさせると評価の高い、向田邦子の末尾文がこの一冊で凝縮して味わえる。

新典社新書80 ISBN978-4-7879-6180-8 新書判並製 160頁 1100円



藤沢周平 とどめの一文

半沢幹一 著

暗い縄／闇の梯子／父と呼べ／旅の誘い／霜の朝／時雨のあと／穴熊／
石を抱く／拐し／閉ざされた口／三年目／春の雪／裏切り／暗い渦／歳
月／運の尽き／時雨みち／幼い声／おとくの神／夜消える／冬の日／他
＊藤沢周平の時代小説より「一文一段落」でしめくくられる73作品を紹介。主に登場人物を描写し、鮮やかな幕切れを演出する末尾の一文から、藤沢作品とそこに描かれたひとつひとつの魅力を解説する。

新典社新書81 ISBN978-4-7879-6181-5 新書判並製 160頁 1100円



世界観光事情 まち歩き楽しみ

秋山秀一 著

上海／キャメロン・ハイランド／ヒヴァ／サンクトペテルブルク／
カイロ／モロッコ王国／ビクトリアの滝／ケベック・シティ／グラ
ンド・キャニオン／ニューカレドニア／イスタンブール／他

＊200回以上の海外旅行経験を持つ旅の達人が、世界中から厳選した35都市の魅力をご紹介。絶景や街の歴史、名物グルメ、おすすめルートなど、豊富な写真をながめながら世界一周が追体験できる1冊。

ISBN978-4-7879-7865-3 A5判並製 208頁 2145円

◆◆ 研究書 (国語・日本語・他) ◆◆

半藤英明 著

新典社研究叢書 304

日本語基幹構文の研究

ISBN978-4-7879-4304-0 A5上製 248頁 7920円

係助詞によって主體的に判断文を作る構文を日本語基幹構文と位置づけ、主語・「取り立て」・題目・「二分結合」などの文法項目を検証しつつ、主観性・客観性の観点から文の諸相を原理的に解き明かす。

竹田晃 編

新典社注釈叢書 23

柳宗元古文注釈

— 説・伝・騒・弔 —

ISBN978-4-7879-1523-8 A5上製 512頁 17380円

中唐期の詩人・文人として古文復興を主唱し「唐宋八大家」の一人にも数えられ中国古典文学史上にその名を留める柳宗元。その文章を精読するための訳注と論考・参考資料を収めた。

◆◆ 研究書 (上代) ◆◆

佐藤隆 編著

中京大学文化科学叢書 17

東海の「道」から見た上代文学

— 東海・東山道を基軸に

ISBN978-4-7879-5512-8 A5上製 312頁 4290円

東海地方に設けられた二つの官道、東海道・東山道を中心に、各地にまつわる伝承やうた、記録をひもとき、古代の東海地方に生まれた文学・文化の有り様を究明する。

山田純 著

新典社研究叢書 301

日本書紀典拠論

ISBN978-4-7879-4301-9 A5上製 400頁 12980円

『日本書紀』にみえる漢籍を典拠とする表現の数々はどのような意図で使用されているのか。出典文脈との比較を行い、その表現効果を分析することで、『日本書紀』を文学的に読解する。

土佐朋子 編著

新典社研究叢書 335

校本懐風藻

ISBN978-4-7879-4335-4 A5上製 456頁 15400円

天理大学附属天理図書館蔵(榊原忠次旧蔵)懐風藻を底本として、現在参看可能なすべての諸本を対象に校合。底本の忠実な翻刻と字形の再現のほか諸本の解題をも備えた古代漢詩文研究必携の書。

古代中世文学論考刊行会 編
古代中世文学論考

第23集 『うつほ物語』俊蔭一族と宰相の上親子の織りなす血縁の世界 戸田瞳/『枕草子』「男は、女親亡くなりて男親の一人ある」の段をめぐる 石垣佳奈子/『源氏物語』草のゆかり考 太田美知子/隠蔽されゆく柏木の個人的情念 笹生美貴子/鷹司信房筆「さころもの哥きゝ書」についての考察 須藤圭/『一条摂政御集』「とよかげ」の部のテーマ設定 堤和博/『とはずがたり』における『源氏物語』の罪意識の受容 古屋明子/『異名分類抄』の基礎的考察 曾根誠一/【翻刻】豊嶋要之助筆『高安流 間狂言応答』(一) 飯塚恵理人

ISBN978-4-7879-3523-6 A5上製 288頁 6710円

第24集 神代紀第五段一書第二・第六について 伊藤剣/伝承の形成と歌 松本弘毅/王朝女流文学の隆盛 平沢竜介/『伊勢物語』狩の使章段と日本武尊 本橋裕美/平安貴族社会の「禄」と「被物」 保坂綾/「窓打つ雨の音」を聞く女 加藤和泉/朱雀帝御世の政治と詩 笹川勲/陰陽五行としての音楽 田代幸子/『聖徳太子御憲法玄恵註抄』の『燈前夜話』利用についての覚書 野上潤一/入江昌喜『異名分類抄』の増補について(付翻刻) 曾根誠一/【翻刻】豊嶋要之助筆『高安流 間狂言応答』(二) 飯塚恵理人

ISBN978-4-7879-3524-3 A5上製 320頁 7040円

第25集 『枕草子』と「結縁八講」 園山千里／藤原公信考 東望歩／『源氏物語』と『枕草子』の〈七夕〉 坏美奈子／傘をさす光源氏 岩原真代／『源氏物語』手習巻の浮舟の〈老い〉と官能性 中西智子／「歌菩薩」と和歌 本多潤子／和歌曼陀羅の世界 三村晃功／『太平記鈔』・『徒然草寿命院抄』と『話抄』 野上潤一／文明本『節用集』と『燈前夜話』 野上潤一／〔翻刻〕豊嶋要之助筆『高安流 間狂言応答』(三) 飯塚恵理人

ISBN978-4-7879-3525-0 A5上製 320頁 7040円

第26集 下巻の臣下の諸相 藤澤友祥／在原業平の和歌 坏美奈子／〈あの日の未来〉の作り方 津島知明／若菜〈上巻〉論 中井賢一／『源氏物語』における女房「中将」 千野裕子／『源氏物語』の浮舟 塩見優／〈三日の儀式〉考 江波曜子／「狭衣三箇秘訣切紙」の方法 須藤圭／『管絃音義』の構成要素および成立における諸問題 田代幸子／『新統歌仙』撰者考 佐藤智広／一条兼良『代始和抄』の享受と清原宣賢『日本書紀抄』断章 野上潤一

ISBN978-4-7879-3526-7 A5上製 368頁 8030円

第27集 「みやび」と「風流」の間隙 池原陽斉／亀裂に巣食う〈花山院〉 津島知明／「御なからひなめり」考 畠山樹樹／『源氏物語』宿木巻の中君 櫻井清華／江侍從伝再考 諸井彩子／『狭衣物語』女二宮密通譚の表現意図 岡田貴憲／歴史を仮名文で「書く」ということ 桜井安德／八帖本平家物語の周辺 谷口耕一／定数歌概観 中尾彰男

ISBN978-4-7879-3527-4 A5上製 320頁 7040円

第28集 「笑い」論の展開と文学における笑いの領域 金小英／『孝経』に関わる平安漢詩 趙秀全／雪山の記憶 坏美奈子／寛元本『和泉式部日記』と『和泉式部正集』E歌群日記歌について 渦巻惠／「手」の相承 武藤那賀子／『源氏物語』の柑子 荻田みどり／『源氏物語』において「かるがるし」という言葉が果たした役割 吉村研一／建久期九条家歌壇における和歌表現について 大野順子／『石清水物語』における「夜の寢覚」の影響 伊勢光

ISBN978-4-7879-3528-1 A5上製 288頁 6710円

第29集 稲春歌考 金井由貴子／『うつほ物語』俊蔭巻にみる「孝」 趙秀全／『蜻蛉日記』中巻における蛇の夢 石田莉奈／『蜻蛉日記』下巻「養女求婚記事」における手紙 庄司敏子／『和泉式部物語』紅葉狩り記事試論 岡田貴憲／〈記憶〉を担う藤原齊信 津島知明／方法としての夢 山本佳苗／藤原頼通文化世界における『枕草子』撰取の一樣相 和田律子／「このついで」本文改訂試案 松本裕喜／題詠における後朝 長谷川美奈／藤原清輔の内昇殿 芦田耕一／鷹首首「たかやまに」類伝本考 大坪舞

ISBN978-4-7879-3529-8 A5上製 320頁 7040円

第30集 『萬葉集』伝来史上における『赤人集』の位置 池原陽斉／『本朝編年録』『本朝通鑑』と『懐風藻』 土佐朋子／『源氏物語』の「致仕」をめぐる 松本美耶／天理図書館蔵『うつほ物語』(外題・内題『和泉式部日記』) 解題・翻刻 岡田貴憲・戸田瞳／『六百番歌合』における「乞巧奠」題 蔡雅如／清原宣賢『日本書紀抄』享受について 野上潤一

ISBN978-4-7879-3530-4 A5上製 280頁 6710円

第31集 「近江天皇を思ふ歌」存疑 土佐秀里／奪回された〈定子の記憶〉 津島知明／離婚状態の時の道綱母の歌 堤和博／女房の裳着 諸井彩子／『和泉式部日記』における二つの〈山の端の月〉 松島毅／紫野斎院の内院と有栖川的位置関係 太田美知子／谷崎源氏の挿画研究 本宮洋幸／内閣文庫蔵三冊本『紫明抄』の独自性 カラーヌワット・タリン／大蔵虎明『語間之抄』典拠小考 野上潤一

ISBN978-4-7879-3531-1 A5上製 272頁 6600円

第32集 『枕草子』「殿などのおはしまさでのち」の段を読み解く 津島知明／知られざる「躑躅」の歌と、定子辞世「別れ路」の歌 坏美奈子／鴻臚館の光る君 笹川勲／「家」を逸脱する『とりかへばや』の左大臣家 菊地一実／北条得宗家と和歌 佐藤智広／林羅山『本朝神社考』の清原宣賢『日本書紀抄』利用に関する基礎的検討 野上潤一

ISBN978-4-7879-3532-8 A5上製 264頁 6490円

第33集 天孫の母 青柳まや／『万葉集』の「モミチ」の一考察 孫瑋／「珠手次 懸けの宣しく」考 土佐秀里／「白雲書庫本懐風藻」の本文とその性格 土佐朋子／『伊勢物語』の和歌と、定子のことは 坏美奈子／『浜松中納言物語』の〈風〉と寒暖語 山際咲清香／主人公を「騙す」脇役たち 伊勢光

ISBN978-4-7879-3533-5 A5上製 288頁 6710円

第34集 積文のよみ方 西崎亨/『萬葉集』及び『人麿集』五系統歌番号対校表 池原陽奇・藤田洋治・朝比奈英夫/懐風藻校本 本文篇一 土佐朋子/『源氏物語』における大君の死の表現 山崎和子/『今鏡』における源有仁家の描き方 梅田徑/新出『義経記』巻八零本の紹介と位置付け 和田琢磨/近世禁裏仙洞における源氏物語古注釈の書写活動について 酒井茂幸

ISBN978-4-7879-3534-2 A5上製 336頁 7370円

第35集 懐風藻校本 本文篇二 土佐朋子/『土左日記』の語り手と視点 ゼバスティアン・バルメス/『貞之集』享受本文の変遷 荒井洋樹/犬君のゆくえ 佐藤洋美/光源氏の人物呼称 牧野裕子/宇治八の宮邸の構造についての再考 加藤伸江/ヤマタ訳『源氏物語』における和歌の翻訳 常田種子/後水尾院の伊勢物語講釈について 酒井茂幸

ISBN978-4-7879-3535-9 A5上製 304頁 6930円

第36集 大伴坂上郎女の「祭神歌」を読む 野口恵子/『万葉集』巻九・一七四二、一七四三番歌に関する一試論 桐生貴明/懐風藻校本 本文篇三 土佐朋子/『伊勢物語』の短章段 近藤さやか/平安時代にはどのような『伊勢物語』が読まれていたか 藤井輝/柏木物語と『伊勢物語』六十五段 竹田由花子/『源氏物語』における浮舟の「峰の雨雲」歌 山崎和子/『源氏物語』における「まもる」毛利香奈子

ISBN978-4-7879-3536-6 A5上製 304頁 7040円

第37集 石上堅魚・大伴旅人におけるホトトギス詠について 孫瑋/懐風藻校本 本文篇四 土佐朋子/『うつほ物語』から『源氏物語』へ 山際咲清香/道綱母と時姫の二組の贈答歌 堤和博/塩湯浴歌考 木村尚志/『六百番歌合』の「九月九日」題 蔡雅如/『平家物語』千手前の朗詠・今様とその文化史的背景 須藤あゆ美

ISBN978-4-7879-3537-3 A5上製 296頁 6820円

第38集 神聖なる王権への助走 鈴木雅裕/留め得ぬものへの哀願と諦念 桐生貴明/六条院の馬場殿の規模について 加藤伸江/慶滋保胤「池亭記」のスタイル 宋吟/藤原実政考 長見菓子/狹衣の女二の宮への恋 太田美知子/『建礼門院右京大夫集』における平資盛像とその意義 邱春泉/『十六夜日記』と為氏の「不孝」 趙秀全/[百日和歌] (後土御門天皇宸翰詠草) 紹介と翻刻 石澤一志/大阪城天守閣蔵『聚楽行幸記』 解題・翻刻 竹内洪介・石塚晴通

ISBN978-4-7879-3538-0 A5上製 376頁 8360円

第39集 「兎道のみやこ」考 土佐秀里/藤花礼讚 坏美奈子/『枕草子』「大進生昌が家に」章段における「于定国がこと」 佐藤有貴/『源氏物語』における例外的「きよら/きよげ」の一考察 深田弥生/架蔵『源氏物語』帯木巻断簡について 仁平道明/『中納言俊忠卿集』の構想 穴井潤/中世文学における「蘇迷盧」と「孝」 趙秀全

ISBN978-4-7879-3539-7 A5上製 288頁 6710円

第40集 『日本書紀』における思邦歌の位置づけ 小野諒巳/『源氏物語』真木柱巻の「見はつ」 箆尾知佳/皇女たちの懊悩と後悔の貴公子 前川暁/加賀文庫蔵写本『方丈記流水抄』考 岡山高博/センチュリー文化財団蔵 (斯道文庫寄託) 本からみる『平治物語絵巻』「六波羅合戦巻」の展開 滝澤みか/自己表象としての雁 草野勝/諏訪市博物館蔵『諏訪講之式』 解題・翻刻・影印 間枝遼太郎/松井幸隆編『三玉和歌集類題』の撰集資料の調査報告 三村晃功/『天正二十年 聚楽第行幸記』 解題・翻刻 竹内洪介 ISBN978-4-7879-3540-3 A5上製 320頁 7040円

第41集 諸書引用の『先代旧事本紀』 松本弘毅/“歴史叙述”として読む漢文伝 河野友哉/『蜻蛉日記』上巻後半部の始発から歌との別れへ 堤和博/平中の物語と『源氏物語』との相互影響関係 伊勢光/若紫巻「北山のなにかし寺」のモデル案 加藤伸江/杯中の月かげ 坏美奈子/『四条宮主殿集』の寛子と主殿 牛山睦子/『太閤真蹟記』異本系統考 竹内洪介

ISBN978-4-7879-3541-0 A5上製 280頁 6710円

第42集 『先代旧事本紀』における石上神宮の位置 間枝遼太郎/『うつほ物語』忠こそ巻の継母子譚の構造 張可勝/杯中の月かげ 坏美奈子/『擲金抄』所収「讀十齋仏」詩句考 李筱硯/西行『山家心中集』考 穴井潤/惟明親王の『正治初度百首』雑歌考 北原沙友里/日蓮の龍口靈驗譚について 丹治正弘

ISBN978-4-7879-3542-7 A5上製 280頁 6710円

第43集 平安朝文学における乳児の「物語」 小泉咲/若紫巻の北山なにかし寺と高雄山神護寺 川島絹江/『源氏物語』の海辺における四季と鳥の表象 草野勝/玉鬘の「文殿」居住の意義 太田美知子/手習巻・夢浮橋巻の浮舟をめぐる「～はつ」「棄つ」「やむ」 箆尾知佳/『紫式部日記』の言葉 田嶋知子/『堤中納言物語』「貝あはせ」論 陣野英則/『平家物語』の災異説と中世天文道 児島啓祐/當麻曼茶羅縁起成立考 中野顕正

ISBN978-4-7879-3543-4 A5上製 320頁 7040円

◆◆ 研究書 (中古) ◆◆

- 畠山大二郎 著 **新典社研究叢書 282** 平安文学に描かれる装束の復元を試みつつその機能を考察し、また文学における表現から当時の人々の認識や生活を考察する。付録として「装束生地見本」封入。第5回池田亀鑑賞受賞
平安朝の文学と装束
 ISBN978-4-7879-4282-1 A5上製 400頁 12650円
- 末澤明子 著 **新典社研究叢書 315** 物語はその内容を記すにあたってどのような表現を用い、どのような取捨選択をしたのか。源氏物語を中心とした王朝物語や和歌における表現のありようの考察を通して、物語の特性を追求する。
王朝物語の表現生成
 —— 源氏物語と周辺の文学 ——
 ISBN978-4-7879-4315-6 A5上製 480頁 15400円
- 坏美奈子 著 **新典社研究叢書 312** 万葉集から古今集・伊勢物語、そして枕草子・源氏物語に至るまで、和歌を基軸に主要な作品の知られざる意味を新しく読み解き、「解釈的発見」の意義と手法をあざやかに示す。
続・王朝文学論
 —— 解釈的発見の手法と論理 ——
 ISBN978-4-7879-4312-5 A5上製 704頁 22550円
- 久保木寿子 著 **新典社研究叢書 319** 感情の歌人と目されがちな和泉式部。が、歌集には、溢れる情感を客観視しようとした形跡が残る。初期定数歌・日記を含め、その表現における独自の方法意識を見出し、再評価を図る。
和泉式部の方法試論
 ISBN978-4-7879-4319-4 A5上製 616頁 19800円
- 柳田忠則 著 **新典社研究叢書 306** 伊勢物語ならびに大和物語研究を重ねてきた著者の集大成として、研究篇に本文・異本研究を収載し、資料篇には伊勢物語文格と大和物語追考(甲斐侍従筆)の架蔵本2冊の解説と影印を収める。
物語文学の生成と展開
 —— 伊勢・大和とその周辺 ——
 ISBN978-4-7879-4306-4 A5上製 660頁 22000円
- 瀬尾博之 著 **新典社研究叢書 330** 平安期の伊勢物語受容が反映された物語的私家集や、愚見抄・勢語臆断など鎌倉～江戸期の注釈書の視座から伊勢物語の〈色好み〉を捉え直す。主人公公像に、従来にない新たな光を当てた一書。
伊勢物語 色好みの享受史
 ISBN978-4-7879-4330-9 A5上製 352頁 11000円
- 柳田忠則 編 **作品別研究文献 2** 大和物語に関する文献で、明治23年9月より平成18年12月に至る間に刊行されたものを集成。単行本・単行本所収論文や資料など、あらゆる文献を網羅した、大和物語研究必携書。
大和物語文献集成
 ISBN978-4-7879-2722-4 A5上製 376頁 12320円
- 久喜の会 編 **新典社注釈叢書 18** 『古今和歌集』の中でも他巻とは明らかに異質な巻二十。なぜこの巻は存在するのか。綿密な注釈と七編の論考により、歌謡性を持つこの巻の論理や価値観を明らかにし、新たな存在意義を提示する。
『古今和歌集』巻二十
 —— 注釈と論考 ——
 ISBN978-4-7879-1518-4 A5上製 436頁 14300円
- 畑恵里子 著 **新典社研究叢書 212** 現存する最古の継子物語の一つ、『落窪物語』に焦点をあて、継子が遭遇する擬似的な「死と再生」に着目し、そこに関与する霊的な力のはたらきを分析する。第7回全国大学国語国文学会賞受賞
王朝継子物語と力
 —— 落窪物語からの視座 ——
 ISBN978-4-7879-4212-8 A5上製 272頁 8250円
- 日記文学研究会 編 『蜻蛉日記』におけるミウチ史の創造/『蜻蛉日記』考/仕立物の依頼/ホトギスを待つ女/二つの大藏卿正光/『海道記』「西路の帰願」小論/『風に紅葉』と『とはずがたり』の共通基盤/他。13本収録。
日記文学研究第三集
 ISBN978-4-7879-4953-0 A5上製 288頁 9460円

片桐洋一・関西私家集研究会 和歌文学注釈叢書 1

元良親王集全注釈

ISBN978-4-7879-1701-0 A5上製 304頁 9900円

石井文夫・杉谷寿郎

和歌文学注釈叢書 2

大斎院御集全注釈

ISBN978-4-7879-1702-7 A5上製 320頁 11000円

久保木哲夫・平安私家集研究会

和歌文学注釈叢書 3

肥後集全注釈

ISBN978-4-7879-1703-4 A5上製 352頁 12100円

堤和博 著

新典社研究叢書 332

蜻蛉日記上巻前半部研究

ISBN978-4-7879-4332-3 A5上製 432頁 13750円

中西智子 著

新典社研究叢書 310

源氏物語 引用とゆらぎ

ISBN978-4-7879-4310-1 A5上製 344頁 11000円

佐藤勢紀子 著

新典社研究叢書 293

源氏物語の思想的 research

— 妄語と方便 —

ISBN978-4-7879-4293-7 A5上製 272頁 8580円

山上義実 著

新典社研究叢書 317

源氏物語と周辺文芸の研究

ISBN978-4-7879-4317-0 A5上製 400頁 12760円

西田禎元 著

新典社研究叢書 324

『源氏物語』の光と影

ISBN978-4-7879-4324-8 A5上製 496頁 16280円

古屋明子 著

新典社研究叢書 295

『源氏物語』の罪意識の受容

ISBN978-4-7879-4295-1 A5上製 432頁 13860円

源氏物語を読む会 編

新典社研究叢書 325

源氏物語〈読み〉の交響Ⅲ

ISBN978-4-7879-4325-5 A5上製 736頁 23540円

中井賢一 著

新典社研究叢書 292

物語展開と人物造型の論理

— 源氏物語〈二層〉構造論 —

ISBN978-4-7879-4292-0 A5上製 400頁 12650円

色ごのみの宮と呼ばれた元良親王と女たちの恋の歌である『元良親王集』の全注釈。私家集制作の場や、女性と和歌の在り様など十世紀後半の文学史の実体を照射する。

選子内親王を中心とした斎院たちの日常贈答歌を集めた歌集に詳細な全注釈を施した。大斎院文壇の動静を知る資料としても重要な価値を持つ、私家集研究の新たな礎となる一書。

京極関白師実に加え、堀川院歌壇の一翼を担った女流歌人肥後は、勅撰集に多く入集し、幾つかの物語作者にも擬せられている才女。その家集「肥後集」に全注釈を施した。

藤原道綱母は「和歌を力に生きる」人であった。夫・兼家との理想的な関係に贈答歌成立を求め、情緒が揺らげば道綱母の詠歌にも影響が出た。蜻蛉日記上巻前半部を歌への信念を指標に読み解く。

作り手が、読み手との間の解釈の「ゆらぎ」の不可避性を利用して物語世界を構築した痕跡をたどり、源氏物語の「引用」の創造性と共有される記憶とのかかわりについて新たに考究する。

『源氏物語』の思想的基盤の一つでありながら、注目される機会の少なかった仏教の方便思想について、その影響を解き明かし、主要人物の人生観がどのように描かれているかを探る。

源氏物語及びその周辺の文学作品について、文芸学的な視点から本文の丹念な読解を基に作品の主題、構想、文学的特質を論じ、特に源氏物語の主題と構想に関して独自の大胆な仮説を提案する。

源氏物語の特質や魅力はどこにあるのか。作品の主題・構想・人物・和歌の面から探るとともに、素材・典拠となった中国古典や、源氏物語が影響を与えた後代の日本文学との関わりの深さに迫る。

『源氏物語』に表れた密通等に対する罪意識が、中世から近代までの作品にどのように受容されてきたかを考察し、罪意識を表す語の使われ方やその効果、各作者の意図について検証する。

「ことば・表現」「物語史」「和歌・漢詩文」「神話・歴史」「文化・思想」の5つのテーマを軸に25名の執筆陣の〈読み〉が響き合う、『源氏物語』研究の「今」を映す一書。好評シリーズ第3弾。

『源氏物語』の展開や人物像がいかなる仕組みによって制御され、また、その仕組みはいかなる組み上げられかたをしているか、いわゆる物語構造論の観点から検証する一書。

湯淺幸代 著

新典社研究叢書 297

源氏物語の史的意識と方法

ISBN978-4-7879-4297-5 A5上製 400頁 12650円

上野辰義 著

新典社研究叢書 334

源氏物語論攷

ISBN978-4-7879-4334-7 A5上製 416頁 13200円

加藤伸江 著

新典社研究叢書 329

『源氏物語』庭と邸宅

— 想定配置図私案 —

ISBN978-4-7879-4329-3 A5上製 352頁 11220円

趙秀全 著

新典社研究叢書 336

日本古典文学における孝文化

— 『源氏物語』を中心として —

ISBN978-4-7879-4336-1 A5上製 424頁 13750円

飯沼清子 著

新典社研究叢書 302

源氏物語と漢世界

ISBN978-4-7879-4302-6 A5上製 468頁 15180円

妹尾好信 著

新典社研究叢書 307

源氏物語 読解と享受資料考

ISBN978-4-7879-4307-1 A5上製 640頁 20240円

佐藤由佳 著

新典社研究叢書 331

源氏物語 現代語訳書誌集成

ISBN978-4-7879-4331-6 A5上製 328頁 10560円

濱田寛 注釈

新典社注釈叢書 24

世俗諺文全注釈

ISBN978-4-7879-1524-5 A5上製 720頁 23100円

今浜通隆 注釈

新典社注釈叢書 5・8・15・25

本朝麗藻全注釈 一～四

①ISBN978-4-7879-1505-4 A5上製 424頁 18689円

②ISBN978-4-7879-1508-5 A5上製 560頁 [品切]

③ISBN978-4-7879-1515-3 A5上製 624頁 19360円

伊勢光 著

新典社研究叢書 318

『夜の寝覚』から読む物語文学史

ISBN978-4-7879-4318-7 A5上製 400頁 12760円

冒頭「いづれの御時にか」からして時代設定を問いかける物語、源氏物語。その中で歴史への意識、解釈、史実との関わりはどう描かれているのか、各治世のありようや人物から明らかにする。

源氏物語の豊穡な世界に物語内部の語例や当時の語法からアプローチし、登場人物の真の姿に迫る。女性の生き方に対する先駆的な紫式部の思い入れや夫との死別から得た新たな視点をもひもとく。

現代人が同時代の文章表現から住居等を具体的に想定できるように源氏物語読者が認識し得た空間を再認識する読みが必要である。紫式部の緻密な設計を物語から読み解き六条院想定図を作成する。

「孝」は道徳規範として中国大陸の宗教や文化の根幹をなし、その影響は東アジア文化圏全体に及んだ。源氏物語ほか平安から中世日本文学の孝、日本で再構築や発生した孝も含め多面的に読み解く。

日本文学において、人が心を寄せたモノは帯・冠・漢詩・水石・蘭・菊・賢人・酒・茶…と多岐にわたる。それらをめぐる人々の実態・文化・文学、中国との比較や日本の史料を通して捉え直す。

源氏物語はどう読まれてきたか。中世の古注釈からはじまり、里村紹巴が三条西公条の講釈聞書をまとめた紹巴抄を検討し、近世の資料にまで至る。著者架蔵近世梗概本の紹介・翻刻・作中歌索引付。

日本国内で一般向けに刊行された源氏物語の現代語訳本について、完訳・全訳・抄訳・意訳・翻案・その他、に分類して書誌を集成。与謝野晶子や谷崎潤一郎のほか、林真理子、角田光代らまで網羅。

平安中期の成句辞書・世俗諺文の編纂意図とは何か。詳細な原典考証から作品理解を深め、作品から導かれる編者源為憲の学問の実態そして当時の学問の在り方を探求する。全注釈、解説、索引付。

上巻は前田家蔵金沢文庫旧蔵本の残巻写本、下巻は上野図書館蔵森氏旧蔵本の写本を底本に、群書類従・新校群書類従・日本古典全集・日本詩紀との校異を記し、訓読・通釈・語釈・作者・評説を加えた。

④ISBN978-4-7879-1525-2 A5上製 636頁 19800円

夜の寝覚は、先行する物語を取り込みながら新たな人物等を生み出し、それらは後代の作品に継承された。作品世界の大膽な読み解きから、寝覚の多様な魅力を発掘し、王朝文学史を見つめ直す。

新撰朗詠集全注釈一～四

- ① ISBN978-4-7879-1516-0 A5上製 614頁 19800円
- ② ISBN978-4-7879-1517-7 A5上製 672頁 21340円
- ③ ISBN978-4-7879-1519-1 A5上製 664頁 21340円
- ④ ISBN978-4-7879-1520-7 A5上製 640頁 20350円

片山ふゆき 著 **新典社研究叢書 314**
『とりかへばや』の研究
 — 変奏する物語世界 —
 ISBN978-4-7879-4314-9 A5上製 256頁 8140円

- ①『新撰朗詠集』解説(『新撰朗詠集』の魅力・『新撰朗詠集』の成立)/『新撰朗詠集 上巻』注釈(目録・「春」部 [1~134])/校異/文献
- ②『新撰朗詠集 上巻』注釈(「夏」部 [135~183]・「秋」部 [184~331]・「冬」部 [332~370])/校異/文献
- ③『新撰朗詠集 下巻』注釈(目録・「雑」部 [371~601])/校異/文献
- ④『新撰朗詠集 下巻』注釈(「雑」部 [602~746]・奥書・識語)/校異/文献/『新撰朗詠集』作者索引

現存とりかへばやは、異性装という新奇なモチーフを、前代からの類型化した表現により描き出す。物語「史」を内包した表現の「変奏」に着目し、この物語の新たな物語世界構築のあり方に迫る。

紙宏行 著 **新典社研究叢書 296**
袖中抄の研究
 ISBN978-4-7879-4296-8 A5上製 336頁 10670円

和歌の難義語について、その釈義を追求した、顕昭による注釈書『袖中抄』。注釈へ向かう問題意識や注釈方法と内容の特質を明らかにしつつ、顕昭歌学の位置づけ・課題について考察する。

今浜通隆 注釈 **新典社注釈叢書 26**
 菅家後集 **叙意一百韻全注釈**
 ISBN978-4-7879-1526-9 A5上製 712頁 22000円

大宰府に左遷された菅原道真が思いを切実に綴った漢詩は史料の価値のみならず、その技巧性など文学的価値も高い。原詩・訓読・通釈・語釈・評説を近代詩読解の観点から丁寧ほどこした全注釈。

◆◆ 研究書 (中世) ◆◆

中本真人 著 **新典社研究叢書 245**
宮廷御神楽芸能史
 ISBN978-4-7879-4245-6 A5上製 424頁 13420円

神事としての性格のみならず、天皇と公家による饗宴の場でもあった宮廷御神楽とはいかなるものか。文献資料に基づく基礎的研究によって論じ、その芸能史を描き出す。第31回志田延義賞受賞

廣木一人 著 **新典社研究叢書 300**
連歌という文芸とその周辺
 — 連歌・俳諧・和歌論 —
 ISBN978-4-7879-4300-2 A5上製 472頁 15070円

時代的にも形式的にも和歌と俳諧の間に位置づけられる文芸、連歌。連歌が行われた場である連歌会席の文化的なあり方や、担い手、季節感、文化圏などについて、和歌・俳諧も往還しつつ論じる。

神田邦彦 著 **新典社研究叢書 285**
山鹿文庫本発心集
 — 影印と翻刻 付解説 —
 ISBN978-4-7879-4285-2 A5上製 432頁 13640円

鴨長明による仏教説話集である『発心集』。その研究において重用されてきた神宮文庫本の誤写や誤脱を補訂しうる伝本として重視すべき、山鹿文庫本の影印と翻刻を初刊行。

小久保崇明 著 **新典社研究叢書 323**
語彙・語法から見た四鏡の文章
 ISBN978-4-7879-4323-1 A5上製 304頁 9570円

大鏡・今鏡・水鏡・増鏡について、人称代名詞や係助詞「なむ」などに着目し、それぞれの文章や語彙をつぶさに解明する。増鏡の「なにがし」「まろ」の注釈、水鏡の語法についての論考も収録。

勝倉壽一 著 **新典社研究叢書 316**
水鏡の成立と構造
 ISBN978-4-7879-4316-3 A5上製 352頁 11110円

初代神武天皇から55代仁明天皇までの事蹟を記す歴史物語である水鏡について、その成立事情と歴史記述の典拠、物語作者独自の解釈を精緻に考察。従来の水鏡評価を覆す契機となる一書。

宮崎裕子 著	新典社研究叢書 328	擬古物語或いは中世王朝物語と呼ばれる作り物語の一つ、石清水物語。四系統に分類される諸伝本の中から主要な12本を選定し、第一系統に属する静嘉堂文庫蔵本を底本として全系統を対象に校合。
校本石清水物語		
ISBN978-4-7879-4328-6 A5上製 688頁 22550円		
小秋元段 著	新典社研究叢書 298	近世初期に始まる活字印刷は後の文化に大きく貢献した。その初期に行われた古活字版について、江戸期の大ベストセラー太平記の本文・書誌・出版経緯等から考察。三本の新考を加えた増補版。
増補太平記と古活字版の時代		
ISBN978-4-7879-4298-2 A5上製 432頁 13860円		
金木利憲 著	新典社研究叢書 305	日本文学に多大な影響を与えた漢詩文集『白氏文集』には複数の本文系統が存在する。『太平記』諸本に見える本文引用の状況を元に伝来・流布の過程を辿り、『白氏文集』受容の特性を明らかにする。
太平記における白氏文集受容		
ISBN978-4-7879-4305-7 A5上製 376頁 12100円		
上島眞智子 著	新典社研究叢書 326	名随筆・徒然草はどのようにして誕生したか。家集や史料の丹念な調査により、執筆当時の兼好を取り巻く人間環境、社会状況を明らかにし、兼好の生涯や作歌背景、徒然草の執筆意図に迫る。
徒然草 人物考証の新研究		
ISBN978-4-7879-4326-2 A5上製 320頁 10230円		
廣田収 著	新典社研究叢書 321	文献として伝わる説話と、口承の民間説話とは、どのような関係性にあるか。話型の比較などを通じて、宇治拾遺物語が、既存の伝承を元にいかにして新しい説話を作り上げたのかを明らかにする。
民間説話と『宇治拾遺物語』		
ISBN978-4-7879-4321-7 A5上製 592頁 18920円		
今浜通隆 著	新典社研究叢書 333	鎌倉時代後期に日本で最初に作られた仏教通史・元亨釈書。五山文学の先駆的存在たる作者・虎関師錬が精魂込めた大作を現代語訳し、注をつけた。上巻は巻第十まで収録。後醍醐天皇への上申書つき。
元亨釈書全訳注 上		
ISBN978-4-7879-4333-0 A5上製 760頁 24750円		
石黒吉次郎 著	新典社研究叢書 308	中世の多様な文学に宗教や信仰はいかに描かれているか。説話や芸能における思想の側面から読み解く第一部。信仰の地としての伏見・白山や歌枕となった東北を風土の観点から読み解く第二部。
中世文学の思想と風土		
ISBN978-4-7879-4308-8 A5上製 368頁 11660円		
吉田唯 著	新典社研究叢書 322	両部神道を中心とした神仏習合史、浄土真宗における神祇許容の問題、さらにそれらの流れを受けて創作されたホツマ文献を考察することで、中世から近世における神仏習合思想の一端を究明する。
神仏習合の手法 — 中世神話から近世神話へ —		
ISBN978-4-7879-4322-4 A5上製 416頁 13310円		
高橋忠彦・高橋久子 編著	新典社研究叢書 313	室町時代最大の往来物・新撰類聚往来。内閣文庫蔵慶安元年版本影印の他、索引・訓読・現代語訳・校注等を受載。東京大学文学部国語研究室蔵天正四年写本の影印と日本教科書大系の正誤一覧つき。
新撰類聚往来 影印と研究		
ISBN978-4-7879-4313-2 A5上製 784頁 25300円		
酒井茂幸 著	新典社研究叢書 303	中世後期から近世の二条派・堂上派における百人一首受容の様相とは。中院通勝・通村・通茂の三代の注釈書五種について、注釈史上での位置づけや意義を考証し、信頼性の高い伝本の翻刻を収めた。
中近世中院家における百人一首注釈の研究		
ISBN978-4-7879-4303-3 A5上製 568頁 18150円		

◆◆ 研究書 (近世) ◆◆

- 江口正弘 編 **新典社注釈叢書 21**
天草版伊曾保物語 影印及び全注釈
言葉の和らげ 影印及び翻刻 翻訳
 ISBN978-4-7879-1521-4 A5上製 480頁 15180円
 宣教師の日本語教科書であった天草版。「平家物語」と合綴されている「伊曾保物語」の影印及び全注釈、さらに平家・伊曾保の難解語句を解説した「言葉の和らげ」の影印及び翻刻翻訳を収録。
- 邊恩田 著 **新典社研究叢書 327**
金時習『金鰲新話』と日本
 —— 和刻本と受容
 ISBN978-4-7879-4327-9 A5上製 272頁 9020円
 朝鮮王朝初期の伝奇小説・金鰲新話は、訓点つきの和刻本として日本で出版され、江戸の知識人に愛読された。日本に現存する版本から受容の様相を探り出し、日本朝鮮中国の文化交流を見据える。
- 田中善信 注釈 **新典社注釈叢書 22**
全 釈 続 み な し ぐ り
 ISBN978-4-7879-1522-1 A5上製 368頁 12100円
 芭蕉が新しく蕉風俳諧を開いた貞享年間。門人の其角により秀作も駄作も収めた『続みなしぐり』には、現在ではタブーとされる題材も含む、多彩な俳諧世界が窺える。そのあるがままの姿を全釈。
- 倉橋・桑原・小池・齊藤・光延 編 **新典社研究叢書 291**
江戸歌舞伎年代記集成
 ISBN978-4-7879-4291-3 A5上製 966頁 30800円
 歌舞伎の上演年月・劇場・作品・役者等を一元化した江戸時代の著作物—いわゆる年代記—から未刊の三タイトル『役者名声牒』『続名声戯場談話』『続芝居年代記』を翻刻、解題を付す。
- 鈴木堅弘 著 **新典社研究叢書 294**
春 画 論
 —— 性表象の文化学
 ISBN978-4-7879-4294-4 A5上製 608頁 19360円
 春画の性表象における多面的なイメージはいかにして生まれたのか。古代から続く、性を巡る人類学・宗教学的イメージが、近世以降、春画の性表象へと結実していく様相を考察。
- 小野美典 著 **新典社研究叢書 337**
幕末維新期の近藤芳樹
 —— 和歌活動とその周辺
 ISBN978-4-7879-4337-8 A5上製 584頁 18700円
 激動の長州藩を生き、維新後は宮内省に出仕した歌人・国学者である近藤芳樹。多くの歌文集の編集・出版にも関与したその事績を追う論考のほか、禁門の変関係者の歌集など資料翻刻も多数掲載。

◆◆ 研究書 (近代) ◆◆

- 丹羽みさと 著 **新典社研究叢書 320**
八 百 屋 お 七 論
 近代文学の物語空間
 ISBN978-4-7879-4320-0 A5上製 264頁 8470円
 近世文学の八百屋お七諸作品を、近代作家達はどのように理解し、利用していったのか。五人の作家による翻案作品をもとに、典拠の解釈や表現様式を分析し、近代お七物の系譜を新たに提示する。
- 野村幸一郎 編
松井石根 アジア主義論集
 ISBN978-4-7879-5513-5 A5上製 292頁 9350円
 東京裁判で死刑判決を受け、処刑された陸軍軍人・松井石根が生前に発表した中国問題や大亜細亜主義に関する文章を復刻。近代日本思想上における松井の位置を俯瞰するための資料集。

◆◆ 教科書 ◆◆

伊地知鉄男 編

増補改訂 仮名変体集

ISBN978-4-7879-0410-2 B6並製 64頁 385円

平安時代初期から室町時代にいたる間の古典作品・古筆切等に実際に使用されている字形を草がな・片かなの順にそれぞれ五十音順に集字配列。巻末に異体・略体・俗字体を画数順に付けた。

かな研究会 編

実用変体がな

ISBN978-4-7879-0423-2 A5並製 112頁 660円

平安から江戸時代までの古写本・古筆切等から集字。右頁に草がなを五十音順に配列し、左頁に該当する短文または和歌を掲げ、その右傍に字母と読みを示した。片かなと読みをつけた用例付。

かな研究会 編

画引き かな解説字典

ISBN978-4-7879-0427-0 A5並製 112頁 660円

読めない字の検索に不便であったこれまでの手引書を根本的に見直し、画数で容易に引けるように工夫した、画期的な「かな解説」の決定版。文学作品上で実際に使用されている字形を用いた。

くずし字研究会 編

画引きくずし字解説字典

— 増補改訂・索引付 —

ISBN978-4-7879-0428-7 A5並製 128頁 880円

平安～江戸の写本・版本・古筆切等に実際に使用されている字形を集字。異体・略体・俗字体も含めた。当該画数の前後にも掲載し、類似した字形をまとめるなど、誤読を防ぐ工夫もした画期的な書。

小島孝之 著

古筆切で読む

くずし字練習帳

ISBN978-4-7879-0626-7 B5並製 64頁 1100円

古筆切を鑑賞しながら見開き2ページを1課題、1日1題×3週間のステップアップ方式でくずし字の基本を無理なく無駄なくマスター。豊富な豆知識や解説付きで、初心者のおなたに絶対のお勧め!

田代圭一・山中悠希・和田琢磨 編

変体がなで読む日本の古典

ISBN978-4-7879-0639-7 A4並製 80頁 1100円

竹取物語・源氏物語・平家物語など、古典作品の名場面を変体がなで読むテキスト。この一冊で変体がなを基礎から習得しつつ、作品の解説や書誌学に関するコラムも楽しめる。

塚原鉄雄 著

新講古典文法

ISBN978-4-7879-0610-6 A5並製 144頁 1430円

学生の古典読解に役立つ指導が可能な文法書。原則として見開き二頁で処理。上段に簡潔な文法事項の説明、下段に豊富な用例を古典作品から長文で掲げるなど、教室での実際に即応させた。

竹尾利夫・本間洋一・濱中修・安保博史 編

古典文学概論

— キーワードで読む原典 —

ISBN978-4-7879-0619-9 A5並製 272頁 2618円

キーワードを軸に原典を読む為のテキスト。雅び・色好み・数奇・わび等文学理念上の鍵語と異郷・境界・遊女・やつし・漂泊等文学に関わる鍵語を収録し解説・参考文献・原典・注に影印・年表付。

山岸徳平 編

作品中心 日本文学史

ISBN978-4-7879-0603-8 A5並製 228頁 1100円

記述式を排して作品理解と史的流れに重点をおき、実際に教室で使える文学史を意図した教材。上代から近世までの各期の初めに簡単な解説、項目に講義題目となるタイトル、巻末に年表付。

山岸徳平 編

日本文学研究のために——

ISBN978-4-7879-0607-6 A5並製 192頁 1320円

現在行われている日本文学の研究方法を紹介、各時代の作家・作品の具体的な研究成果を最新の研究水準として示し、研究の基礎的知識と実践的方法を具体的に記したユニークな入門教材。

青木・糸賀・井上・木村・濱口・藤平・森本 編

女流の文学

— 古典編 —

ISBN978-4-7879-0605-2 A5並製 256頁 1760円

古典文学の中で、大きな役割を果たしてきた女性の作品を一堂に集め、彼女たちの生きた記録や苦悩、文学活動の史的・位置・影響関係などが、つぶさに分るように編集した好教材。総説・年表付。

古典和歌研究会 編

日本詩歌選

〔改訂版〕

ISBN978-4-7879-0601-4 A5並製 248頁 1100円

上代から近代までの和歌を中心に詩歌全体を収め、日本独特の詩歌形式と複雑な和歌史の流れを、立体的に把握できるように工夫した好教材。各期ごとに概説を付し、的確な頭注を施した。

中村幸弘・碁石雅利 著

日本古典文・和歌・文章の構造

ISBN978-4-7879-0629-8 A5並製 282頁 2970円

古典の文章を的確に読みとることができる、その学習法と教授法について、高校古典文法から脱却し、文章構造や形式・表現・展開からの読み方を体得する。古典を教える人・学ぶ人のための必携書。

中村幸弘・杉本完治 著

漢文文型訓読の語法

ISBN978-4-7879-0630-4 A5並製 392頁 4180円

漢文を文章として通読するための実践術を記した全く新しい学習参考書。豊富な用例と解説、実用的な付録を備え、古典を教えている指導者、センター試験・大学試験に挑む受験生にも必携の一書。

日本文学検定委員会 編

日本文学検定公式問題集

〔古典・近現代〕3級

ISBN978-4-7879-7901-8 A5並製 256頁 1650円

日本文学に関する基本的な知識のほか、古典作品の意外な内容や、文豪たちの知られざる逸話など、知って得する小話・雑学も満載。受験対策のスタートからゴールまでをサポートする一冊。

日本文学検定委員会 編

日本文学検定公式問題集

〔古典〕2級・〔近現代〕2級

〔古典〕7902-5 352頁 〔近現代〕7903-2 368頁 各2200円

作者の素顔や作品の舞台裏など専門知識を深める、趣味・教養・受験対策向け問題集。上代～近世の古典編。明治以降の近現代編。監修：松本直樹・阿部好臣・和田琢磨・長島弘明・井上隆史・猪狩友一

◆◆ 教科書（上代） ◆◆

辰巳正明 監修

古事記歌謡注釈

歌謡の理論から読み解く古代歌謡の全貌

ISBN978-4-7879-0634-2 A5並製 288頁 2860円

古事記に収められる歌謡は神話物語の中に登場するが、後付けされたと考えられ物語と緊密な関係にはない。古事記歌謡をそれぞれ独立した歌謡として捉え、本来の性質を追究する画期的な一書。

林田正男 編

新典社校注叢書3

校注万葉集筑紫篇

ISBN978-4-7879-0803-2 B6上製 272頁 2090円

万葉集の筑紫に関する歌335首と参考歌40首を収録。西本願寺本を底本に諸本によって校訂し、右頁に原文、校異・人名・地名等を頭注。左頁に読み下しを対照させ、解釈・出典等を頭注した。

桜井満・並木宏衛 校注 影印校注古典叢書10

万葉集

— 巻一・二 —

ISBN978-4-7879-0210-8 A5並製 112頁 1210円

万葉集の伝本中でもっとも信頼されている西本願寺本を定本とし、巻一と巻二の全文を一冊に収めた。上段に訓み下し文、下段に全文の影印、横に講読上必要な注をつけた。

川上富吉 編

影印本万葉集略解抄

ISBN978-4-7879-0424-9 A5並製 160頁 1760円

簡潔な注釈によって多くの人々に愛用された橘千蔭『万葉集略解』の安政三年補刻版を基に代表的な作者二十八人の作品を選抄し文学史的に作者別・年代順に配列し直した好教材。解説付。

鈴木淳・吉村誠 編

影印本 万葉新採百首解

ISBN978-4-7879-0430-0 A5並製 208頁 2030円

宝暦二年に田安宗武の命により真淵が執筆呈上。歌評は万葉風の手本。大文字屋与三兵衛と河内屋喜兵衛による京坂二書肆相合板の大本二冊を全文影印。歌頭に通し番号、解題・解説・索引付。

辰巳正明 著

懐風藻

古代日本漢詩を読む

ISBN978-4-7879-0646-5 A5並製 392頁 3960円

現存する最古の漢詩集『懐風藻』。全注釈の成果を踏まえ、原文・訓読・現代語訳・校異・解説を完備しながら読みやすい体裁を実現した、漢詩を学ぶ人、飛鳥・奈良朝の文学を学ぶ人にとって必携の一冊。

◆◆ 教科書 (中古) ◆◆

片桐洋一 編

竹取物語

ISBN978-4-7879-0415-7 原寸大並製 104頁 1100円

通行本系統の高松宮家蔵本を樹型のまま複製し、簡潔な確な解説を別冊で付けた。現存写本中でもとくに筆跡が美しく、「竹物語」とうつけ書きに外題を記している由緒ある善本である。

片桐洋一 編

影印本 伊勢物語

ISBN978-4-7879-0402-7 A5並製 164頁 1210円

流布本系統の最善本、千歳文庫所蔵の正徹奥書、蜷川智蘊善本を全文影印。底本と伝定家筆天福本・中院通勝筆武田本・伝東常縁筆武田本との相異を頭注に示し、定家本系統『伊勢物語』の実態を明らかに。

小林茂美 校注

影印校注古典叢書 6

伊勢物語

ISBN978-4-7879-0206-1 A5並製 184頁 1870円

天福本系統の古写本、三条西家旧蔵、学習院大学蔵の伝定家筆本を底本として、上段に翻刻、下段に全文の影印、横に注をつけた。定家自筆の面影を忠実に留めた証本の一つ。

橋りつ 校注

影印校注古典叢書 3

古今集 一

ISBN978-4-7879-0203-0 A5並製 144頁 1430円

定家本の貞応本と考えられる東洋大学図書館蔵、伝二条為世筆本を底本とし、仮名序から巻第三夏歌までを収めた。右頁に全文の影印、左頁上段に翻刻、下段に注をつけた。

萩谷朴 編

影印本 土左日記

(新訂版)

ISBN978-4-7879-0403-4 A5並製 112頁 880円

為家自筆本を忠実に書写した桃園文庫所蔵青谿書屋本の全文を影印した。本文解釈の最高権威の編者が、新しく発見された為家自筆本との校合に基づいて大改訂を行い、最新の改訂版とした。

柳田忠則 編

新典社校注叢書 5

校注 大和物語

ISBN978-4-7879-0805-7 B6並製 216頁 1760円

為家本を底本に全文を翻刻し、最近の学的成果を盛り込んだ人名・地名・校異を頭注した。和歌には出典明記。付録に和歌初句索引・明治23年～昭和60年までの『大和物語』関連文献を全網羅。

山岸徳平・今井源衛 監修

青表紙本 源氏物語

全五十四帖別冊二

ISBN978-4-7879-0001~0056 樹型 総6294頁 揃価60115円

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』を全帖帖別原寸大で複製し各帖末に一流専門家による解題・登場人物関係図・注をつけた優雅な完本。三条西実隆の花押付。別冊2冊をつけて完備。分売可。

井上八雲 編・中田武司 監修

変体仮名で読む 源氏物語全和歌

ISBN978-4-7879-0628-1 B5並製 240頁 4180円

定家筆の青表紙本を書写したことを時の有識者・三条西実隆が証した、由緒ある源氏物語（宮内庁書陵部蔵）。その流麗な写本から和歌部分のみを抜き出し、翻刻・字母・解釈を添えた好教材。

久下晴康・元吉進 編

新注 源氏物語抄

ISBN978-4-7879-0611-3 A5並製 192頁 1760円

山岸徳平 校注

影印校注古典叢書 1

桐 壺

ISBN978-4-7879-0201-6 A5並製 80頁 935円

犬養廉・奥出文子 校注

影印校注古典叢書 17

帚 木

ISBN978-4-7879-0217-7 A5並製 144頁 1375円

有吉保・安藤亨子 校注

影印校注古典叢書 25

若紫・末摘花

ISBN978-4-7879-0225-2 A5並製 232頁 1980円

神作光一・遠藤和夫 校注

影印校注古典叢書 34

紅葉賀・花宴・葵

ISBN978-4-7879-0234-4 A5並製 236頁 1980円

伊藤欽也 編

ハーバード
大学美術館蔵 『源氏物語』 「須磨」

ISBN978-4-7879-0631-1 A5並製 186頁 1760円

伊藤欽也 編

ハーバード
大学美術館蔵 『源氏物語』 「蜻蛉」

ISBN978-4-7879-0632-8 A5並製 210頁 1980円

伊藤欽也・阿部江美子・浅川慎子 編

国立歴史民俗
博物館蔵 『源氏物語』 「鈴虫」

ISBN978-4-7879-0637-3 A5並製 154頁 1980円

伊藤欽也・浅川慎子 編

国文学研究
資料館蔵 橋本本 『源氏物語』 「若紫」

ISBN978-4-7879-0640-3 A5並製 178頁 1540円

橋誠 校注

影印校注古典叢書 18

須磨・明石

ISBN978-4-7879-0218-4 A5並製 224頁 1980円

守屋省吾 校注

影印校注古典叢書 28

漣標・蓬生・関屋

ISBN978-4-7879-0228-3 A5並製 208頁 1870円

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』を底本として、主要な出来事の部分を抄出し翻刻した。省略部分については、それぞれ梗概を掲げ、全体の流れが把握できるよう配慮した。頭注は校異、古注付。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の桐壺の巻を底本に、翻刻を上段に掲げ、下段に該当の影印を対照させた完本。懇切丁寧な注は横に掲げ、写本の読み方も分かるように留意した。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の帚木の巻を底本として、翻刻を上段に掲げ、下段に全文の影印を対照させた。懇切丁寧な注は横に掲げ、写本の読み方も分かるように留意した。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の若紫・末摘花の巻を底本に、翻刻を上段に、下段に該当の影印を対照させた。懇切丁寧な注は横に掲げ、写本の読み方も分かるように留意した。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の紅葉賀・花宴・葵の巻を底本として上段に翻刻、該当の影印を下段に対照させ、写本の読み方も分かるよう留意。懇切丁寧な注や校異はその頁の横に付けた。

米国ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』 「須磨」巻は現存する『源氏物語』でも書写年代の古い、極めて貴重な古写本である。この影印と翻字本文について、各頁上下段で対照できるよう掲げた。

米国ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』 「蜻蛉」巻は、「須磨」巻と共に現存する『源氏物語』でも書写年代の古い貴重な古写本である。この影印と翻字本文を各頁上下段に対照できるよう掲げた。

国立歴史民俗博物館蔵、通称中山家本『源氏物語』 「鈴虫」のカラー影印と翻字を対照して掲載。既刊「須磨」「蜻蛉」についても新たな方針「変体仮名翻字版」に則った改訂版翻字を収めた。

『源氏物語』における貴重な古写本の影印と翻字を一頁内の上下で対照して読めるシリーズの第四弾。特異な本文を伝えるとされる橋本本『源氏物語』より「若紫」を刊行。解説つき。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の須磨と明石の巻を底本として翻刻を上段に、下段に全文の影印を対照させた。懇切丁寧な注は横に掲げ、写本の読み方も分かるように留意した。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の漣標・蓬生・関屋の三巻を底本として、翻刻を上段に、下段に該当の影印を対照させた。懇切丁寧な注は横に掲げ、写本の読み方も分かるように留意した。

野口元大 校注	影印校注古典叢書 35	宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の絵合・松風・薄雲の巻を底本として、上段に翻刻、下段に該当の影印を対照させ、写本の読み方も分かるようにした。注や校異はその頁の横に付けた。
絵合・松風・薄雲	ISBN978-4-7879-0235-1 A5並製 220頁 1980円	
武山隆昭 校注	影印校注古典叢書 38	宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の権・乙女の巻を底本として、翻刻を上段に、下段に該当の影印を対照させた。懇切丁寧な注と校異を横に掲げ、写本の読み方も分かるよう留意した。
権・乙女	ISBN978-4-7879-0238-2 A5並製 206頁 1870円	
小山利彦 校注	影印校注古典叢書 33	宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の玉鬘・初音の巻を底本として、翻刻を上段に、下段に該当の影印を対照させた。注は横に掲げ、写本の読み方も分かるよう留意した。
玉鬘・初音	ISBN978-4-7879-0233-7 A5並製 184頁 1870円	
中田武司 校注	影印校注古典叢書 29	宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の篝火・野分・行幸・藤袴の巻を底本として、上段に翻刻、該当の影印を下段に対照させ、写本の読み方も分かるように留意。注はその横に掲げた。
篝火・野分・行幸・藤袴	ISBN978-4-7879-0229-0 A5並製 200頁 1870円	
岡野道夫 校注	影印校注古典叢書 14	宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の柏木の巻を底本として、翻刻を上段に掲げ、下段に該当の影印を対照させた完本。懇切丁寧な注は横に掲げ、写本の読み方も分かるよう留意。
柏木	ISBN978-4-7879-0214-6 A5並製 126頁 1210円	
森本元子 校注	影印校注古典叢書 36	宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の橋姫・椎本の巻を底本に、翻刻を上段に掲げ、該当の影印を下段に対照させ、写本の読み方も分かるよう留意した。注は横に掲げた。
橋姫・椎本	ISBN978-4-7879-0236-8 A5並製 224頁 2136円	
平田喜信 校注	影印校注古典叢書 22	宮内庁書陵部蔵、三条西実隆筆『和泉式部日記』を底本とし、翻刻を上段に掲げ、下段に該当の影印を対照させた完本。注は横に掲げ、写本の読み方もわかるように留意した。
和泉式部日記	ISBN978-4-7879-0222-1 A5並製 124頁 1320円	
鈴木一雄・伊藤博 編		三条西家旧蔵本・寛元本系諸本・応永本系諸本の三系統が伝わるが、本書は応永本系統の最善本、書陵部蔵本を初めて全文影印した。諸本との異同、難語句、地名など、的確な頭注・解題を加えた。
影印本和泉式部物語	ISBN978-4-7879-0404-1 A5並製 112頁 1100円	
萩谷朴 編	新典社校注叢書 2	宮内庁書陵部蔵黒川本を底本として『全注釈』の本文に準拠し、80の章段に分けて全文を翻刻した。参考に関連の深い『栄花物語』『日記歌』からの引用と作中人物一覧、和歌各句索引を付した。
校注紫式部日記	ISBN978-4-7879-0802-5 B6並製 160頁 1650円	
小久保崇明 校注	影印校注古典叢書 9・30・39	千葉氏本系統の宮内庁書陵部蔵、桂宮家旧蔵本甲三冊本を底本とし、上段に翻刻、下段に影印を対照させ、横に注をつけた完本。巻頭に簡潔な解題。
大鏡上・中・下	ⓐISBN978-4-7879-0209-2 A5並製 136頁 1320円	ⓐ0230-6 176頁 1760円・ⓑ0239-9 168頁 1650円
塚原欽雄・神尾暢子 校注	影印校注古典叢書 7・13	今井似閑が書写献上した上賀茂神社蔵の三手文庫本を底本とし、上段に翻刻、下段に影印を対照、横に注をつけた完本。上巻に最初の6編を、下巻に残り5編を収めた。Ⓒ0213-9 A5並製 152頁 1320円
堤中納言物語上下	ⓐISBN978-4-7879-0207-8 A5並製 112頁 1100円	

大倉比呂志 編	新典社校注叢書 11	底本は高松宮家本を中心とし、適宜漢字をあてろじをふり、送り仮名や反復記号、濁点、句読点を付した。巻末に学習者の参考に資する参考文献や「はいずみ」の参考資料を掲載。
校注 堤 中 納 言 物 語	ISBN978-4-7879-0811-1 B6並製 136頁 1485円	
大養廉 編		御物本「更級日記」の全文を影印。定家晩年の円熟した筆勢による本文、傍注その他にもきわめて鮮明な影印を心がけた。頭注や巻末の補注・略系図にも可能な限り新見を加え、年表も付した。
影印本 更 級 日 記	ISBN978-4-7879-0406-5 A5並製 208頁 1430円	
小谷野純一 編	新典社校注叢書 10	底本に御物本を使用。誤写と思われるものは検証訂正し本文を整定。103章節に区分、頭注し、解説、頭注語句・和歌各句索引、主要研究文献目録付。底本末尾の奥書・勅物も完備した。
校注 更 級 日 記	ISBN978-4-7879-0810-0 B6上製 168頁 1870円	
久下晴康・堀口悟 編	新典社校注叢書 4	第一類本系統の最善本、内閣文庫蔵「さころも」四冊本を底本に、巻一・二の全文をできるだけ忠実に活字化しながら段落及び小見出しを設け、頭注は引歌及び参考歌程度にとどめた好教材。
校注 狭 衣 物 語 卷一・卷二	ISBN978-4-7879-0804-9 B6上製 224頁 1870円	
小谷野純一 編	新典社校注叢書 9	底本は群書類従本を使用。23本の伝本によって校定を加え、誤謬と判断されるものは検証の上改訂するなど本文整定を試みた最新の書。44章節に区分して頭注し、解説・改訂本文・索引付。
校注 讚 岐 典 侍 日 記	ISBN978-4-7879-0809-4 B6上製 160頁 1815円	
大妻女子大学国文学会 編	大妻文庫 2	大妻女子大学所蔵の善本を順次刊行する「大妻文庫」シリーズ第二回配本は六番目の勅撰和歌集『詞花和歌集』。後小松院と飛鳥井雅教により書写された旨の極札を有する。影印・翻刻・解題を収載。
詞 花 和 歌 集	ISBN978-4-7879-6062-7 B6並製 328頁 2750円	

◆◆ 教科書 (中世) ◆◆

浅見和彦・天野文雄・小島孝之・田村柳壹 編		新しい工夫をこらした立体的なテキスト。1151～1600年までを50年ごとに区分(解説・年表付)し、作品を韻文・散文・芸能に大別、成立順(含推定)に配列。脚注を付し豊富に参考記事を掲出した。
編 年 中 世 の 文 学 — 中世文学小事典 —	ISBN978-4-7879-0612-0 A5並製 320頁 2200円	
長崎健・桑原博史 編	新典社校注叢書 1	方丈記は重要文化財指定の最善本「伝長明筆 大福光寺本方丈記」を、徒然草は東京大学国語研究室蔵、通称細川幸隆本「徒然草」を底本として全文翻刻した。人名・地名他を頭注。
校注 方 丈 記・徒 然 草	ISBN978-4-7879-0801-8 B6上製 224頁 1870円	
小内一明 校注	影印校注古典叢書 11	伝本中最古・最善と考えられる大福光寺本を底本とし、右頁に全文の影印、左頁の上段に翻刻、下段に注。補注に、事件の記録類や出典・類想表現・古注等を収録した最良の教材。
方 丈 記	大福光寺本 ISBN978-4-7879-0211-5 A5並製 112頁 1210円	
田中裕 編		定家自筆本が、その一部を失う以前の完全な姿を伝える陽明文庫蔵「近代秀歌」と、堯孝自筆本「詠歌大概」を全文影印し、静嘉堂文庫蔵「毎月抄」を翻刻で収めた。適切な解題と注付。
影印本 定 家 歌 論 集	ISBN978-4-7879-0405-8 A5並製 102頁 1100円	

有吉保・犬養廉・橋本不美男 校注 影印校注古典叢書 2

百人一首 (兼載筆)

ISBN978-4-7879-0202-3 A5並製 64頁 770円

宮内庁書陵部蔵、兼載筆「百人一首」卷子一卷を底本とし、一頁に二首ずつ、上段に翻刻、下段に影印を対照させた。各歌ごとの作者略伝・出典・注・参考を横につけた。

有吉保・犬養廉・橋本不美男 編

影印本 百人一首

ISBN978-4-7879-0401-0 A5並製 80頁 825円

宮内庁書陵部蔵の兼載筆卷子本一卷を、全文影印した。宗祇注「百人一首」との本文の相異・地名・難語句を頭注し、作者伝・出典・参考など、本文理解の補助となるものを巻末に付載した好教材。

有吉保・神作光一 校注 影印校注古典叢書 5

小倉山庄色紙和歌

— 百人一首古注 —

ISBN978-4-7879-0205-4 A5並製 168頁 1540円

百人一首最古の古注群の一つ、有吉保氏蔵本を底本として、右頁に全文の影印、左頁上段に翻刻、下段に注をつけた。飛鳥井流古注の実体を示す好資料。巻頭に解題をつけた。

大倉比呂志・鈴木泰恵 編 新典社校注叢書 12

校注 風に紅葉

ISBN978-4-7879-0812-4 B6並製 128頁 1408円

宮内庁書陵部蔵の孤本を底本に翻刻・校訂・注釈。同時代に成立した中世王朝物語との相互関係に注目し、同時代文学という観点から捉えていくべき本作を授業などで広く用いやすい一冊とした。

渡辺静子 校注 影印校注古典叢書 31

春のみやまぢ

ISBN978-4-7879-0231-3 A5並製 216頁 1980円

安永9年の奥書を持つ藤原宗城の自筆本一冊、平野神社(蹴鞠神社)蔵本を右頁に全文影印、左頁上段に翻刻、下段に注をつけての初紹介。飛鳥井雅有の多面性を見ることのできる好作品。

一瀬・江口・長崎 校注 影印校注古典叢書 4

十六夜日記

ISBN978-4-7879-0204-7 A5並製 96頁 1100円

東京大学総合図書館蔵「阿仏十六夜日記」(伝池田光政筆本)を底本として、右頁に影印を掲げ、左頁上段に翻刻、下段に注をつけた完本。巻頭に解説・変体仮名初出一覧表をつけた。

松村雄二 編 新典社校注叢書 6

校注 とはずがたり

ISBN978-4-7879-0806-3 B6並製 272頁 2200円

宮内庁書陵部本を底本に適宜漢字を当てて段落を設け、漢字にはできるだけ多くふり仮名を付し、とくに敬語接頭語「御」には意を用いて区別を明確にした。人名・地名・引歌を頭注した。

大妻女子大学国文学会 編 大妻文庫 1

徒然草

ISBN978-4-7879-6061-0 B6並製 528頁 4180円

大妻女子大日本文学科・同短大国文科所蔵の善本を順次刊行する新シリーズ。永禄六年書写の奥書が残る『徒然草』は、享受・流布を考証する上で貴重な写本である。影印・翻刻・解題を収録。

西沢・石黒 校注 影印校注古典叢書 16

お伽草子

— おようの尼・玉もの前 —

ISBN978-4-7879-0216-0 A5並製 112頁 1210円

唯一の完本である東京大学附属図書館蔵の奈良絵本「およふのあま」と、国立国会図書館蔵の奈良絵本「玉もの前」を底本として上段に翻刻、下段にさし絵を含めた全文の影印、横に注付。

大妻女子大学国文学会 編 大妻文庫 3・4・5

曾我物語 上・中・下

ISBN978-4-7879-6063-4 B6並製 432頁 3520円

古活字本研究資料としても有益な大妻女子大学蔵の十一行古活字本影印を収録。漢字をあてて読みやすくした翻刻からは流布本への過渡的な様相を呈する本文内容が読み取れる。校異注つき。

川平ひとし・大伏春美 編

影印本 鳴の羽搔

ISBN978-4-7879-0431-7 A5並製 288頁 2200円

④6064-1 560頁 4510円 ⑤6065-8 512頁 4070円
「六歌仙」「八景和歌」等、三十余の歌集から、五九六首の〈数〉に関わる和歌を蒐集した江戸期の歌集『鳴の羽搔』を全文影印。懇切な解題と和歌・作者索引を付した好教材。

廣木一人 編

影印本 連歌作品集

ISBN978-4-7879-0425-6 A5並製 128頁 1430円

書陵部蔵、続群書類従写本による紫野千句第一百韻／石山百韻／宝徳千句第一百韻／熊野法楽千句第一百韻／新・筑波折念百韻／尼子晴久夢想披百韻／明智光秀張行百韻の七種を影印。頭注付。

◆◆ 教科書 (近世) ◆◆

本間洋一 編

史 館 茗 話

ISBN978-4-7879-0620-5 A5並製 192頁 2090円

林鶯峰・梅洞父子の編になる平安時代人士の詩文にまつわる逸話の書を忠実に翻刻。頭注付。編纂素材や後世への影響の一斑を小研究で併載。版本影印と人名・引用詩文索引付。

佐藤勝明・竹下義人・谷地快一・宮脇真彦 編

連 句 の 世 界

ISBN978-4-7879-0618-2 A5並製 128頁 1430円

連句の世界を学ぶためのテキスト。基本的事項や史的展開を概説し、代表的作品を影印・翻刻で掲げ脚注を施す。とくに芭蕉一座の四歌仙と蕪村一座の二歌仙は最善本により影印で掲出。

峯岸義秋・扇畑忠雄・片野達郎 編

芭蕉・近松・西鶴

ISBN978-4-7879-0604-5 A5並製 174頁 1100円

断片的、網羅的な傾向を排し、江戸時代を代表する三作家に焦点を絞ったのが本書の特徴。各作家の生涯と作品、厳選された本文に懇切な頭注をつけた。巻末に芭蕉・近松・西鶴の略年表付。

雲英・谷脇・伊藤・井上・佐藤・二又 編
影印版頭注付

西鶴の世界 I・II

I ISBN978-4-7879-0622-9 A5並製 128頁 1430円

I、『大坂独吟集』『古今誹諧師手鑑』『好色一代男』『好色五人女』他、II、『日本永代蔵』『世間胸算用』『西鶴置土産』他、代表作品を収録。厳選された全文の影印に懇切な頭注、簡潔的確な解説を付けた。II ISBN978-4-7879-0623-6 A5並製 128頁 1430円

景山正隆・松崎仁 編

俊 寛

— 平家・謡曲・浄瑠璃 —

ISBN978-4-7879-0609-0 A5並製 160頁 1430円

『平家物語』の鬼界が島の部分、謡曲『俊寛』、浄瑠璃『平家女護島』二段目を翻刻し、簡潔な頭注を付けた。同一素材がジャンルによって変わる様子が容易に学習できるようにした教材。影印付。

雲英末雄・佐藤勝明 編

影印本 元 禄 版 猿 蓑

— 『猿蓑箋註』翻刻付 —

ISBN978-4-7879-0426-3 A5並製 192頁 2030円

蕉門のすぐれた一大撰集として高く評価されている『猿蓑』を全文影印し、『猿蓑』解説上有益な資料であり、現存唯一の完本である『猿蓑箋註』を付録として翻刻した。参考文献目録付。

森修 編

影印本 曾 根 崎 心 中

— 加賀掾直伝 —

ISBN978-4-7879-0409-6 A5並製 74頁 825円

大阪府立図書館八行二十五丁本を底本とし、加賀掾正本・八行二十六丁本他により、落丁・破損・汚損部分を補って全文を影印した。本文の相異・典拠・地名・特殊用語・曲節などについて頭注。

景山正隆 編

影印本 心中重井筒・今宮の心中

ISBN978-4-7879-0414-0 A5並製 168頁 1430円

『心中重井筒』は八行三十二丁本、山本九兵衛・山本九右衛門版、『今宮の心中』は八行四十丁本、同上版を全文影印。作品の成立を中心に基本的事項を解説し、義太夫節丸本の節付を略説した。

◆◆ 教科書（近代・現代・日本語・教育・言語） ◆◆

京都橘大学日本語日本文学科 編

新版 作品で読む20世紀の日本文学

ISBN978-4-7879-0643-4 A5並製 88頁 1100円

夏目漱石『坊っちゃん』森鷗外『雁』芥川龍之介『地獄変』中島敦『山月記』坂口安吾『桜の森の満開の下』計5編を収めた。教材としての使いやすさを考慮し、4編は抄出。作家・作品紹介つき。

京都橘大学日本語日本文学科 編

新版 作品で読む明治文学

ISBN978-4-7879-0645-8 A5並製 122頁 1210円

明治という時代を文学から知るべく、森鷗外『舞姫』、樋口一葉『たけくらべ』、泉鏡花『高野聖』、田山花袋『蒲団』、夏目漱石『三四郎』、谷崎潤一郎『刺青』の6編（5編は抄出）を収めた。

京都橘大学日本語日本文学科 編

新版 作品で読む宮沢賢治

ISBN978-4-7879-0644-1 A5並製 88頁 1100円

宮沢賢治とはいかなる作家であったか、代表作の抄出から読む。注文の多い料理店・オツベルと象・なめとこ山の熊・よだかの星・グスコーブドリの伝記・銀河鉄道の夜。賢治の生涯と文学の解説つき。

赤木孝之 編

注 釈 『 晩 年 』 抄

ISBN978-4-7879-0616-8 A5並製 224頁 1923円

太宰治の第一創作集『晩年』から、葉/思ひ出/魚服記/列車/道化の華/猿面冠者/逆行/陰火の8作を選び、各作品に解説、見開き頁に本文と注釈、末尾に参考文献付。太宰の特徴あふれるテキスト。

池田重 監修

中 級 か ら の 日 本 語

— 読解中心 —

ISBN978-4-7879-8100-4 B5並 192頁 別冊24頁 2200円

中級程度の日本語能力を有する外国人学習者が、上級レベルに達する読解力を養うための教材。様々な分野からデータを集め、準備から読後討論までを網羅。漢字は総ルビ。別冊に語彙リスト。

伊藤善隆・小森潔 監修

日 本 語 リ テ ラ シ ー

ISBN978-4-7879-0627-4 B5並製 64頁 1100円

自己紹介、スピーチ、手紙、メール、履歴書、面接等、全14のコンテンツを書き込み式で習得。就職活動の大学生に、社会の中で生きる全ての人に。日本語コミュニケーション上達のための一冊。

◆◆ 一般書（上代） ◆◆

中西進・辰巳正明 編 新典社選書 22
郷 歌
— 注解と研究 —
ISBN978-4-7879-6772-5 B6並製 272頁 1980円

「郷歌（ヒャンガ）」は、万葉仮名の原典であると同時に、東アジア文化圏の古代歌謡を知る原典でもある。古代朝鮮半島の新羅に残された貴重な古代歌謡の全貌が、いま明らかになる。

辰巳正明 著 新典社新書 27
歌 垣
— 恋歌の奇祭をたずねて —
ISBN978-4-7879-6127-3 新書判並製 160頁 1100円

多くの男女が集い、お互いに歌をやりとりしながら思いを伝わらせてゆく恋歌の祭典、歌垣。中国の現行や日本のかつての姿をさぐり、万葉集以来、今なお息づく歌の文化とそのルーツにせまる。

川上富吉 編
萬葉集名花百種鑑賞
ISBN978-4-7879-7855-4 A5並製 224頁 3740円

『万葉集』に登場する植物百種を選び、和歌と鑑賞文、フルカラー写真を見開き二頁で対照鑑賞する。華道家が本書のために製作した挿花と、古代文学の研究者総勢21名による解説。コラム付き。

菊池威雄 著 新典社選書 29
万葉 恋歌の装い
ISBN978-4-7879-6779-4 B6並製 208頁 1540円

美しい日本語の原点、『万葉集』。今なお人々を惹きつけてやまない恋歌を、日本画家・佐藤平八氏による美麗な挿絵（全点描き下ろし）とともに楽しむ。人はなぜ歌を詠むのか。恋歌の表現とは。

廣岡義隆 著 新典社新書 11・12
萬葉の散歩みち
— 上巻・下巻 —
ISBN978-4-7879-6111・2 新書判並製 128頁 各880円

万葉集を様々な視点からながめてみると、鮮明に見えるもの。物語や、人々の思い、そして今や知る人も少ない美しいことばの数々…。万葉びとの世界をすずろ歩く楽しい散歩みち。上・下巻

廣岡義隆 著 新典社新書 63
萬葉の散歩みち
— 続 —
ISBN978-4-7879-6163-1 新書判並製 128頁 880円

日本文化の根底をなす華、『万葉集』。そこに収められた歌の詠み手や詠み込まれたみやび、歌の背景など。様々な視点で万葉びとの豊かな世界を眺めゆったりとすずろ歩く散歩みちに待望の続編。

井上さやか 著 新典社新書 59
万葉集からみる「世界」
ISBN978-4-7879-6159-4 新書判並製 160頁 1100円

人々の恋愛観・天皇の日常、万葉集には遠い時代のきららしい「世界」が詰まっている。歌一首一首を愉しみ、その文化に憧憬しながら、多様な世界の切り口と垣間見のしかたを案内する一書。

城崎陽子 著 新典社新書 49
万葉集を訓んだ人々
— 「万葉文化学」のこころみ —
ISBN978-4-7879-6149-5 新書判並製 128頁 880円

『万葉集』はどう訓み解かれてきたのか。平安京における万葉仮名の訓じ方、契沖・宣長ら江戸の国学者たちの解釈、そして近代まで。訓む人々の情熱や時代のあり方が見える『万葉集』の享受史。

濱口博章 著 新典社選書 24
万葉集宮廷歌人全注釈
— 虫麻呂・赤人・金村・千年 —
ISBN978-4-7879-6774-9 B6並製 272頁 2200円

高橋虫麻呂、山部宿禰赤人、笠朝臣金村、車持朝臣千年。万葉集から4人の宮廷歌人に焦点をあて、その全てに注釈を施した。「芦屋万葉集を読む会」における20年来の成果を集大成。

辰巳正明 著 新典社新書 78
「令和」から読む万葉集
ISBN978-4-7879-6178-5 新書判並製 128頁 880円

改元は、もとは時代の状況を変える国家的な気分転換だった？「令和」の典拠となった万葉集の梅花の宴と主催者大伴旅人、元号の歴史をたどることで、新元号の背景と改元の意義を明らかにする。

辰巳正明 著

大 伴 旅 人

「令和」を開いた万葉集の歌人

ISBN978-4-7879-7864-6 A5並製 256頁 2640円

新元号の典拠となった梅花の宴の主催者はどのような人物だったのか。現在残る大伴旅人の全作品と関連する人物の作品を読み解くことで、「令和」を生み出した万葉びとの文学に迫る。参考資料付。

西條勉 著

新典社新書 38

千と千尋の神話学

ISBN978-4-7879-6138-9 新書判並製 160頁 1100円

千と千尋はなぜこんなに面白くももしろいのか。数ある異郷訪問型のストーリーと比較しつつ、神話学の観点から千と千尋を読みとく。トンネルの向こうの、不思議の町に仕組まれた神話の構造とは？

志水義夫 著

新典社新書 37

古 事 記 の 仕 組 み

— 王権神話の文芸 —

ISBN978-4-7879-6137-2 新書判並製 160頁 1100円

古事記従来の研究成果を踏まえつつ、アニメコミック世代に向けエンターテインメントとしての読み方を提供。痛快なオリジナル訳と一こまマンガで通説からの脱却、さらには成立論にも挑む。

山田利博 著

新典社新書 51

アニメに息づく日本古典

— 古典は生きている —

ISBN978-4-7879-6151-8 新書判並製 128頁 880円

難解・高尚なものとして敬遠されがちな古典だが、その要素はアニメやマンガに用いられ、作品を魅力的に彩っている。いまや世界に誇る文化となった日本アニメの中で生き続ける日本古典文学・文化の要素とは。

岩坪健 著

新典社新書 57

ウ ラ 日 本 文 学

— 古典文学の舞台裏 —

ISBN978-4-7879-6157-0 新書判並製 128頁 880円

よく知っている日本古典文学の知られざる舞台裏をご紹介します。知らなかった裏側に目を向けて、いつもと違う角度から見れば「ただ丸暗記でつまらない」と思っていたものもこんなに楽しくなる。

志村有弘 著

新典社選書 69

役 行 者 の い る 風 景

— 寺社伝説探訪 —

ISBN978-4-7879-6819-7 B6並製 120頁 1100円

日本各地の「超人役行者小角」が存在する風景を、著者撮影の写真で紹介しつつ、その写真から見えてくる姿を通して役行者の歴史上の存在意義を考察。役行者ゆかりの寺院と神社一覧も収録。

◆◆ 一般書 (中古) ◆◆

保科恵 著

新典社選書 96

入 門 平 安 文 学 の 読 み 方

ISBN978-4-7879-6846-3 B6並製 208頁 1650円

古典作品をどう読んだらよいか。注釈書を見比べて疑問を持つ・暦と生活の密接な関わりを知る・句読点や濁点を見直す…など。具体的な本文や例題から自分で考える力を鍛える、他にないガイド。

稲賀敬二 著

新典社選書 25

女 流 歌 人 中 務

— 歌で伝記を辿る —

ISBN978-4-7879-6775-6 B6並製 384頁 3080円

中務の歌を、その人となりを愛した著者が、珠玉の歌から辿る中務の人物伝。短歌雑誌『磔』への連載から、遺稿を含むすべての原稿を収録し、さらには関連前著への書評も収めた、待望の完全版！

増田繁夫 著

日本の作家 9

蜻蛉日記作者

右 大 将 道 綱 母

ISBN978-4-7879-7009-1 B6上製 272頁 1870円

三十六歌仙の一人で本朝三美人に数えられる才色兼備の女性。平安女流作家中ただ一人の家庭婦人。その結婚生活を綴った蜻蛉日記は女流日記の白眉。当時の結婚像も含めて明快に描く。

堤和博 著

新典社新書 41

和 歌 を 力 に 生 き る

— 道綱母と蜻蛉日記 —

ISBN978-4-7879-6141-9 新書判並製 160頁 1100円

散文だけでは蜻蛉日記の真相は分からない。愛情も嫉妬も全ては和歌にこめられている。とくに上巻前半部、和歌の重要性に目を向け、あえて書かれなかった真実や道綱母の意図を明かす。

- 天野紀代子 著 **新典社選書 101**
賀茂保憲女
紫式部の先達
 ISBN978-4-7879-6851-7 B6並製 144頁 1210円
- 方丈記に匹敵するほど長い仮名書き序文を冠し、源氏物語にも影響を与えた賀茂保憲女集。疱瘡流行時に書くことを生きた支えとした女性の先駆的な試みを序文解説や叔父慶滋保胤の足跡から探る。
-
- 原國人 著 **新典社選書 54**
物語のいでき始めのおや
— 『竹取物語』入門
 ISBN978-4-7879-6804-3 B6並製 160頁 1210円
- 「物語のいでき始めのおや」といわれる一方、その成立状況には謎の多い『竹取物語』を丁寧に読み解く。内容と構造、言語遊戯（洒落、修辞法）の二つを軸に、物語成立の謎に迫る。
-
- 吉海直人 著 **新典社選書 42**
『住吉物語』の世界
 ISBN978-4-7879-6792-3 B6並製 276頁 2640円
- 古本を失った『住吉物語』。改作本へと継承されているであろう、物語における不変のモチーフ・表現などを切り口に、『源氏物語』以前の古典として『住吉』を論じ、停滞する研究を切り拓く。
-
- 藤本宗利 著 **日本の作家 11**
感性のきらめき
清少納言
 ISBN978-4-7879-7011-4 B6上製 272頁 2310円
- 「をかし」の文学精神で知られる『枕草子』の作者。その簡潔な文章の中には、清新な感性と才気があふれる。華やかで謎多き生涯を叙情的かつ着実に追究した自信の一書。
-
- 宮崎莊平 著 **新典社新書 35**
清少納言“受難”の近代
— 「新しい女」の季節に遭遇して —
 ISBN978-4-7879-6135-8 新書判並製 128頁 880円
- 高慢な才媛？ 近代、突如として不当な非難にさらされた清少納言。『青鞈』、新しい女に代表される時代風潮の中で遭遇した清少納言の“受難”を明らかにし、フェミニズム問題の行方を問いかける。
-
- 藤本宗利 著 **新典社選書 44**
『枕草子』をどうぞ
— 定子後宮への招待 —
 ISBN978-4-7879-6794-7 B6並製 176頁 1430円
- 定子後宮で繰り広げられる知的競技のような応酬には、同時代の女房日記とは異なる、後宮女房ならではの公的な場での駆け引きの見事さがある。「後宮文学」として読み直す『枕草子』の魅力。
-
- 妹尾好信 著 **新典社新書 45**
昔男の青春
— 『伊勢物語』初段～16段の読み方 —
 ISBN978-4-7879-6145-7 新書判並製 160頁 1100円
- よく知られた古典でありながら、断片的な章段のみ扱われがちな伊勢物語。主人公の人間性、物語に仕掛けられた謎など、全体を通してこそ分かる魅力を昔男の「青年期」から読み解く。
-
- 稲賀敬二 著 **日本の作家 12**
源氏の作者
紫式部
 ISBN978-4-7879-7012-1 B6上製 272頁 1870円
- 物語文学の代表的作品である源氏物語は、中宮彰子の許へ出仕する前から書き続けられ、宮中の話題となっていた。平安の物語き女性の覚めた目が人間の真実をどのようにとらえたかを解き明かす。
-
- 廣田収 著 **新典社選書 55**
家集の中の「紫式部」
 ISBN978-4-7879-6805-0 B6並製 256頁 1980円
- 『源氏物語』作者として知られる紫式部について、その歌および家集『紫式部集』の性質と独自性について分析する。物語作者である紫式部は儀式や行事の中でなにを歌い、なにを託したか。
-
- 原禎子 著 **新典社選書 75**
神に仕える皇女たち
— 齋王への誘（いぎな）い —
 ISBN978-4-7879-6825-8 B6並製 224頁 1760円
- 齋王は、どのような時代に生まれ、どのような生き方をしたのか。歴史に描写された齋王を紹介しながら、わかりやすく概論し、文学において物語化された齋王、虚構の齋王にも言及する。
-
- 吉海直人 著 **新典社選書 82**
『源氏物語』の特殊表現
 ISBN978-4-7879-6832-6 B6並製 304頁 2420円
- 源氏物語には他の古典作品にない特殊な表現や用法が見られる。美的表現・特殊表現・物語表現の全三部に分類し、時めく・上衆めく・ひとりごつ・さしつぎなどから、物語の読みを深める。

伊藤欽也 編

もっと知りたい

池田亀鑑と「源氏物語」第1集

ISBN978-4-7879-6051-1 A5並製 272頁 2640円

『源氏物語大成』をなした池田亀鑑の業績を再確認し、今後の本文研究の道を開くともに、新たな『源氏』研究を目指す。「知りたい」の思いを共有し、池田亀鑑や写本を通じて『源氏物語』を見直す第一歩。

伊藤欽也 編

もっと知りたい

池田亀鑑と「源氏物語」第2集

ISBN978-4-7879-6052-8 A5並製 384頁 3300円

池田亀鑑の軌跡を辿るシリーズ第二集。第一回池田亀鑑賞の詳細、源氏本文を読むための論考、亀鑑を知る連載やコラムを豊富に収録し、資料として過去の源氏展目録、亀鑑のアルバムも収めた。

伊藤欽也 編

もっと知りたい

池田亀鑑と「源氏物語」第3集

ISBN978-4-7879-6053-5 A5並製 336頁 2970円

池田亀鑑の軌跡を辿るシリーズ第三集。好評連載群のほか、本集では第二回池田亀鑑賞授賞式・記念講演会の様子を収録し、亀鑑の小説と随筆集『花を折る』の前半部も復刻掲載。

伊藤欽也 編

もっと知りたい

池田亀鑑と「源氏物語」第4集

ISBN978-4-7879-6054-2 A5並製 372頁 3190円

池田亀鑑の軌跡を辿るシリーズ第四集。『随筆集 花を折る』の後半ならびに索引を掲載し亀鑑の感性をも窺える。第三回池田亀鑑賞報告、授賞式講演のほか亀鑑の小説や資料・写真も新たに収めた。

小町谷照彦 著

新典社選書 32

あらすじで楽しむ源氏物語

ISBN978-4-7879-6782-4 B6並製 224頁 1760円

百人一首板本の源氏絵、源氏かるた絵合風の香図趣意絵など、図版満載でめぐる源氏物語の世界。寺子屋以来の教養涵養の一つのあり方として、絵とあらすじを用いたやさしいいざない。

久保朝孝 編

新典社選書 65

女たちの光源氏

ISBN978-4-7879-6815-9 B6並製 208頁 1650円

二人の嫡妻、零落した姫君、求愛を拒み通した女君など、光源氏との恋における一方の当事者である女君たちの立場や視線から『源氏物語』を読みなおすことで、絶対者・光源氏の相対化を図る。

清水婦久子 著

新典社新書 1

光源氏と夕顔

— 身分違いの恋 —

ISBN978-4-7879-6101-3 新書判並製 160頁 1100円

『源氏物語』で人気のヒロインの一人、夕顔。彼女の人物像が、一つの和歌をどう読むかで一変する！ 通説の矛盾に鋭く迫り突き崩す中から、古典の面白さ、光源氏と夕顔二人の本当の恋の姿が見えてくる。

小澤洋子 著

新典社選書 93

『源氏物語』忘れ得ぬ初恋と懸隔の恋

— 朝顔の姫君と夕顔の女君 —

ISBN978-4-7879-6843-2 B6並製 240頁 1870円

源氏物語に登場する女性の中でも対照的な呼称と境遇を持つ姫君、朝顔・夕顔について、作者は植物的特性も踏まえて、どのように描き、物語を構成したのか、本文に即しつつ明らかにする。

西原志保 著

新典社新書 72

『源氏物語』女三の宮の〈内面〉

ISBN978-4-7879-6172-3 新書判並製 160頁 1100円

『源氏物語』の女君の中でも特に「内面がない」とみなされがちな人物、女三の宮。しかし先入観を排除してその言葉に耳を傾ければ、現代の女性にも似合うその人物像が明らかになる。

鷺山茂雄 著

新典社新書 5

源氏物語

— 語りのからくり —

ISBN978-4-7879-6105-1 新書判並製 160頁 1100円

「紫の上」——ヒロインの名前に隠された危険な真実——物語の語り手たちによって繰り出される言葉のトリックに注目すれば、『源氏物語』はもっと面白くなる！

渋谷栄一 著

新典社新書 15

源氏物語の季節と物語

— その典型的表現 —

ISBN978-4-7879-6115-0 新書判並製 160頁 1100円

春の誕生、夏の恋、秋の離別、冬の寿賀…人間模様を季節を添わせることで、物語はより情緒の深いものとなる。源氏物語に描かれた生・病・死・恋・別れなどを、季節の描写やその背景から読む。

岩坪健 著

新典社新書 19

光源氏とティータイム

ISBN978-4-7879-6119-8 新書判並製 128頁 880円

衣装・マナー・恋愛・出産・死生観…。『源氏物語』のおもしろい箇所、王朝文化の魅力ばかりをセレクトした一冊は、光源氏とともに人生を歩んできた、ある青年がおくるティータイムのおしやべり。

熊谷義隆 著

新典社新書 31

源氏物語 二つのゆかり

— 継承の主題と変化 —

ISBN978-4-7879-6131-0 新書判並製 160頁 1100円

紫のゆかりと復権のゆかりが、光源氏の運命を定めた三つの予言の間にたゆたい、長編物語を構築する。作者紫式部の隠された意図をも乗せて、一貫して源氏物語を支えているものとは。

天野紀代子 著

新典社新書 40

跳んだ『源氏物語』

— 死と哀悼の表現 —

ISBN978-4-7879-6140-2 新書判並製 128頁 880円

仮名で物語をつづることがはじめてられて間もない頃、空前絶後の傑作、『源氏物語』は誕生した。死と哀悼を縦軸に、筆者紫式部が目にしていた「絵」に焦点をあて、源氏物語が跳んだ軌跡を辿る。

山田利博 著

新典社新書 67

知ったか源氏物語

ISBN978-4-7879-6167-9 新書判並製 128頁 880円

誰もが知っているけど、実際に読んだ人は少ない作品『源氏物語』。『平家物語』との関係は?」「光源氏の仕事は?」など、さまざまな質問に、専門家である著者が明快に回答。

小谷野純一 著

新典社新書 28

紫式部日記の世界へ

ISBN978-4-7879-6128-0 新書判並製 160頁 1100円

おのが心の奥底に〈暗闇〉をかかえた紫式部は、研ぎ澄まされた鋭利な眼差しで周囲と自らを見つめ、自在に日記を紡いでいく。単なる記録の営みから飛躍する『紫式部日記』を鋭く読み解く。

深沢徹 著

新典社新書 23

都市空間の文学

— 藤原明衡と菅原孝標女 —

ISBN978-4-7879-6123-5 新書判並製 128頁 880円

藤原明衡と菅原孝標女。仏教的厭世観ただよう平安京において、文化的な立場が大きく異なるふたりはどんなしぐさやことばを書きつけたのか。領域を超えた出会いに見出す新しい意味。

小谷野純一 著

新典社選書 36

更級日記への視界

ISBN978-4-7879-6786-2 B6並製 368頁 2970円

『更級日記』は単なる紀行文ではない。上洛の記は内なる視点から旅の秩序化がはかられ、少女期の物語への没入は夢を通じた信仰世界への啓示や論説という特質がある。その文学世界に果敢に踏み込む。

小谷野純一 著

新典社選書 43

讃岐典侍日記への視界

ISBN978-4-7879-6793-0 B6並製 368頁 2970円

病苦にあえぐ堀河帝を愛し凝視し続ける上巻。下巻では藤原長子が帝亡き後に狂気に襲われる。平安日記としても異彩を放つ『讃岐典侍日記』の叙述世界に踏み込み、つぶさに読み解く。

◆◆ 一般書 (中世) ◆◆

中本真人 著

新典社新書 68

宮廷の御神楽

— 王朝びとの芸能 —

ISBN978-4-7879-6168-6 新書判並製 160頁 1100円

平安時代の天皇を魅了し、貴族たちを夢中にさせた御神楽とは、どのような行事であったのか。知られざる王朝びとの芸能文化に光を当てると本格的な御神楽入門書。

佐伯雅子 著

新典社新書 16・17

平家物語の死生学

— 上巻・下巻 —

ISBN978-4-7879-6116-7 新書判並製 128頁 各880円

平氏の栄華から没落までを鮮烈に描いた平家物語。過酷な状況の中で登場人物たちは、自らの「死」をどのようにとらえ、そして向き合ったのか。物語を読み解きながら、壮絶な死生観にせまる。

濱中修 著 **新典社新書 79**
平家物語とその周辺
— 女性たちの物語 —
ISBN978-4-7879-6179-2 新書判並製 160頁 1100円

源平の争乱を扱う物語の中で、波乱に満ちた生涯が語られる五人の女性たち。その物語を追うことで、関わりある武将の知られざる一面や中世の人々が女性に抱いていた宗教的幻想をも明らかにする。

日記文学会中世分科会 編 **新典社選書 99**
『建礼門院右京大夫集』の発信と影響
ISBN978-4-7879-6849-4 B6並製 312頁 2530円

建礼門院徳子に仕え平家一門の隆盛と崩壊を見届けた女性による日記的家集、建礼門院右京大夫集。解説で作者と家集の概略を学びつつ6編の論考で理解を深める、建礼門院右京大夫集研究の最新線。

伊藤悦子 著
木曾義仲に出会う旅
ISBN978-4-7879-7849-3 A5並製 164頁 1980円

著者が巡った全国各地の木曾義仲関係の史跡・伝説地を、平家物語の異本のひとつである源平盛衰記のストーリーにそって紹介する。義仲伝説の特色についての解説・義仲関係記事略年表・地図も収載。

田中徳定 著 **新典社選書 73**
義経伝説と鎌倉・藤沢・茅ヶ崎
ISBN978-4-7879-6823-4 B6並製 272頁 2200円

悲劇的最期を遂げた源義経。本書では、歴史資料、文学作品を読み解き、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎に残る義経関連の寺社・史跡を廻り、湘南の地に伝わる義経の伝説と信仰を明らかにする。

濱中修 著 **新典社新書 54**
女神たちの中世物語
ISBN978-4-7879-6154-9 新書判並製 160頁 1100円

玉藻前・小野小町・京極御息所・照手姫。類々な美貌をもち愛欲や宿業に迷いながら、それゆえにこそ彼女たちは観音や菩薩ともなった。中世の女性観・宗教観が生んだ、聖なる四人の女神たち。

濱中修 著 **新典社新書 76**
物語の中の京都
ISBN978-4-7879-6176-1 新書判並製 160頁 1100円

街のそこかしこに歴史上の大小の事件や、著名人の事跡がのこる特別な街、京都。清水寺・六角堂・伏見稲荷大社など、名所を舞台とする中世の物語を探ることで、知られざる京都の一面を発見する。

伊東玉美 著 **新典社選書 35**
宇治拾遺物語のたのしみ方
ISBN978-4-7879-6785-5 B6並製 176頁 1430円

鎌倉時代から今日までの平均的読者がとらえ、感じてきた『宇治拾遺物語』のおもしろさとは。観音靈驗譚・動物説話・報恩譚・笑い話・夢説話など、説話のたのしみ方を知るガイドブック。

京都仏教説話研究会 編 **新典社選書 80**
説話の中の僧たち
ISBN978-4-7879-6830-2 B6並製 328頁 2640円

仏教説話・世俗説話・史書・軍記などにおける僧の描かれかたに着目し、作品ごとに考察する。説話集が描く僧の多様性とは。背景となった歴史や社会とは。

福寛美 著 **新典社新書 10**
喜界島・鬼の海域
— キカイガシマ考 —
ISBN978-4-7879-6110-5 新書判並製 128頁 880円

南の海に浮かぶサンゴ礁の島、喜界島。ヤマト(日本)と琉球王国それぞれの文化圏の境界にあり、また「貴」「鬼」など、さまざまなイメージで記され伝えられてきたこの島の真の姿に迫る。

小田剛 著 **新典社選書 52**
式子内親王
— その生涯と和歌 —
ISBN978-4-7879-6802-9 B6並製 176頁 1430円

「玉のをよ絶なばたえねながらへば忍ぶる事のよはりもぞする」の絶唱で知られる、新古今随一の女流歌人・式子内親王。その生涯と和歌について、最新の研究成果を踏まえ一般向けに書き下ろした。

小田剛 著
式子内親王全歌新釈
ISBN978-4-7879-0635-9 A5並製 384頁 4070円

新古今和歌集随一の女流歌人・式子内親王の全歌を一般向けに注釈。和歌の解釈と語釈。歌によっては本歌や参考も付記し、端的かつ確実に式子内親王の和歌を理解するための一書。

神尾暢子 著 誇り高く歌に生きた 藤原俊成女 ISBN978-4-7879-7019-0 B6上製 256頁 2200円	日本の作家 19	藤原俊成の孫娘で、中世初期に活躍した恋歌の名手・俊成女。定家らを輩出した和歌の名家に生まれ、後鳥羽院歌壇に颯爽と登場し、戦亂の世に歌に生きた彼女の生涯を見つめる。
磯水絵 編 今日は一日、方丈記 ISBN978-4-7879-0633-5 A5並製 224頁 2200円		方丈記と鴨長明について、多方面からその魅力や受容形態にせまった講演記録。長明の隠遁生活の一人にもなったという禁断の「秘曲尽くし」解説と、その「秘曲尽くし」を再現するCDを付録。
鈴木久 著 方丈記と往生要集 ISBN978-4-7879-6808-1 B6並製 128頁 1100円	新典社選書 58	鴨長明が隠遁して方丈記を記した場に、自前の楽器や和歌とともに持ち込んだ往生要集こそが長明の信仰生活の指針であった。方丈記成立800年を経て長明の信仰と方丈記の真意を明らかにする一冊。
菊池威雄 著 鎌倉六代将軍宗尊親王 — 歌人将軍の栄光と挫折 — ISBN978-4-7879-6811-1 B6並製 224頁 1760円	新典社選書 61	和歌をこよなく愛した鎌倉六代将軍宗尊親王は、和歌を権威の軸に据えて鎌倉に君臨しようとした。親王の実像を具体的に描き、その和歌を和歌史的な視点から捉えて特質や意義を検証する。
三村晃功 著 古典和歌の世界 — 歌題と例歌（証歌）鑑賞 — ISBN978-4-7879-6787-9 B6並製 256頁 1870円	新典社選書 37	高度文明の現代にあつて、閉塞感に苛まれる人々。古典和歌という文芸の豊穡さが現代人に生きる糧を与えてくれる。四季の歌や恋の歌など、歌題と例歌で迎える和歌の世界。
三村晃功 著 古典和歌の文学空間 — 歌題と例歌（証歌）からの鳥瞰 — ISBN978-4-7879-6803-6 B6並製 448頁 3520円	新典社選書 53	前著『古典和歌の世界—歌題と例歌（証歌）鑑賞—』では対象外にした、約100の歌題と例歌（証歌）約570首を粗上に載せて詳細に論述し、題詠歌による和歌の世界・文学空間の完全な構築を目指す。
三村晃功 著 古典和歌の時空間 — 「由緒ある歌」をめぐって — ISBN978-4-7879-6809-8 B6並製 288頁 2310円	新典社選書 59	古典和歌の世界および文学空間を構築する「歌」を考察する。歌題の視点から多彩な古典和歌の世界に照射を与えた前二作に続き、和歌説話を担って成立した由緒ある和歌の深淵世界に踏み込む。
桑原博史 著 人生の達人 兼好法師 ISBN978-4-7879-7024-4 B6上製 248頁 1760円	日本の作家 24	晩年の著作『徒然草』に展開される柔軟で知的な人生論が兼好の実人生とどうかかわっているかを現代に通ずる感覚で分析し、歌人・随筆家・評論家・能書家でもある兼好の実像を明らかにする。
濱田浩一郎 著 超口語訳 徒然草 ISBN978-4-7879-6173-0 新書判並製 128頁 880円	新典社新書 73	人間論・政治論・恋愛・住居論・心理など幅広い分野の話が収められている、日本三大随筆の一つ『徒然草』。本書ではその中から現代人にも役に立つエピソードを選び、わかりやすい口語訳で紹介。
村尾誠一 著 残照の中の巨樹 正徹 ISBN978-4-7879-7023-7 B6上製 272頁 2420円	日本の作家 23	王朝和歌の伝統を継承した室町期の市井歌人・正徹。「幽玄」の理念を核に、三万余首の歌を詠んだといわれる。この特異な中世歌人の生涯を丁寧に辿り、その姿を鮮やかに描き出す好著。
吉海直人 著 百人一首かるたの世界 ISBN978-4-7879-6124-2 新書判並製 160頁 1100円	新典社新書 24	江戸期の華やかなかるたから、雑誌付録や、大戦中ならではのかるたまで。百人一首グズズコレクターでもある著者所蔵のかるたが舞う。めずらしい図版も満載に、かるたに潜む未知の世界へ！

吉海直人 著 **新典社選書 41**
百人一首を読み直す
— 非伝統的表現に注目して —
ISBN978-4-7879-6791-6 B6並製 264頁 2530円

百人一首収載歌は有名かつ伝統的なもの、という従来の観念をくつがえし、伝統的ではない(非歌語)表現に注目した新たな読みで、藤原定家の斬新な秀歌意識に迫る。

吉海直人 著 **新典社選書 97**
百人一首を読み直す 2
— 言語遊戯に注目して —
ISBN978-4-7879-6847-0 B6並製 312頁 2915円

広く親しまれている百人一首も、その歌独自の表現に注目して読み直すと、従來說とは異なる解釈の可能性が見えてくる。和歌の読み解きから、藤原定家の選歌意識にも迫る、好評書籍待望の続編。

石黒吉次郎 著 **新典社新書 32**
御家騒動の物語
— 中世から近世へ —
ISBN978-4-7879-6132-7 新書判並製 128頁 880円

中世の能や御伽草子が編み出した武家騒動のストーリー。いつの世にも通じる人間たちの営みを近世に確立する「御家騒動の物語」へと仕立てた、そのドラマツルギーを中世にたどる。

原田香織 著 **新典社新書 75**
戦国武将と能楽
— 信長・秀吉・家康 —
ISBN978-4-7879-6175-4 新書判並製 160頁 1100円

戦国時代、多くの武将に愛された芸能、能楽。戦のさなか、武将たちはどのように能を楽しんでいたのか。信長・秀吉・家康の挿話をなぞりながら、能が武家社会に浸透していく様子を追う。

鈴木啓吾 著 **新典社選書 67**
能のうた
— 能楽師が読み解く遊楽の物語 —
ISBN978-4-7879-6817-3 B6並製 400頁 3520円

能の題材となった和歌や漢詩の、大胆にしてやさしい解説から、能の作者が発想を得た源、そして能楽師である著者の想いを知る。能の世界がぐっと身近に感じられる一冊。

鈴木啓吾 著 **新典社選書 95**
続・能のうた
— 能楽師が読み解く遊楽の物語 —
ISBN978-4-7879-6845-6 B6並製 336頁 2970円

能の作者が発想を得た和歌や漢詩を噛み砕き、ときに大胆な解釈を加え…。能楽師が自身の舞台を勤めるにあたり執筆したコラムの書籍化第二弾！翁をはじめ、復曲能・鈴木三郎重家を含む全27曲。

鈴木元 著 **新典社新書 60**
つける 連歌作法閑談
ISBN978-4-7879-6160-0 新書判並製 160頁 1100円

平安前期に生まれ、後の俳諧に大きな影響を及ぼした連歌。その文芸形態及び言語遊戯としての側面にあらゆる角度から光をあて、本質的・根源的な楽しみと、連歌にのめり込んだ人々の熱気を探る。

◆◆ 一般書 (近世) ◆◆

三村晃功 著 **新典社選書 63**
続・古典和歌の時空間
— 長流と契沖の「由緒ある歌」の展望 —
ISBN978-4-7879-6813-5 B6並製 416頁 3410円

一条兼良『歌林良材集』に続いて記された、下河辺長流の『続歌林良材集』と契沖の『続後歌林良材集』。前作の続編としてこの二冊の歌論書が扱う題目に沿い題詠歌の故実や伝説を紹介する。

三村晃功 著 **新典社選書 68**
古典和歌の詠み方読本
— 有賀長伯編著『和歌八重垣』の文学空間 —
ISBN978-4-7879-6818-0 B6並製 352頁 2860円

江戸時代の和歌指南書、有賀長伯編著『和歌八重垣』に依拠し、詠作者の視点から古典和歌を見直し考察。従来の和歌の読解・鑑賞の在り方に新たな道を切り開く。

小野恭靖 著 **新典社選書 15**
ことば遊びの世界
ISBN978-4-7879-6765-7 B6並製 224頁 1760円

入門編では、クイズと多彩な挿絵で“ことば遊び”の楽しさを実感。専門編では、江戸中期の瓦版資料、「判じ物」や漢字遊びの解説が、読者を“ことば遊び”の世界へ誘う。

- 小野恭靖 著 **新典社新書 20**
ことば遊びへの招待
 ISBN978-4-7879-6120-4 新書判並製 128頁 880円
- 小野恭靖 著 **新典社新書 53**
ことばと文字の遊園地
 ISBN978-4-7879-6153-2 新書判並製 160頁 1100円
- 吉海直人 著 **新典社選書 33**
「いろはかるた」の世界
 ISBN978-4-7879-6783-1 B6並製 198頁 1760円
- 井上泰至 著 **新典社新書 3**
〈悪口〉の文学、文学者の〈悪口〉
 ISBN978-4-7879-6103-7 新書判並製 128頁 880円
- 三野恵 著 **新典社選書 26**
苺萱道心と石童丸のゆくえ
 — 古典世界から現代へ —
 ISBN978-4-7879-6776-3 B6並製 144頁 1386円
- 堀切実 著 **新典社新書 13**
偽装の商法
 — 西鶴と現代社会 —
 ISBN978-4-7879-6113-6 新書判並製 128頁 880円
- 岡本隆雄 著 **新典社選書 48**
「一分」をつらぬいた侍たち
 — 『武道伝来記』のキャラクター —
 ISBN978-4-7879-6798-5 B6並製 208頁 1650円
- 竹野静雄 著 **新典社選書 27**
江戸の恋の万華鏡
 — 『好色五人女』 —
 ISBN978-4-7879-6777-0 B6並製 256頁 1870円
- 大輪靖宏 著 **新典社新書 14**
待つ女の悲劇
 ISBN978-4-7879-6114-3 新書判並製 128頁 880円
- 小俣喜久雄 著 **新典社新書 48**
初代都太夫一中の浄瑠璃
 — 音曲に生きた元住職 —
 ISBN978-4-7879-6148-8 新書判並製 160頁 1100円
- 吉田弥生 著 **新典社新書 29**
芝居にみる江戸のくらし
 ISBN978-4-7879-6129-7 新書判並製 128頁 880円
- なぞ・判じ物・回文・倒言・アナグラム。古くから愛されてきた「ことば遊び」には日本語の奥深さと楽しさが満載！ 解き方やポイントの紹介から、実践クイズまで。心を豊かにする遊び方への招待。
- 江戸時代のことば遊びは、現代の絵文字やギャル文字にも通じていた!? 早口言葉、尻取り、無理問答、嘘字、鈍字など江戸のことば遊びから、現代ミステリ小説におけることば遊びまで。
- かるた成立以前のいろは歌、歌かるたの系譜に連なる「いろはかるた」の新たな成立論。絵札やことわざを楽しみながら、京・江戸・上方の「いろはかるた」を図版とともにめぐる。カラー口絵つき。
- 芭蕉・西鶴・近松・蕪村・上田秋成・平賀源内など、江戸時代の文学者達が残した様々な「悪口」を通して、彼らの知られざる人間臭さや作品の魅力に迫る、まったく新しいタイプの江戸文学入門。
- 説経節や歌舞伎から近現代まで、同じ「かるかや」のはずなのに違う話が多くある。蛇になる髪、夭折の石童丸、名乗りを上げる苺萱など、時代や目的に応じて父子の悲哀物語が繰り広げた変遷。
- 現代に横行する偽装事件。それは、江戸時代からすでにあることだった！ 西鶴の鋭い観察眼が記した、江戸の人々の知力・体力を総動員しての、だましまされ模様。偽物を見抜く力を養う一冊。
- 井原西鶴が、理想的な武士の生き様を描いた『武道伝来記』。その魅力あふれる人物たちはいかにして生まれたのか。当時の歌舞伎の様相なども視野に入れつつ、西鶴の魅力の根源を探る。
- 「八百屋お七」「お夏清十郎」など実際の事件を元に西鶴の筆がまざまざとよみがえらせた五つの物語。封建時代に命をかけてタブーを侵した五組の「恋」は、今なお艶やかに色あせない。
- 古今東西、「待つ女」はさまざまな物語に描かれ続ける人気の女性像。音信不通の帰らぬ男を、ひたすら待つ女。しかし、ただ待つことを許さない社会。時代が生んだ悲劇を描き出す。
- 上方文化が最も華やいた江戸元禄期。初代都太夫一中は、寺の住職でありながらその身分を捨てて還俗し、ついに浄瑠璃の一流派を築いた。現在まで連綿と続く、一中節草創期の姿と系譜。
- 江戸時代の人々が、自ら最員にし謳歌していたという江戸人の生き方。人気役者の衣装、日本食の定番メニュー、江戸の住居や芝居小屋など、歌舞伎から抜き出した、めくるめく江戸の粋！

- 田口章子 著 **新典社選書 90**
歌舞伎を知られば日本がわかる
 ISBN978-4-7879-6840-1 B6並製 224頁 1760円
 文化を理解するにはその文化や時代に固有の価値観を知る必要がある。歌舞伎に描かれた女性たちにこめられた、古代日本から続く女性霊力への信仰を解き明かすことで日本文化の本質を知る一冊。
- 宮尾與男 著 **新典社新書 77**
滑稽艶笑譚
 —— 江戸小咄を愉しむ ——
 ISBN978-4-7879-6177-8 新書判並製 160頁 1100円
 古今東西を問わず愛される滑稽艶笑譚。本書では、日本の近世笑話集から、トイレ、大小便、おなら、ふんどしなどに関するエピソードを紹介。江戸時代の人々の生活のさまを笑いながら楽しめる一冊。
- 志水義夫 著 **新典社選書 70**
澁川春海と谷重遠
 —— 双星煌論 ——
 ISBN978-4-7879-6820-3 B6並製 192頁 1540円
 江戸の澁川春海と土佐の谷重遠は書簡を通じた師弟関係にあり、天文・暦術・神道・兵学が記された膨大な書簡が残る。二人のたった一度の面会の様子を中心に、元禄の学者たちの世界を見る。
- 田中善信 著 **新典社新書 18**
芭蕉
 —— 俳聖の実像を探る ——
 ISBN978-4-7879-6118-1 新書判並製 128頁 880円
 後世の人びとに「俳聖」と呼ばれ、神とまであがめられた俳人、松尾芭蕉。その出生から、晩年に到達した価値観まで。作品だけでは伝わらない「人間芭蕉」の素顔を探りだす、生涯の軌跡。
- 田中善信 著 **新典社選書 49**
芭蕉の学力
 ISBN978-4-7879-6799-2 B6並製 160頁 1210円
 「俳聖」松尾芭蕉は決して高度な知識人ではなく、芭蕉自身もその事を強く自覚していた。自筆本『おくのほそ道』に残された誤記・誤用から、芭蕉の学力や教養、筆跡の問題に迫る。
- 楠元六男 著 **新典社新書 30**
我を絵に看る
 —— 芭蕉の甲斐江 ——
 ISBN978-4-7879-6130-3 新書判並製 160頁 1100円
 芭蕉という一個人の人生の転機は、甲斐へ旅立つ数年間に集約されている。甲斐行において詠まれた句、時代状況・俳壇状況などから、旅人・芭蕉が誕生する原理をさぐる。革新的芭蕉論！
- 田中善信 著
元禄名家句集略注
 伊藤信徳篇
 ISBN978-4-7879-0636-6 A5並製 224頁 2200円
 俳諧史上元禄の名家と呼ぶにふさわしい6名、伊藤信徳・山口素堂・小西来山・池西言水・権本才磨・上嶋鬼貫。多くが初の注釈となるシリーズの第一弾は伊藤信徳。略歴、解説つき。
- 田中善信 著
元禄名家句集略注
 池西言水篇
 ISBN978-4-7879-0638-0 A5並製 404頁 3960円
 俳諧史上元禄の名家と呼ぶにふさわしい6名を注釈する好評シリーズ第二弾。元禄の風俗や人々の日常も多く詠み込んだ、池西言水の機智溢れる句を800句以上収め、言水の略歴も収録。
- 田中善信 著
元禄名家句集略注
 山口素堂篇
 ISBN978-4-7879-0641-0 A5並製 200頁 1980円
 俳諧史上元禄の名家と呼ぶにふさわしい6名を注釈する好評シリーズ第三弾。山口素堂は、蓮を愛し、大胆にして機知あふれる句を詠んだ。その作品からは懇意にした芭蕉の人となりが見られる。
- 佐藤勝明 著
元禄名家句集略注
 小西来山篇
 ISBN978-4-7879-0642-7 A5並製 296頁 2970円
 俳諧における元禄の名家たちを現代語訳・語釈・注釈するシリーズの第四弾は小西来山。日常を秀逸な句に仕立て上げることに長じた来山の目線からは、元禄の人々の暮らしまでもがよみがえる。
- 玉城司・竹下義人・木下優 著
元禄名家句集略注
 上嶋鬼貫篇
 ISBN978-4-7879-0647-2 A5並製 496頁 4950円
 元禄俳諧の名家たちを現代語訳・語釈するシリーズ第五弾は上嶋鬼貫。特徴的な長い前書きも含めてすべて注釈し、周辺人物の解説・鬼貫句集等の解題・鬼貫年譜ほかを収録。初句・語彙索引つき。

田中善信 著 元禄の奇才 宝 井 其 角 ISBN978-4-7879-7052-7 B6上製 240頁 2046円	日本の作家 52 延宝八年まで／漢詩文調の時代／俳諧師への道／俳諧師其角／洒落風への転回／芭蕉の死／晩年の其角／他。洒落風俳諧という独自の俳諧を形成した其角の全生涯が明らかに。第1回山本健吉賞受賞
寺田洋祐 画 寺田洋祐 俳画集 蕪村・一茶に遊ぶ ISBN978-4-7879-7927-8 A5並製 112頁 2530円	200年の時を超えて蘇る江戸の洒落、四季の美。人と自然をユーモア溢れる筆致で自在に描いた画家のスケッチブックから100点の俳画を厳選。苦難の中にも明るく楽しく豊かな人生を生きるヒントを。
金田房子・玉城司 編 鳳朗と一茶、その時代 — 近世後期俳諧と地域文化 — ISBN978-4-7879-6850-0 B6並製 376頁 3080円	俳諧が日常とともにあった近世後期の豊かな地域文化に注目した10名の研究者による論集。旅の俳諧師・鳳朗と一茶を軸に新資料に基づき、都市と地方に生きる人々の活発な文化交流に光をあてる。
田中康二 著 国 学 史 再 考 — のぞきからくり本居宣長 — ISBN978-4-7879-6797-8 B6並製 256頁 1980円	現代の日本文学・国語学・史学・民俗学。それらのルーツは江戸時代の国学に他ならない。三百年におよぶ国学の歴史を本居宣長を通じて繙き、統一した国学像を描きつつ、その本質に迫る。
萬羽啓吾 著 良 寛 — 文人の書 — ISBN978-4-7879-5505-0 A5上製 256頁 4180円	未公開を含む良寛の作品群からその人となりを紹介。文人の魂である硯の歴史を遡り、良寛の愛した秋萩帖の謎に迫ることで仮名の起源を解き明かす。130点の写真を駆使して文人良寛を語り尽くす。
中川桂 著 江戸時代落語家列伝 ISBN978-4-7879-6816-6 B6並製 240頁 1870円	落語の発生から寄席で演じられる形が整うまでを、上方を中心に落語家個々人に着目しつつたどる。落語の歴史を知ること、いまの落語をより一層楽しむための一冊。
吉丸雄哉 著 武器で読む八犬伝 ISBN978-4-7879-6121-1 新書判並製 160頁 1100円	南総里見八犬伝の見せ場の多くは戦いの場面にあり、登場人物たちのキャラクターやシチュエーションに合わせて、様々な武器が登場する。武器の描写に馬琴はどんな意匠を凝らしたのか!?
吉成直樹 著 酒 と シャ ー マ ン — 『おもろさうし』を読む ISBN978-4-7879-6109-9 新書判並製 128頁 880円	いにしへの琉球王国の香りを伝える歌謡集『おもろさうし』。ひとびとの信仰と酒との関わりに注目して、歌を読み解いていくと、知られざる沖縄文化の深層が見えてくる。

◆◆ 一般書（近代・現代） ◆◆

矢内賢二 編 明治、このフシギな時代 ISBN978-4-7879-6827-2 B6並製 208頁 1650円	新典社選書 77 明治の演劇・百貨店美術館構想・文学における恋愛観・音楽教育・裸身への意識。「日本史の授業では学べない明治文化史」として好評を博した東京藝術学舎でのオムニバス講義を一冊に!
矢内賢二 編 明治、このフシギな時代 2 ISBN978-4-7879-6834-0 B6並製 128頁 1100円	新典社選書 84 「日本史の授業では学べない明治文化史」として人気のオムニバス講義の成果をまとめたシリーズ第二弾。三井家の建築と生活、歌舞伎と西洋の出会い、明治時代の正岡子規、廃仏毀釈の影響。

矢内賢二 編

新典社選書 91

明治、このフシギな時代 3

ISBN978-4-7879-6841-8 B6並製 192頁 1540円

中田雅敏 著

忘れられた作家・忘れられない作品

ISBN978-4-7879-7922-3 B6並製 336頁 2640円

野村幸一郎 著

新典社選書 74

日本近代文学はアジアをどう描いたか

ISBN978-4-7879-6824-1 B6並製 256頁 1980円

志村有弘 著

新典社新書 4

のたれ死にでもよいではないか

ISBN978-4-7879-6104-4 新書判並製 128頁 880円

馬上駿兵 著

新典社新書 64

文豪たちの「？」な言葉

ISBN978-4-7879-6164-8 新書判並製 128頁 880円

馬上駿兵 著

新典社新書 74

重箱の隅から読む名場面

ISBN978-4-7879-6174-7 新書判並製 128頁 880円

森岡ゆかり 著

新典社新書 34

文豪だって漢詩をよんだ

ISBN978-4-7879-6134-1 新書判並製 128頁 880円

森岡ゆかり 著

新典社選書 71

文豪の漢文旅日記

—— 鳴外の渡欧、漱石の房総

ISBN978-4-7879-6821-0 B6並製 292頁 2530円

原國人 著

謎解き 森 鷗 外

ISBN978-4-7879-7853-0 B6並製 296頁 2530円

杉本完治 著

新典社選書 56

森鷗外 永遠の問いかけ

ISBN978-4-7879-6806-7 B6並製 300頁 2420円

柳澤浩哉 著

新典社選書 62

『こころ』の真相

漱石は何をたくらんだのか

ISBN978-4-7879-6812-8 B6並製 256頁 1980円

「日本史の授業では学べない明治文化史」として人気を博すオムニバス講義の書籍化第三弾。鉄道と近代の旅みやげ、妖怪を愛した建築家、明治時代の草双紙、演劇改良の発想、明治神宮のすべて。

文学に書かれた家庭、親孝行とは何を意味するか、放浪と立志そして破滅へ、など八つのテーマにそって、忘れられた作家や忘れられない作品の数々とその魅力を紹介する。

森鷗外・夏目漱石・佐藤春夫・林芙美子・坂口安吾など、近代日本を生きた文化人によるアジアへの認識とその脱亜・興亜の表象を見渡す。現代のアジア観に至るまでの道筋とは。

大泉黒石・森清秋・永見徳太郎・種田山頭火・藤澤清造・松原敏夫——評価されないまま、死んでいった作家達が遺した言葉、ドラマチックな人生をその強烈な人間性・作品に魅せられた著者が鮮やかに描く。

夏目漱石、岡本綺堂、坂口安吾、田山花袋、芥川龍之介など、文豪の名作の中から、現代日本語の基準で見れば「？」と思われるような言葉を拾い上げ、その表現に籠められた彼らの息遣いを知る。

誰もが知る小説の名場面も、こまかい部分をじっくり見ると、これまで気づかなかった作者の意図が見えてきて、もっと面白く読めるようになる。重箱の隅をつつく読み方の奨め。

漢詩を読み、詠むことで、日本語の優れた使い手としての語彙や表現を磨き上げてきた7人の文豪。彼らと漢詩の逸話は漢詩をぐっと身近に感じ、近代日本文学をより面白く読むためのエッセンス。

森鷗外のドイツへの船旅を綴った『航西日記』と、夏目漱石の房総旅行を綴った『木屑録』はともに漢文で書かれている。わかりやすいダイジェストで日記を読みつつ、文豪の青年期の旅路を追う。

舞姫は近代小説か日記文学か。舞姫、うたかたの記、文づかひ、雁、山椒大夫、高瀬舟の計六作品を丁寧に読み直すことによって、鷗外作品の謎を解く鍵を作品の中に見出す。

鷗外の小説『高瀬舟』『興津彌五右衛門の遺書』は、作品の時代背景や人物設定を知るともっと面白く、そして正しく読める。鷗外がそれぞれの作品にこめたテーマ、そこに描きだした「生の意味」とは。

名作『こころ』。その最重要案件にして実に不可解なKの自殺の原因は、従来いわれるような先生の裏切りにあったのか。これまで見過ごされてきた矛盾や不合理を、丹念なる読みで解明する。

小林一郎 著 自然主義作家 田 山 花 袋 ISBN978-4-7879-7043-5 B6上製 280頁 1980円	日本の作家 43	花袋は「蒲団」の発表により、前年に『破戒』を刊行した島崎藤村とともに、日本自然主義文学の創始者となって文壇の地位を固めた。誠実と不屈の闘志で生涯を貫いた花袋の本領に迫る。
荻野恭茂 著 晶 子 の 美 学 —— 珠玉の百首鑑賞 —— ISBN978-4-7879-6773-2 B6並製 144頁 1386円	新典社選書 23	理想追求の使命に浪漫的修験者のような生涯を生きた女性、与謝野晶子。その心の宝石箱からこぼれた珠玉の短歌100首を鑑賞する。『みだれ髪』から50首、以降の歌集から50首を精選。
鈴木武晴 著 窪 田 空 穂 と 万 葉 集 —— 亡き母挽歌と富士関係歌 —— ISBN978-4-7879-6795-4 B6並製 320頁 2640円	新典社選書 45	万葉集を考慮し詠まれた、窪田空穂の亡き母挽歌「藤衣」が、斎藤茂吉に与えた影響とは。また空穂の富士関係歌に生かされた万葉集短歌連作の型とは。万葉集と空穂歌との有機的関わりを読み解く。
藪禎子 著 野 上 彌 生 子 ISBN978-4-7879-7303-0 B6並製 272頁 2200円	女性作家評伝シリーズ 3	漱石に師事したエリート主義作家として知られる野上彌生子を、情熱たぎる〈新しい女〉として読み直す。現役作家であり続けた彌生子さながらに、著者が逝去直前までつづった新しい彌生子像。
人見千佐子 著 リアルなイーハトーヴ —— 宮沢賢治が求めた空間 —— ISBN978-4-7879-6822-7 B6並製 320頁 2530円	新典社選書 72	人々が宮沢賢治の詩『雨ニモマケズ』に直感的に感じる何かの正体とは。賢治を体験しつつ、創造世界「イーハトーヴ」の構築過程とその本質を明らかにする。
岡崎和夫 著 名づけ得ぬものへ 中 原 中 也 ISBN978-4-7879-7055-8 B6上製 352頁 3080円	日本の作家 55	中也の縁者と親しい交流を重ね、稀少な遺稿を多く目の当たりにした著者が、感性豊かに生きた彼の生涯に触れる。今なお純粹な輝きを失わない中原中也の本質を明らかにした渾身の一书。
大島龍彦・大島裕子 編著 『智恵子抄』の世界 ISBN978-4-7879-7836-3 B6並製 256頁 2090円		彫刻家であり詩人である高村光太郎が、智恵子との恋愛のはじめから彼女の臨終とその後にわたって詠った詩群の中から、29編の詩を光太郎自らが抄出して編んだ『智恵子抄』の、主に詩の世界を解説した。
大島龍彦 著 智 恵 子 抄 を 読 む ISBN978-4-7879-6790-9 B6並製 176頁 1430円	新典社選書 40	高村光太郎と智恵子の愛の軌跡『智恵子抄』。その作品解釈を中心に、詩集の内容を人恋い譚・同棲譚・妻恋い譚の三部にわけ、ふたりが過ごした時間や背景に配慮し、詩そのものの核心を見出す。
大島裕子 著 智 恵 子 抄 を 歩 く —— 素顔の智恵子 —— ISBN978-4-7879-7838-7 B6並製 240頁 1980円		詩の背景・未公開書簡を交えながら詩集『智恵子抄』には描かれなかった等身大の智恵子像を探索。誕生からその終焉まで、光太郎と智恵子の足跡30箇所を訪ねた紀行エッセイ。画・沢野ひとし
大島裕子 著 智 恵 子 抄 の 光 景 ISBN978-4-7879-6144-0 新書判並製 128頁 880円	新典社新書 44	芸術家として彫刻や油絵を創作しながら、光太郎は智恵子へ思いを詩に託した。哀しくも美しく、ときに烈火のようですらあった愛。『智恵子抄』が誕生した背景へ、あたたかな光をそそぐ。
小林裕子 著 壺 井 栄 ISBN978-4-7879-7312-2 B6並製 288頁 2310円	女性作家評伝シリーズ 12	壺井栄は自身の体験を作品世界として創造する際、いかなる手法を発揮したのか。それを読み解くため各作品を丹念に分析解釈し、さらにはジェンダーの視点から、壺井栄の仕事ぶりを眺める。

宮崎莊平 著 **新典社選書 34**
土屋文明私論
— 歌・人・生 —
ISBN978-4-7879-6784-8 B6並製 260頁 2310円

歌人・国文学者として知られる土屋文明の出自、家族のこと、足利・諏訪・松本等各地域とのかかわり、人々との対外的な関係、そして独自の生き方等々に焦点を据え、歌とともにたどる。

大伏春美・大伏節子 編著
土岐善麿と図書館
ISBN978-4-7879-7839-4 B6並製 240頁 1870円

歌人として知られる土岐善麿は、図書館事業にも大きな業績を残している。従来、言及されることの少ない土岐の図書館関連の業績を集め、土岐善麿研究および図書館研究に一石を投じる一書。

蒲豊彦 著 **新典社選書 98**
戦場を発見した作家たち
— 石川達三から林芙美子へ —
ISBN978-4-7879-6848-7 B6並製 320頁 2585円

戦前の日本で人々がどのように戦争に巻き込まれ、また主体的に関わったか。日中戦争緒戦段階での作家たちの模索から、宣伝が要請された段階まで。石川達三、火野葦平、林芙美子を中心に考察する。

岡山典弘 著 **新典社選書 78**
三島由紀夫の源流
ISBN978-4-7879-6828-9 B6並製 256頁 1980円

作家・三島由紀夫がどのように誕生したのか。母方の親族や少年期に憧れた作家、自決直前の刺青にまつわるエピソード、他の作家によって書かれた三島像など、様々な角度からその素顔に迫る。

井上隆史 著 **日本の作家 49**
豊饒なる仮面
三島由紀夫
ISBN978-4-7879-7049-7 B6上製 256頁 2200円

多面体の人、三島由紀夫。仮面を被って生きることの意義に自覚的であり続けたその生涯とは。詩作に興じた少年時代から、作家としての到達点、壮烈な最期に至るまでを、新資料を踏まえて辿る！

井上隆史 著 **新典社選書 76**
三島由紀夫『豊饒の海』VS野間宏『青年の環』
— 戦後文学と全体小説 —
ISBN978-4-7879-6826-5 B6並製 192頁 1540円

2015年に生誕90年をむかえた三島由紀夫と生誕100年をむかえた野間宏。戦後文学の正統と異端、政治的・思想的にも対極にある二人の窮極の大作を、今、読み直す。

野村幸一郎 著 **新典社新書 82**
二・二六事件の思想課題
— 三島事件への道程 —
ISBN978-4-7879-6182-2 新書判並製 160頁 1100円

二・二六事件の裁判で処刑された青年将校たち。その証言と彼らに影響を与えたとされる北一輝の思想を比較検証し、真相にせまる。さらに三島由紀夫の思想を二・二六事件の影響を視野にたどる。

原國人 著
謎解き富嶽百景
ISBN978-4-7879-7856-1 B6並製 184頁 1540円

太宰治の『富嶽百景』を丹念に読むと、若山牧水を意識した記述や、さらには能因・西行・芭蕉といった文藝史上の先人の姿が浮かび上がってくる。『富嶽百景』にこめられた仕掛けや思いを謎解く。

尾形明子 著 **女性作家評伝シリーズ 6**
宇野千代
ISBN978-4-7879-7306-1 B6並製 288頁 2310円

多彩な才能と恋愛遍歴で知られる宇野千代の作家としての姿に向き合い、膨大な資料収集・作品調査をとおして、文学を文学そのものとして浮かびあがらせる新たな評伝。

中山和子 著 **女性作家評伝シリーズ 8**
平林たい子
ISBN978-4-7879-7308-5 B6並製 192頁 1650円

生地諏訪の時代/放浪と昏迷/『文芸戦線』の作家として/プロレタリア女性作家として/転向と戦争の時代/戦後の結実/晩年まで/たい子年譜/参考文献。たい子の生涯を描く。

小林富久子 著 **女性作家評伝シリーズ 11**
円地文子
— ジェンダーで読む作家の生と作品 —
ISBN978-4-7879-7311-5 B6並製 288頁 2310円

日本の女たちが長く秘めてきた飢えや渴望を、『女坂』、『妖』など一連の、古典を媒介とするポリフォニックな小説群として浮上させ、戦後女性文学の金字塔を打ち立てた。

由里幸子 著	女性作家評伝シリーズ 13	文豪幸田露伴の娘として生まれた幸田文。彼女の気骨があり、凛とした文章は、前半生のつらい体験を土壌としている。その波乱に満ちた八十六年の生涯と作品に鋭く迫る珠玉の一冊。
幸田文		
ISBN978-4-7879-7313-9 B6並製 208頁 1650円		
半沢幹一 著	新典社新書 55	作品中、トランプマジックのように次々と魅力的な比喩表現を繰り出してくる向田邦子。短編集『思い出トランプ』からその卓越した比喩を抜き出し、作品を読む際の「読者の楽しみ」方を探る。
向田邦子の比喩トランプ		
ISBN978-4-7879-6155-6 新書判並製 160頁 1100円		
半沢幹一 著	新典社新書 66	『向田邦子の比喩トランプ』に続き、短編集『思い出トランプ』を読み解く。物語の名手・向田邦子が仕掛けたトリックに目をこらすと、『思い出トランプ』の新たな読みの可能性が見えてくる。
向田邦子の思い込みトランプ		
ISBN978-4-7879-6166-2 新書判並製 128頁 880円		
半沢幹一 著	新典社新書 80	向田邦子の短編小説と『父の詫び状』所収エッセイから末尾文を引用し、しめくくりの意図を解説。読者に「カタルシス」を感じさせると評価の高い、向田邦子の末尾文がこの一冊で凝縮して味わえる。
向田邦子の末尾文トランプ		
ISBN978-4-7879-6180-8 新書判並製 160頁 1100円		
向田邦子研究会 編	新典社選書 89	没後40年近くを経て今なお愛される作家・向田邦子の作品の魅力に、向田の研究者や愛読者が鋭く迫った文学論集。研究案内、付録資料も備え、向田文学がより深く味わえるようになる1冊。
向田邦子文学論		
ISBN978-4-7879-6839-5 B6並製 480頁 3850円		
野村幸一郎 著	新典社選書 64	本来の日本人のありようにたえず眼差しを向け続けた白洲正子。小林秀雄、能楽、信仰、かくれ里、神仏習合を切り口に彼女がその目を通して発見した日本文化をたどり、随筆の再評価を試みる。
白洲正子		
—— 日本文化と身体		
ISBN978-4-7879-6814-2 B6並製 208頁 1650円		
半沢幹一 著	新典社新書 81	藤沢周平の時代小説より「一文一段落」でしめくくられる73作品を紹介。主に登場人物を描写し、鮮やかな幕切れを演出する末尾の一文から、藤沢作品とそこに描かれたひとびとの魅力を解説する。
藤沢周平 とどめの一文		
ISBN978-4-7879-6181-5 新書判並製 160頁 1100円		
和田正美 著	新典社選書 30	近代、文学作品という手段を通じて文明はどのように評されたか。森嶋外・夏目漱石・永井荷風・中村光夫・福田恆存。六名の文学者たちによる文明批評の言説をそれぞれの作品に辿る。
文明批評の系譜		
— 文学者が見た明治・大正・昭和の日本 —		
ISBN978-4-7879-6780-0 B6並製 208頁 1540円		
石塚政吾 著		雑誌『種時く人』発祥地・土崎港の風土が育んだ作家・杉田瑞子。石川達三に「一種の量感」ありと評された芥川賞候補作「北の港」を含む作品群から、才気溢れる地方出身作家の実態を解き明かす。
物書き 杉田瑞子		
ブライ漢		
秋田出身の芥川賞候補作家		
ISBN978-4-7879-7861-5 A5並製 304頁 3135円		
杉下元明 著	新典社新書 36	大人気の映画〈男はつらいよ〉シリーズは決定稿のみならず、準備稿を含め数多くの脚本が残されている。どのような過程を経て、今知られる形となっていたのか。全四十八作の背景をたどる。
男はつらいよ 推敲の謎		
ISBN978-4-7879-6136-5 新書判並製 160頁 1100円		

◆◆ 一般書（文学・文化全般） ◆◆

田代圭一 著 人と書と 歴史人の直筆 ISBN978-4-7879-7857-8 A5並製 256頁 2530円	宮内庁関係機関が所蔵する、歴史人による書を掲げ、書風や人となり、書かれた状況などを全50回で鑑賞する。書を楽しむためのコラムや人間関係を把握するための系図も収録。
田代圭一 著 人と書とII 歴史人の直筆 ISBN978-4-7879-7860-8 A5並製 216頁 2145円	肉筆文字は人となりであり、書かれた状況すら示す。前著に続く平安後期の藤原定信から、明智光秀や徳川家康ら武將、江戸前期の後西天皇までの書を解説。コラム・人物関係系図つき。
二松學舎大学文学部国文学科 編 奈良・京都文学散歩 ISBN978-4-7879-7551-5 A5並製 144頁 1320円	万葉集・源氏物語・平家物語…。あの作品で読んだ場所、道がよみがえる。ありきたりな観光から一步踏み込んだ文学の散歩道を歩いてみませんか？古典の登場人物たちの足跡を辿る、奈良・京都。
二松學舎大学文学部国文学科 編 神奈川文学散歩 ISBN978-4-7879-7552-2 A5並製 144頁 1320円	神奈川は数多くの詩人・作家の故郷であり隠れ家であり保養地でもあった。鎌倉、江ノ島、湘南、横浜、横須賀、他エリア、多彩なルートで、文学や文化により親しめる散歩の必携本。
二松學舎大学文学部国文学科 編 東京文学散歩 ISBN978-4-7879-7553-9 A5並製 144頁 1320円	国文学科として日本一の規模を誇る二松學舎大学文学部国文学科が届ける文学散歩シリーズ、東京編。知らなかった魅力を新発見!? 東京東部・西部・多摩地区。おまつり歳時記も収録。
山岡敬和 著 新新社選書92 ゆく河の水に流れて —— 人と水が織りなす物語 —— ISBN978-4-7879-6842-5 B6並製 296頁 2310円	自らをとりまく河や水の向こうに日本人は何を見だしてきたか。古代から近世にかけのこされた、河・水にまつわる神話や歌、物語を読み解き、その様相をたどる。
佐藤智広 著 古典と歩く古都鎌倉 ISBN978-4-7879-7854-7 A5並製 240頁 2420円	多くの古典作品に描かれてきた古都・鎌倉。静御前が舞う鶴岡八幡宮、義経の腰越状、「いざ、鎌倉」の謡曲「鉢木」など、古典本文とやさしい解釈から往時に想いをはせつつ現在の鎌倉を歩く。
秋山秀一 著 大人のまち歩き ISBN978-4-7879-7851-6 A5並製 232頁 1760円	NHKラジオ番組「旅に出ようよ」のプレゼンターが届ける大人のまち歩き。ラジオ放送では伝えきれなかった話や写真を満載し、まち歩きをもっと楽しむためのコラムも収載。
秋山秀一 著 鎌ヶ谷 まち歩きの楽しみ ISBN978-4-7879-7858-5 A5並製 160頁 1650円	東京から1時間ほどの住みやすいまち、千葉県鎌ヶ谷市。この地に40年間暮らしこの地を拠点に世界中を旅してきたまち歩きのエキスパートである著者が案内する鎌ヶ谷の楽しみ方・歩き方。
秋山秀一 著 ヨーロッパ観光事情 まち歩きの楽しみ ISBN978-4-7879-7859-2 A5並製 160頁 1650円	これまで訪れた国と地域は80か所以上という旅の達人が紹介するヨーロッパ24都市の魅力。豊富な写真、おすすめスポットやグルメ、歴史背景など、ヨーロッパを楽しむヒントが詰まった1冊。

秋山秀一 著

世界観光事情 まち歩きを楽しむ

ISBN978-4-7879-7865-3 A5並製 208頁 2145円

200回以上の海外旅行経験を持つ旅の達人が世界中から厳選した35都市の魅力をご紹介します。絶景や街の歴史、名物グルメ、おすすめルートなど、豊富な写真をながめながら世界一周が追体験できる1冊。

中西進 編

東 ア ジ ア の 知

— 文化研究の軌跡と展望 —

ISBN978-4-7879-5514-2 A5並製 400頁 6380円

日本・中国・韓国の文化を比較研究する国際学会「東アジア比較文化国際会議」日本支部における成果と今後の展望を、比較文化・比較文学・仏教文学の三本を柱に、23名の研究者が論じる。

小野恭靖 著

新典社選書 81

古 典 の 叡 智

— 老いを愉しむ —

ISBN978-4-7879-6831-9 B6並製 240頁 1870円

日本古典の様々な作品から、老いを生きるひとたちの喜怒哀楽や、老いに必要な知恵についての金言を抜粋し解説を施した。先人たちから知る人生の道しるべ。

古田島洋介 著

叢刊・日本の文学 13

「 緑 」 に つ い て

— 中国と日本 —

ISBN978-4-7879-7513-3 B6並製 124頁 1078円

「緑」は中国においても一般的に使われているが、この「緑」という語がどのように発生し、日中両国の文化の内部でどのような位置を占めているのか、広い視野でその歴史を探る。

榎本正純 著

新典社新書 46

涙 の 美 学

— 日本の古典と文化への架橋 —

ISBN978-4-7879-6146-4 新書判並製 128頁 880円

文学作品の「涙」描写に通底するその概念をさぐり、さらには「日本の私」のありようにも迫る。グローバル化時代だからこそ知っておきたい、日本文学の美しさ、そして日本人ならではの感性。

廣田収・勝山貴之 著

新典社選書 85

源氏物語とシェイクスピア

— 文学の批評と研究と —

ISBN978-4-7879-6835-7 B6並製 232頁 1870円

日本文学と英文学を専門とする研究者が互いの話に耳を傾け、文学との向き合い方について語らい、また古典をはじめて読むときの留意点についてやさしく解説する。

大木正義 著

新典社選書 60

作品の表現の仕組み

— 古典と現代 散策 —

ISBN978-4-7879-6810-4 B6並製 176頁 1430円

『伊勢物語』『今鏡』『好色五人女』から森嶋外・芥川龍之介・谷崎潤一郎・渡辺淳一まで、古典から現代の諸作品における細かな表現に立ち止まり、作者が作品に託したひそかな意図を読み解く。

福寛美 著

新典社新書 56

夜 の 海 、 永 劫 の 海

ISBN978-4-7879-6156-3 新書判並製 128頁 880円

日本神話におけるヒルコの世界への放逐と再生。死出の旅路が天空の世界として描かれる『銀河鉄道の夜』。その他、万葉集や『タイタニック』など、神話や物語に描かれた「海」の意義とは。

北島信一 著

新典社新書 22・43

神 の 香 り 秘 法 の 書

— 中国の摩崖石経・上/下 —

ISBN978-4-7879-6122・43 新書判並製 160頁 各1100円

1400年ほど前の中国。自然の岩に翼を持つ文字が刻まれた！ 今なお残る巨大モニュメントの時代背景と、作り上げた僧侶の信仰。またそこに使われている様々な特殊文字の意味を解き明かす。

諏訪春雄 著

新典社新書 6

天 皇 と 女 性 霊 力

ISBN978-4-7879-6106-8 新書判並製 128頁 880円

天皇制を支えてきたのは、女性の霊力である——日本人の宗教観に根づく女性霊力とその価値観が、どのように継承・変質したかを探り、日本人とは何か、日本における女帝のゆくえにせまる。

笹本正治 著

新典社新書 2

戦 国 時 代 の 諏 訪 信 仰

— 失われた感性・習俗 —

ISBN978-4-7879-6102-0 新書判並製 160頁 1100円

その日、諏訪大社の水が赤く染まった——あの武田信玄も怖れ信仰していた大社に起こった異変を、当時の人々はどう受け止めたのか。現代の日本人が失いつつある感性を、戦国時代からまなぶ。

白石広子 著	新典社新書 7	かのケンペルを日本に駆り立て、『日本誌』を書かせた原動力とは？ 鎖国時代にバテレン追放例に遭いながら、異国で誇り高く生きた日本人女性、じゃがたらお春の人生を鮮やかに描き出す。
ISBN978-4-7879-6107-5 新書判並製 160頁 1100円		
高橋博巳 著	新典社新書 26	江戸時代、朝鮮通信使に随行した文人集団と、日本国内の文人たちがことばの壁を越えて果たした交流。思いを交わした筆談や通信使帰国後の記録から、鎖国時代の文芸交流を見出す。
ISBN978-4-7879-6126-6 新書判並製 128頁 880円		
瀬川拓郎 著	新典社新書 58	おとぎ話と思われがちな小人「コロポックル」の伝説。史料をもとにその原像をたどると、知られざる北千島アイヌの成り立ちや、かれらの変わった習俗が浮かび上がってくる。
ISBN978-4-7879-6158-7 新書判並製 128頁 880円		
瀬川拓郎 著	新典社新書 61	千島アイヌは北海道本島のアイヌと直接接触したり言葉交わすことのない沈黙交易を行っていた。北東アジアや日本との関係における、アイヌの習俗そしてイデオロギーとは。
ISBN978-4-7879-6161-7 新書判並製 128頁 880円		
石井龍太 著	新典社選書 39	琉球の風景に印象的な赤い瓦。しかし琉球諸島の瓦はもともと赤い色ではなかった。琉球諸島の歴史を受けつつ、姿かたちから意味合いまで様々な変化を続けてきた琉球「島瓦」の歴史を辿る。
ISBN978-4-7879-6789-3 B6並製 212頁 1980円		
福寛美 著	新典社新書 47	琉球の女流歌人、恩納なべとよしや思鶴。なべはひたむきな愛を歌い、遊女よしやは悲恋を歌った。人々に愛唱され、語り継がれる中で込められた思いや憧憬が、ふたりの像を構築していく。
ISBN978-4-7879-6147-1 新書判並製 128頁 880円		
福寛美 著	新典社新書 65	琉球の聖域であり多くの謎に包まれた存在、ぐすく。その謎を解く手がかりを神に捧げた同時代の歌である「おもろ」から拾い上げ、その造営の謎を解く手がかりを探りだす。
ISBN978-4-7879-6165-5 新書判並製 160頁 1100円		
伊藤陽寿 著	新典社新書 42	1609年、薩摩の占領下となった琉球は経済・対外関係など、先行きの見えない「危機の時代」をどのように乗り越えたのか。同じく「危機」と「変化」の時代を生きる現代日本が進むべき道をさぐる。
ISBN978-4-7879-6142-6 新書判並製 128頁 880円		
平井芽阿里 著	新典社選書 51	民俗や信仰が色濃く残る地といわれる宮古諸島。著者が10年以上にわたる実地調査によって知りえた、宮古の日常生活に根付く、様々な風習や祭祀組織の状況を、わかりやすい文章で鮮やかに描き出す。
ISBN978-4-7879-6801-2 B6並製 272頁 2200円		
中畑充弘 著	新典社選書 38	沖縄本島北部突端に、カミと交感しそして死後の世界と隣接する場所がある。豊富な写真・資料とともに町の中を歩み、フクギの緑豊かな美しい聖域、知られざる備瀬の姿にせまる。
ISBN978-4-7879-6788-6 B6並製 192頁 1540円		
田口章子 編	新典社選書 57	京都のくるわは、歌舞伎と発生源を同じくし、伝統文化の精粹を保つ祭り現場である。神事同様のもてなしが行なわれ、「生命更新」の機能をもつ。手垢のついていない、全く新しい「くるわ」論。
ISBN978-4-7879-6807-4 B6並製 192頁 1540円		

中田節 著

新典社選書 50

大道具で楽しむ日本舞踊

ISBN978-4-7879-6800-5 B6並製 240頁 2200円

大道具の出来る過程、見せ方、東西の違いなど。伝統芸能の舞台を一度も観たことがない人から実際に舞台上で踊る人まで、わかりやすい文体と豊富な図版で気軽に楽しめる、日本舞踊の世界。

綿抜豊昭 著

新典社新書 33

礼法を伝えた男たち

ISBN978-4-7879-6133-4 新書判並製 128頁 880円

戦国期から現代まで脈々と受け継がれた礼儀作法は、日本人のアイデンティティを形成する文化としての一面をもつ。どのような人々が礼法を学び、伝えてきたのか。「人」からたどる礼法の文化史。

日沖敦子 著

新典社選書 31

毛髪で縫った曼荼羅

— 漂泊僧 空念の物語 —

ISBN978-4-7879-6781-7 B6並製 188頁 1650円

江戸前期、諸国を遍歴し、在地の人々の毛髪を求めては曼荼羅を縫い上げた僧侶がいた。毛髪曼荼羅に魅せられた著者が追いかける漂泊僧・空念の足跡。毛髪曼荼羅のカラー口絵つき。

有働智瑛 著

はじめて学ぶ仏教

インド・中国編

ISBN978-4-7879-7863-9 A5並製 256頁 1980円

インドでの仏教の誕生から東の中国への伝播・発展の様子を、僧侶でもある研究者が日本の古典・今昔物語集を参照しつつ豊富なイラスト・資料とともに分かりやすく説く、斬新な仏教入門書。

安達太郎・野村幸一郎・林久美子 編著

表象のトランス・ジェンダー

— 越境する性

ISBN978-4-7879-7850-9 B6並製 224頁 1760円

日本文学・文化において古代より重要なモチーフを形成する性差の越境。これらの表象文化を切り口にトランスジェンダーのありようを探る。京都橋大学女性歴史文化研究所叢書

崔吉城 著

雀様が語る日本

ISBN978-4-7879-7852-3 B6並製 280頁 2310円

韓国出身の文化人類学者が、スズメの目になって日常を俯瞰したエッセイ。著者の日本留学から博士号の取得、そして大学教授としての現在。日韓の比較を交えつつ、日本文化論をつづる。

江藤茂博 編

文学部のリアル、東アジアの人文学

ISBN978-4-7879-7862-2 A5並製 216頁 2145円

大学という高等教育機関が直面する危機、中でも縮小を余儀なくされている文学部、並びに人文学について、日本各地のみならず海外の研究者も参加して現状と今後を考えた2つのシンポジウムの記録。

古田島洋介 著

新典社新書 25

これならわかる返り点

— 入門から応用まで —

ISBN978-4-7879-6125-9 新書判並製 128頁 880円

漢文訓読に必要な返り点。その機能と符号、そして用法の体系をやさしく解き明かし、末尾には実践できる精選問題と解答解説つき。高校時代におそるおそる打っていた返り点に自信が持てる！

古田島洋介 著

新典社選書 46

これならわかる漢文の送り仮名

— 入門から応用まで —

ISBN978-4-7879-6796-1 B6並製 208頁 1650円

漢文を訓読する際、日本人に必須となる句読点・返り点・送り仮名。そのうち、送り仮名について体系的な説明を試みる。豊富な例文と用例、巻末には練習問題および解答例・解説つき。

古田島洋介 著

新典社選書 83

これならわかる復文の要領

— 漢文学習の裏技 —

ISBN978-4-7879-6833-3 B6並製 328頁 2640円

書き下し文から原文を復元することで、早く漢文に熟達できる学習法「復文」。江戸時代から行われてきた「復文」が現代の漢文読解に役立つよう、入門篇から応用篇まで網羅した新たな手引書。

馬上駿兵 著

新典社新書 70

[文法]であじわう名文

ISBN978-4-7879-6170-9 新書判並製 128頁 880円

言葉に注目し名文を読み解くと、文法におおしく感じられる表現にも、実は作者の心遣いが籠められている事がわかる。[文法]を通じて作品をより深くあじわう、ひと味変わった文学案内。

半沢幹一 著

新典社選書 94

文 体 再 見

ISBN978-4-7879-6844-9 B6並製 272頁 2200円

中田雅敏 著

教育 改革 の ゆ く え

— 続・家庭は子どもの教育の原点 —

ISBN978-4-7879-7920-9 B6並製 256頁 1980円

中田雅敏 著

親 と 子 の 人 間 関 係

— 幼児より青少年まで —

ISBN978-4-7879-7925-4 新書判並製 176頁 1100円

ハルトムト・ゲルケン/デートレフ・ティール/中村博雄 共編

理 性 と 平 和

ザーロモ・フリートレンダー/ミュノナ政治理論作品選集

ISBN978-4-7879-5509-8 A5並製 264頁 2640円

ハルトムト・ゲルケン/デートレフ・ティール/山本順子/中村博雄 共編

技 術 と 空 想

ザーロモ・フリートレンダー/ミュノナ グロテスケ作品選集

ISBN978-4-7879-5511-1 A5並製 240頁 2530円

デートレフ・ティール/中村博雄 共編

哲 学 と ユー モ ア

ザーロモ・フリートレンダー/ミュノナ笑いの理論と実践作品選集

ISBN978-4-7879-5515-9 A5並製 264頁 2750円

志水義夫 著

新典社選書 79

ゴ ジ ラ 傳

— 怪獣ゴジラの文藝学 —

ISBN978-4-7879-6829-6 B6並製 240頁 1870円

志水義夫 著

新典社新書 62

少 年 少 女 の ク ロ ニ ク ル

— セラムン、テツジン、ウルトラマン —

ISBN978-4-7879-6162-4 新書判並製 128頁 880円

志水義夫 著

新典社新書 71

魔法少女まどか☆マギカ講義録

— メディア文藝への招待 —

ISBN978-4-7879-6171-6 新書判並製 160頁 1100円

野村幸一郎 著

新典社選書 87

新 版 宮 崎 駿 の 地 平

ナウシカからものけ姫へ

ISBN978-4-7879-6837-1 B6並製 208頁 1650円

野村幸一郎 編

新典社選書 88

宮 崎 駿 が 描 いた 少 女 たち

ISBN978-4-7879-6838-8 B6並製 240頁 1870円

「文は人なり」という。この「文」は文体のことであるが、文体とはいったい何か。じつは、専門的にも明確に規定されていないのである。村上春樹・向田邦子など实例に即しつつその謎を解く一書。

日々変遷する教育改革。いじめ・不登校・教師の在り方・家庭の在り方などを、新旧教育基本法をはじめとした様々な法案や通知・通達などともに見通し、今後の教育のあるべき姿を考える。

人間が成長していく過程にあって、親子関係は極めて重要な要素である。望ましい親子関係の作り方や、起こりうる「いじめ」への対処法など、家庭内で親は子にどう向き合うべきかを考える一書。

人間はいかに生きるべきか？ 人間社会はいかにあるべきか？ いまドイツでの再評価がめざましい、人間の真理の普遍性を説く作家・哲学者の思想と生涯。初の日本語訳となる著作も収載した。

人間真理の普遍性を説き、日本国憲法にも近似する思想を持つ、作家にして哲学者であるフリートレンダーの記念すべき日本語訳第二弾。いま読むべき哲学の根本。

20世紀初頭のドイツで「哲学のチャップリン」と呼ばれた哲学者・作家、フリートレンダー/ミュノナ。日本人の感覚とも通じる彼独特のユーモアに満ちた作品群を収録した好評日本語訳第三弾。

ゴジラ60周年を機に、『ゴジラ』を大学授業の題材とした著者。その成果が待望の一冊に。1954年公開『ゴジラ』の文学的注釈を行い歴代作品にも言及。映画作品一覧、聖地案内つき。

昭和全盛期に生まれ、少年少女達が夢中になったコミックやアニメは、彼らが生まれてから半世紀が経ち、今や研究世界での市民権を得るに至った。その歩みをふりかえる。

衝撃的な展開と結末で話題を呼んだ『魔法少女まどか☆マギカ』。アニメ・特撮作品も「メディア文藝」として国文学の流れの一つと考える著者が「まど☆マギ」の作品世界をつぶさに読み解く。

宮崎駿が現代社会に向けて映画にこめたメッセージを読み解くべく『風の谷のナウシカ』『もののけ姫』を中心に、作品考察に加えて、講演記録・エッセイなどから宮崎駿の思想を形成した土壌を探る。

クラリス・ナウシカ・シータをはじめ、ポニョ・菜穂子まで。宮崎駿は映画作品において多様にして、独特な少女像を描いてきた。そのきわめて重層的な少女像を8本の論考と1本のエッセイからひもとく試み。

野村幸一郎 著

新典社新書 69

京 ア ニ を 読 む

ISBN978-4-7879-6169-3 新書判並製 160頁 1100円

京アニ作品である『ハルヒ』『クラナド』『けいおん』『Free!』『中二恋』『響け!』を通して、現代における少年少女の居場所と、そこでの成長の物語を読み解く。

福寛美 著

新 う た の 神 話 学

ISBN978-4-7879-7926-1 新書判並製 128頁 1210円

名曲・ヒット曲の中には、論理的ではないが、聴く者の印象に残るフレーズがしばしば含まれる。歌詞を神話学的に読み解くことにより、歌が持つ日本の神話的イメージの一端を明らかにする。

深澤邦弘 編著

青

—— もの一詞いはん

桐

ISBN978-4-7879-7921-6 新書判並製 124頁 1100円

折々の「詩」。長く勤めた都立昭和高校に青々と葉を拓げる「青桐」が持つ歴史とその意味。教え子が「もの一詞いはん」と寄せた回想文。編著者深澤邦弘の来し方が凝縮した魅力あふれる一書。

板垣俊一 著

幻 想 と 現 実

— 日本古典文学の愉しみ —

ISBN978-4-7879-7923-0 B6並製 240頁 1980円

大学入学試験「国語」の問題を作成するため、古典文学のおもしろさを説くことを主題に著者が20年にわたってしたための評論文集。古事記・万葉集・源氏物語・枕草子・平家物語・曾根崎心中など。

宮崎莊平 著

歌 集 歩 み 来 し 方

ISBN978-4-7879-7924-7 新書判並製 112頁 1100円

幼少時の記憶、各地で出会った風景、身の周りの人々との交遊、そして今後の展望。約70年にわたり、折にふれ和歌を詠み続けてきた著者が、自身の人生を振り返りつつまとめた、初の歌集。

◆◇ シリーズ別書籍紹介 ◇◆

新典社研究叢書

継続刊行中

	編著者	判型	頁数	本体価格
1 北村季吟の人と仕事	野村貴次著	A5判	648頁	〔品切〕
2 近代文学と西鶴	竹野静雄著	A5判	448頁	〔品切〕
3 幸若舞曲考	麻原美子著	A5判	688頁	〔品切〕
4 西鶴研究序説	谷脇理史著	A5判	560頁	〔品切〕
5 西鶴研究論攷	谷脇理史著	A5判	440頁	〔品切〕
6 民俗学の方法序説 — 麦酒祭の研究 —	服部旦著	A5判	408頁	〔品切〕
7 王朝国語の表現映像	神尾暢子著	A5判	564頁	〔品切〕
8 平安後期日記文学論 — 更級日記 讃岐典侍日記 —	守屋省吾著	A5判	328頁	〔品切〕
9 近代作家論叢 — 自我確立の系譜 —	片岡懋著	A5判	616頁	〔品切〕
10 平安後期物語の研究 — 狭衣 浜松 —	久下晴康著	A5判	320頁	〔品切〕
11 万葉防人歌の諸相	林田正男著	A5判	280頁	〔品切〕
12 日本仏教文学研究 第三集	永井義憲著	A5判	736頁	〔品切〕
13 王朝語彙の表現機構	神尾暢子著	A5判	436頁	〔品切〕
14 江戸戯作の研究 — 黄表紙を主として —	井上隆明著	A5判	600頁	〔品切〕
15 王朝歌人伝の研究	杉崎重遠著	A5判	480頁	〔品切〕
16 月詣和歌集の校本とその基礎的研究	杉山重行著	A5判	620頁	〔品切〕
17 古代歌謡の構造	宮岡薫著	A5判	416頁	〔品切〕
18 柿本人麻呂攷	菊池威雄著	A5判	400頁	〔品切〕
19 明治歴史小説論叢	三瓶達司著	A5判	264頁	〔品切〕
20 勅撰集歌人伝の研究	杉崎重遠著	A5判	672頁	〔品切〕
21 夏日漱石とその周辺	片岡懋著	A5判	280頁	〔品切〕
22 紫の上造型論	倉田実著	A5判	360頁	〔品切〕
23 伊勢物語の章段構成	塚原欽雄著	A5判	372頁	〔品切〕
24 中世日記文学論序説	渡辺静子著	A5判	656頁	〔品切〕
25 古代文学の天と日 — その思想と表現 —	戸谷高明著	A5判	232頁	〔品切〕
26 初期俳諧の研究	田中善信著	A5判	352頁	〔品切〕
27 明治文学論集1 硯友社・一葉の時代	岡保生著	A5判	432頁	〔品切〕
28 明治文学論集2 水脈のうちそと	岡保生著	A5判	432頁	〔品切〕
29 古典文学論考 — 枕草子 和歌 日記 —	森本元子著	A5判	456頁	〔品切〕
30 国語表現と音韻現象	遠藤邦基著	A5判	464頁	〔品切〕
31 源氏物語の王権と流離	日向一雅著	A5判	296頁	〔品切〕
32 中世和歌の研究 — 資料と考証 —	濱口博章著	A5判	560頁	〔品切〕
33 西鶴文学とその周辺	吉江久彌著	A5判	312頁	〔品切〕

34	佐藤春夫の『車塵集』中国歴朝名媛詩の比較研究	吉川登輝著	A5判	256頁	[品切]
35	浅井了意怪異小説の研究	坂巻甲太著	A5判	360頁	[品切]
36	鷗外の文学世界	須田喜代次著	A5判	320頁	[品切]
37	近世東海俳壇の研究	野田千平著	A5判	616頁	[品切]
38	近代文藝新攷	岡保生編	A5判	388頁	[品切]
39	日本文芸論藪	片野達郎著	A5判	320頁	[品切]
40	万葉集と中国古典の比較研究	孫久富著	A5判	400頁	[品切]
41	近代日本の作家と作品	片岡懋著	A5判	296頁	[品切]
42	中世芸能と仏教	金井清光著	A5判	360頁	[品切]
43	スサノオの命の神話	杉森暢男著	A5判	192頁	[品切]
44	万葉歌人とその時代	星野五彦著	A5判	256頁	[品切]
45	国語副詞の史的研究	濱田敦・井手至・塚原欽雄著	A5判	320頁	[品切]
46	王朝小説論	石川徹著	A5判	496頁	[品切]
47	今鏡研究序説	松園宣郎著	A5判	208頁	[品切]
48	歌舞伎音楽の研究 — 国文学の視点 —	景山正隆著	A5判	576頁	[品切]
49	増鏡考説 — 流布本考 —	伊藤敬著	A5判	480頁	[品切]
50	拾遺集と私家集の研究	秋間康夫著	A5判	320頁	[品切]
51	芭蕉と芭蕉以前	乾裕幸著	A5判	208頁	[品切]
52	芭蕉伝記の諸問題	今栄蔵著	A5判	642頁	[品切]
53	太平記研究 — 民族文芸の論 —	釜田喜三郎著	A5判	428頁	[品切]
54	説話の本質と研究	池辺実著	A5判	424頁	[品切]
55	万葉集と古今集 — 古代宮廷叙情詩の系譜 —	小沢正夫著	A5判	300頁	[品切]
56	平安中期和歌考論	平田喜信著	A5判	372頁	[品切]
57	異形の古代文学 — 記紀・風土記表現論 —	山田直巳著	A5判	272頁	[品切]
58	初期物語話型論	島内景二著	A5判	416頁	[品切]
59	狭衣物語の人物と方法	久下裕利著	A5判	304頁	[品切]
60	江戸文学研究	神保五彌編	A5判	696頁	[品切]
61	東国文学の源泉 万葉集東歌の抒情	志村士郎著	A5判	304頁	[品切]
62	享保期江戸俳諧攷	楠元六男著	A5判	448頁	[品切]
63	国語表現の史的形成	塚原欽雄著	A5判	576頁	[品切]
64	方言と計量分析	市井外喜子著	A5判	496頁	[品切]
65	源氏物語注釈史の研究	井爪康之著	A5判	616頁	[品切]
66	漱石と魯迅の比較文学研究	林叢著	A5判	364頁	[品切]
67	改訂 江戸遊女語論集	近藤豊勝著	A5判	184頁	[品切]
68	藤原俊成論考	上條彰次著	A5判	304頁	[品切]
69	今鏡の表現世界	大木正義著	A5判	392頁	[品切]
70	源氏・後期物語話型論	島内景二著	A5判	616頁	[品切]
71	太平記とその周辺	長谷川端編	A5判	644頁	[品切]
72	落窪物語の表現構成	長沼英二著	A5判	224頁	[品切]

73	春水人情本と近代小説	丸山茂著	A5判	240頁	[品切]
74	歴史物語の表現世界	大木正義著	A5判	464頁	[品切]
75	蜻蛉日記の作品構成	岡田博子著	A5判	244頁	[品切]
76	平安朝歌人の研究	村瀬敏夫著	A5判	320頁	[品切]
77	日本呉音の研究 (全4巻)	小倉肇著	A5判	揃3712頁	[品切]
78	内田魯庵と井伏鱒二	片岡懋・片岡哲著	A5判	416頁	[品切]
79	更級日記研究	伊藤守幸著	A5判	352頁	[品切]
80	説話と縁起	中野猛著	A5判	480頁	[品切]
81	中世古文学像の探求	水原一著	A5判	552頁	[品切]
82	王朝の美的語彙 — えんとその周辺・続 —	梅野きみ子著	A5判	624頁	[品切]
83	王朝文学の表現形成	神尾暢子著	A5判	328頁	[品切]
84	万葉集の叙景と自然	野田浩子著	A5判	624頁	[品切]
85	古典の水脈	上坂信男著	A5判	552頁	[品切]
86	芭蕉と奥の細道論	丸山茂著	A5判	240頁	[品切]
87	明治史劇論叢	三瓶達司著	A5判	256頁	[品切]
88	今鏡 — 構成の彩り —	大木正義著	A5判	464頁	[品切]
89	拾遺集の構成	小池博明著	A5判	336頁	[品切]
90	能・狂言の新論考	金井清光著	A5判	376頁	[品切]
91	古文学の流域	水原一編	A5判	516頁	[品切]
92	日本霊異記の新研究	永藤靖著	A5判	288頁	[品切]
93	日本表現文法論	小松光三著	A5判	384頁	[品切]
94	説話と伝承と略縁起	中野猛編	A5判	272頁	[品切]
95	室町物語論攷	濱中修著	A5判	352頁	[品切]
96	堤中納言物語の形成	保科恵著	A5判	352頁	[品切]
97	日本文学における運命の展開	森田喜郎著	A5判	352頁	[品切]
98	北村季吟論考	榎坂浩尚著	A5判	436頁	[品切]
99	仏教文学の構想	今成元昭編	A5判	624頁	[品切]
100	日本上代の恋愛と中国古典	孫久富著	A5判	512頁	[品切]
101	古典文芸論考	石原清志著	A5判	384頁	[品切]
102	歌語りと言説	雨海博洋編	A5判	496頁	[品切]
103	源氏物語の思惟と表現	上坂信男編	A5判	464頁	[品切]
104	京伝考証学と読本の研究	井上啓治著	A5判	512頁	[品切]
105	万葉集成立論	北原美紗子著	A5判	480頁	[品切]
106	今鏡の表現論考	大木正義著	A5判	480頁	[品切]
107	室町の歌学と連歌	鈴木元著	A5判	400頁	[品切]
108	平安時代物語の研究	原國人著	A5判	264頁	[品切]
109	女房三十六人歌合の研究	大伏春美著	A5判	320頁	[品切]
110	源氏物語と古代世界	伊井春樹・高橋文二・廣川勝美編	A5判	560頁	[品切]
111	平安期日記文芸の研究	石坂妙子著	A5判	360頁	[品切]

112	閑吟集定本の基礎的研究	中哲裕著	A5判	304頁	[品切]
113	平家残照	梶原正昭著	A5判	448頁	[品切]
114	近世前期 猪苗代家の研究	綿拔豊昭著	A5判	528頁	[品切]
115	室町文学襟記	白井忠功著	A5判	320頁	[品切]
116	近世古今伝授史の研究 — 地下篇 —	日下幸男著	A5判	816頁	[品切]
117	平安私家集研究	杉谷寿郎著	A5判	616頁	[品切]
118	論考 平安王朝の文学 — 一条朝の前と後 —	稲賀敬二編	A5判	336頁	[品切]
119	源氏物語注釈史論考	堤康夫著	A5判	528頁	[品切]
120	今鏡表現論	大木正義著	A5判	576頁	[品切]
121	実朝・仙覚 — 鎌倉歌壇の研究 —	志村士郎著	A5判	304頁	[品切]
122	近世文芸への視座 — 西鶴を軸として —	谷脇理史著	A5判	384頁	[品切]
123	万葉史を問う	美夫君志会編	A5判	416頁	[品切]
124	古代文学の思想と表現	戸谷高明編	A5判	544頁	[品切]
125	物語文学史の論理 — 語り・言説・引用 —	東原伸明著	A5判	256頁	[品切]
126	論集 日記文学の地平	守屋省吾編	A5判	480頁	[品切]
127	古事記の表現論的研究	戸谷高明著	A5判	624頁	[品切]
128	中世文学の諸問題	松本寧至編	A5判	240頁	[品切]
129	歴史物語の研究	松本治久著	A5判	352頁	[品切]
130	西村本の浮世草子	湯澤賢之助著	A5判	320頁	[品切]
131	天草版平家物語私考	市井外喜子著	A5判	208頁	[品切]
132	万葉景物論	戸谷高明著	A5判	368頁	[品切]
133	『おくのほそ道』の本文研究 — 古典教育の視座から —	藤原マリ子著	A5判	288頁	[品切]
134	『保元・平治物語』の形成 — 人物論を中心にして —	大島龍彦著	A5判	400頁	[品切]
135	恋歌の風景 — 古代和歌の研究 —	菊池威雄著	A5判	416頁	[品切]
136	歴史物語論集	松本治久編著	A5判	240頁	[品切]
137	古事記スサノヲの研究	山田永著	A5判	416頁	[品切]
138	伊勢物語の文藝史的研究	原國人著	A5判	416頁	[品切]
139	歌舞伎・俄研究 資料編 室戸市佐喜浜町俄台本集成	佐藤恵里著	A5判	1408頁	[品切]
140	国語構文の成分機構	塚原欽雄著	A5判	352頁	[品切]
141	民俗と文化の形成	山田直巳著	A5判	400頁	[品切]
142	堀河朝の文学 — 堀河天皇の動静を中心として —	古池由美著	A5判	288頁	[品切]
143	平安朝文学 表現の位相	平田喜信編著	A5判	560頁	[品切]
144	連歌師紹巴 — 伝記と発句帳 —	両角倉一著	A5判	400頁	[品切]
145	伊勢物語の成立と表現	神尾暢子著	A5判	288頁	[品切]
146	森嶋外とその文学への道標	酒井敏著	A5判	384頁	[品切]
147	平安時代日記文学の特質と表現	大倉比呂志著	A5判	288頁	[品切]
148	国語副詞の史的 research 増補版	濱田敦・井手至・塚原欽雄著	A5判	352頁	[品切]
149	王朝和歌・日記文学試論	妹尾好信著	A5判	384頁	[品切]
150	東北・北海道俳諧史の研究	井上隆明著	A5判	560頁	[品切]

151	仮名草子研究 — 説話とその周辺 —	花田富二夫著	A5判	512頁	[品切]
152	近世小笠原流礼法家の研究	陶智子著	A5判	352頁	[品切]
153	係助詞と係結びの本質	半藤英明著	A5判	200頁	[品切]
154	古事記神話論	松本直樹著	A5判	480頁	[品切]
155	流布本 狭衣物語と下紐の研究	中城さと子著	A5判	688頁	[品切]
156	元伯宗旦 —— 宗旦と三千家の成り立ち	坂口善保著	A5判	512頁	[品切]
157	源氏物語の構造研究	山田利博著	A5判	496頁	[品切]
158	論集 太平記の時代	長谷川端編著	A5判	712頁	[品切]
159	新しい枕草子論 主題・手法 そして本文	坏美奈子著	A5判	612頁	[品切]
160	三十六歌仙叢考	新藤協三著	A5判	624頁	[品切]
161	天皇と和歌 — 三代集の時代の研究 —	今野厚子著	A5判	368頁	[品切]
162	連歌史試論	廣木一人著	A5判	528頁	[品切]
163	日中古代文芸思想の比較研究	孫久富著	A5判	496頁	[品切]
164	枕草子研究	塚原欽雄著	A5判	432頁	[品切]
165	うつほ物語引用漢籍注疏 洞中最秘鈔 上原作和・正道寺康子著	上原作和・正道寺康子著	A5判	596頁	[品切]
166	与謝蕪村の俳景 — 太紙を軸として —	谷地快一著	A5判	528頁	[品切]
167	川端康成と東洋思想	康林著	A5判	176頁	[品切]
168	上代文献の出雲 — 記記でなぜ出雲が重視されたか —	長野一雄著	A5判	208頁	[品切]
169	西鶴研究 — 小説篇 —	江本裕著	A5判	352頁	[品切]
170	平家物語における「生」	深澤邦弘著	A5判	288頁	[品切]
171	天草版平家物語私考 続	市井外喜子著	A5判	192頁	[品切]
172	天平の歌人 大伴家持	菊池威雄著	A5判	528頁	[品切]
173	今鏡の表現 追考	大木正義著	A5判	400頁	[品切]
174	源氏物語の老女房	外山敦子著	A5判	240頁	[品切]
175	室町時代和歌史論	伊藤敬著	A5判	704頁	[品切]
176	翻刻『源氏物語古註』— 山口県文書館蔵右田毛利家伝来本 —	熊本守雄編	A5判	1376頁	[品切]
177	日本語助詞の文法	半藤英明著	A5判	304頁	[品切]
178	太平記と古活字版の時代	小秋元段著	A5判	352頁	[品切]
179	寂蓮研究 — 家集と私撰和歌集 —	半田公平著	A5判	576頁	[品切]
180	柳沢家の古典学(上) — 『松陰日記』 —	宮川葉子著	A5判	1232頁	[品切]
181	孝思想の受容と古代中世文学	田中徳定著	A5判	528頁	[品切]
182	鷗外・闘う啓蒙家	渡辺善雄著	A5判	544頁	[品切]
183	上代和歌史の研究	高松寿夫著	A5判	560頁	[品切]
184	中世の演劇と文芸	石黒吉次郎著	A5判	320頁	[品切]
185	氏族伝承と律令祭儀の研究	工藤浩著	A5判	376頁	[品切]
186	江戸後期紀行文学全集 — 第一巻 —	津本信博著	A5判	688頁	[品切]
187	平安文学 場と表現	信州平安文学研究会編	A5判	304頁	[品切]
188	源氏物語発生史論 — 明石一族物語の地平 —	竹内正彦著	A5判	480頁	[品切]
189	落窪物語の表現論理	神尾暢子著	A5判	256頁	[品切]

190	源氏物語と平安朝の信仰	鈴木宏昌著	A5判	416頁	[品切]
191	北原白秋 — 象徴派詩人から童謡・民謡作家への軌跡 —	中路基夫著	A5判	320頁	[品切]
192	玄奘法印研究 事跡と伝承	小木曾千代子著	A5判	288頁	[品切]
193	源氏物語〈読み〉の交響	源氏物語を読む会編	A5判	320頁	[品切]
194	智恵子抄の新見と実証	大島龍彦著	A5判	272頁	[品切]
195	藤原頼通の文化世界と更級日記	和田律子著	A5判	596頁	[品切]
196	詠歌としての和歌 和歌作法・字余り歌 — 付(翻刻)和歌作法書 —	山本啓介著	A5判	576頁	[品切]
197	源氏物語研究 —— 女物語の方法と主題	李美淑著	A5判	384頁	[品切]
198	戦前戦後異端文学論 — 奇想と反骨 —	谷口基著	A5判	480頁	[品切]
199	王朝文学論 — 古典作品の新しい解釈 —	坪美奈子著	A5判	468頁	[品切]
200	芭蕉新論	田中善信著	A5判	448頁	[品切]
201	万葉集の今を考える	美夫君志会編	A5判	352頁	[品切]
202	新修 竹取物語別記補訂	塚原欽雄著	A5判	352頁	[品切]
203	物語文学としての大鏡	桜井宏徳著	A5判	448頁	[品切]
204	近世初期軍記の研究	阿部一彦著	A5判	384頁	[品切]
205	平安期日記の史的世界	石坂妙子著	A5判	256頁	[品切]
206	八犬伝・馬琴研究	播本眞一著	A5判	544頁	[品切]
207	天草版平家物語 影印編	江口正弘編	A5判	448頁	[品切]
208	近松浄瑠璃の成立と展開	平田澄子著	A5判	400頁	[品切]
209	源氏物語における「漢学」 — 紫式部の学問的基盤 —	佐伯雅子著	A5判	336頁	[品切]
210	王朝女流文学論攷 — 物語と日記 —	宮崎莊平著	A5判	384頁	[品切]
211	日本上代の神話伝承	伊藤劍著	A5判	384頁	[品切]
212	王朝継子物語と力 — 落窪物語からの視座 —	畑恵里子著	A5判	272頁	8250円
213	源氏物語と東アジア	仁平道明編	A5判	368頁	[品切]
214	山部赤人と叙景	井上さやか著	A5判	320頁	[品切]
215	古代文学の創造と継承	針原孝之編	A5判	624頁	[品切]
216	源氏物語注釈史の資料と研究	堤康夫著	A5判	816頁	[品切]
217	古事記と歴史叙述	松本弘毅著	A5判	400頁	[品切]
218	式亭三馬とその周辺	吉丸雄哉著	A5判	288頁	[品切]
219	古代神話の研究	小村宏史著	A5判	320頁	[品切]
220	源氏物語 仮名ぶみの熟成	天野紀代子著	A5判	328頁	[品切]
221	古事記の文章とその享受	鈴木啓之著	A5判	304頁	[品切]
222	宣長の源氏学	杉田昌彦著	A5判	384頁	[品切]
223	源氏物語の王権 — 光源氏と〈源氏幻想〉 —	辻和良著	A5判	352頁	[品切]
224	内田百閒論 他者と認識の原面	大谷哲著	A5判	416頁	[品切]
225	中院通勝真筆本『つれつれ私抄』 — 本文と校異 —	高木浩明著	A5判	278頁	[品切]
226	源氏物語と白氏文集	仁平道明編	A5判	336頁	[品切]
227	聖徳太子説話の研究 —— 伝と絵伝と	渡辺信和著	A5判	944頁	[品切]
228	鎌倉時代中後期和歌の研究	鏑武彦著	A5判	432頁	[品切]

229	中世の芸能・文学試論	石黒吉次郎著	A5判	304頁	[品切]
230	文芸史の可能性 — 平安文芸史新攷 —	渡辺仁史著	A5判	240頁	[品切]
231	国語学史の探求	尾崎知光著	A5判	288頁	[品切]
232	『倭姫命世記』研究 — 付訓と読解 —	中村幸弘著	A5判	672頁	[品切]
233	日本古典文学読解考 — 『万葉』から『しのびね』まで —	後藤康文著	A5判	256頁	[品切]
234	西脇順三郎論 — 〈古代〉そして折口信夫 —	太田昌孝著	A5判	256頁	[品切]
235	源氏物語のなごり — 梗概本・後期物語など —	中西健治著	A5判	240頁	[品切]
236	物語文学集攷 — 平安後期から中世へ —	大倉比呂志著	A5判	576頁	[品切]
237	ウヰノワキイラツコ物語の研究	金澤和美著	A5判	208頁	[品切]
238	源氏物語 姫君の世界	太田敦子著	A5判	320頁	[品切]
239	斎王物語の形成 — 斎宮・斎院と文学 —	原楨子著	A5判	368頁	[品切]
240	和歌的想像力と表現の射程 西行の作歌活動	平田英夫著	A5判	368頁	[品切]
241	江戸後期紀行文学全集 — 第二巻 —	津本信博著	A5判	464頁	[品切]
242	南洋文学の生成 訪れることと想うこと	土屋忍著	A5判	368頁	[品切]
243	大鏡の注釈 ところどころ	小久保崇明著	A5判	304頁	[品切]
244	幸若歌謡の研究	柴田幸子著	A5判	518頁	[品切]
245	宮廷御神楽芸能史	中本真人著	A5判	424頁	13420円
246	狭衣物語 受容の研究	須藤圭著	A5判	404頁	[品切]
247	立原道造新論	名木橋忠大著	A5判	288頁	[品切]
248	謡曲(能)文学論考	松田存著	A5判	432頁	[品切]
249	『古事記』大后伝承の研究	山崎かおり著	A5判	480頁	[品切]
250	源氏物語文化論	原豊二著	A5判	350頁	[品切]
251	伊勢物語考 — 成立と歴史的背景	内田美由紀著	A5判	328頁	[品切]
252	吉本隆明初期詩篇論 — 我と我々と	川鍋義一著	A5判	400頁	[品切]
253	説話文学の方法	山岡敬和著	A5判	368頁	[品切]
254	禁裏本と和歌御会	酒井茂幸著	A5判	528頁	[品切]
255	更級日記の遠近法	伊藤守幸著	A5判	352頁	[品切]
256	庭訓往来 影印と研究	高橋忠彦・高橋久子編著	A5判	624頁	[品切]
257	石清水物語の研究 — 第三系統伝本の校本と影印 —	宮崎裕子著	A5判	640頁	[品切]
258	古典論考 — 日本という視座	前田雅之著	A5判	432頁	[品切]
259	和歌構文論考	中村幸弘著	A5判	416頁	[品切]
260	源氏物語続編の人間関係 付 物語文学教材試論	有馬義貴著	A5判	368頁	[品切]
261	冷泉為秀研究	鹿野しのぶ著	A5判	542頁	[品切]
262	源氏物語の音楽と時間	森野正弘著	A5判	496頁	[品切]
263	源氏物語〈読み〉の交響Ⅱ	源氏物語を読む会編	A5判	350頁	[品切]
264	源氏物語の創作過程の研究	呉羽長著	A5判	384頁	[品切]
265	日本古典文学の方法	廣田收編	A5判	432頁	[品切]
266	信州松本藩崇教館と多湖文庫	鈴木俊幸・山本英二編	A5判	320頁	[品切]
267	テキストとイメージの交響 — 物語性の構築をみる —	井黒佳穂子著	A5判	388頁	[品切]

268	近世における『論語』の訓読に関する研究	石川洋子著	A5判	528頁	[品切]
269	うつほ物語と平安貴族生活 — 史実と虚構の織りなす世界 —	松野彩著	A5判	304頁	[品切]
270	『太平記』生成と表現世界	和田琢磨著	A5判	512頁	[品切]
271	王朝歴史物語史の構想と展望	加藤静子・桜井宏徳編	A5判	704頁	[品切]
272	森鷗外『舞姫』本文と索引	杉本完治編著	A5判	264頁	[品切]
273	記紀風土記論考	神田典城著	A5判	480頁	[品切]
274	江戸後期紀行文学全集 — 第三巻 —	津本信博著	A5判	288頁	[品切]
275	奈良絵本絵巻抄	松田存著	A5判	276頁	[品切]
276	女流日記文学論輯	宮崎莊平著	A5判	928頁	[品切]
277	中世古典籍の研究 — どこまで書物の本姿に迫れるか —	武井和人著	A5判	688頁	[品切]
278	愚問賢注古注釈集成	酒井茂幸著	A5判	460頁	[品切]
279	萬葉歌人の伝記と文芸	川上富吉著	A5判	416頁	[品切]
280	菅茶山とその時代	小財陽平著	A5判	496頁	[品切]
281	根岸短歌会の証人 桃澤茂春 — 『庚子日録』『曾我蕭白』 —	桃澤匡行著	A5判	408頁	[品切]
282	平安朝の文学と装束	畠山大二郎著	A5判	400頁	12650円
283	古事記構造論 — 大和王権の(歴史) —	藤澤友祥著	A5判	256頁	[品切]
284	源氏物語 草子地の考察 — 「桐壺」～「若紫」	佐藤信雅著	A5判	344頁	[品切]
285	山鹿文庫本発心集 — 影印と翻刻 付解題 —	神田邦彦著	A5判	432頁	13640円
286	古事記續考と資料	尾崎知光著	A5判	224頁	[品切]
287	古代和歌表現の機構と展開	津田大樹著	A5判	432頁	[品切]
288	平安時代語の仮名文研究	阿久澤忠著	A5判	440頁	[品切]
289	芭蕉の俳諧構成意識 — 其角・蕪村との比較を交えて —	大城悦子著	A5判	528頁	[品切]
290	二松學舎大学附属図書館蔵 <small>奈良絵本</small> 保元物語 平治物語	小井土守敏監修	A5判	358頁	[品切]
291	未刊 江戸歌舞伎年代記集成	倉橋・桑原・小池・齊藤・光延編	A5判	966頁	30800円
292	物語展開と人物造型の論理 — 源氏物語 (二層) 構造論 —	中井賢一著	A5判	400頁	12650円
293	源氏物語の思想史的研究 — 妄語と方便 —	佐藤勢紀子著	A5判	272頁	8580円
294	春画論 — 性表象の文化学	鈴木堅弘著	A5判	608頁	19360円
295	『源氏物語』の罪意識の受容	古屋明子著	A5判	432頁	13860円
296	袖中抄の研究	紙宏行著	A5判	336頁	10670円
297	源氏物語の史的意識と方法	湯淺幸代著	A5判	400頁	12650円
298	増補 太平記と古活字版の時代	小秋元段著	A5判	432頁	13860円
299	源氏物語 草子地の考察2 — 「未摘花」～「花宴」	佐藤信雅著	A5判	408頁	[品切]
300	連歌という文芸とその周辺 — 連歌・俳諧・和歌論 —	廣木一人著	A5判	472頁	15070円
301	日本書紀典拠論	山田純著	A5判	400頁	12980円
302	源氏物語と漢世界	飯沼清子著	A5判	468頁	15180円
303	中近世中院家における百人一首注釈の研究	酒井茂幸著	A5判	568頁	18150円
304	日本語基幹構文の研究	半藤英明著	A5判	248頁	7920円
305	太平記における白氏文集受容	金木利憲著	A5判	376頁	12100円
306	物語文学の生成と展開 — 伊勢・大和とその周辺 —	柳田忠則著	A5判	660頁	22000円

307	源氏物語 読解と享受資料考	妹尾好信著	A5判	640頁	20240円
308	中世文学の思想と風土	石黒吉次郎著	A5判	368頁	11660円
309	江戸期の広域出版流通	大和博幸著	A5判	448頁	〔品切〕
310	源氏物語 引用とゆらぎ	中西智子著	A5判	344頁	11000円
311	うつほ物語の長編力	本宮洋幸著	A5判	304頁	〔品切〕
312	続・王朝文学論 — 解釈的発見の手法と論理 —	坪美奈子著	A5判	704頁	22550円
313	新撰類聚往来 影印と研究	高橋忠彦・高橋久子編著	A5判	784頁	25300円
314	『とりかへばや』の研究 — 変奏する物語世界 —	片山ふゆき著	A5判	256頁	8140円
315	王朝物語の表現生成 — 源氏物語と周辺の文学	末澤明子著	A5判	480頁	15400円
316	水鏡の成立と構造	勝倉壽一著	A5判	352頁	11110円
317	源氏物語と周辺文芸の研究	山上義実著	A5判	400頁	12760円
318	『夜の寝覚』から読む物語文学史	伊勢光著	A5判	400頁	12760円
319	和泉式部の方法試論	久保木寿子著	A5判	616頁	19800円
320	八百屋お七論 近代文学の物語空間	丹羽みさと著	A5判	264頁	8470円
321	民間説話と『宇治拾遺物語』	廣田收著	A5判	592頁	18920円
322	神仏習合の手法 — 中世神話から近世神話へ —	吉田唯著	A5判	416頁	13310円
323	語彙・語法から見た四鏡の文章	小久保崇明著	A5判	304頁	9570円
324	『源氏物語』の光と影	西田禎元著	A5判	496頁	16280円
325	源氏物語〈読み〉の交響 III	源氏物語を読む会編	A5判	736頁	23540円
326	徒然草 人物考証の新研究	上島眞智子著	A5判	320頁	10230円
327	金時習『金鰲新話』と日本 — 和刻本と受容	邊恩田著	A5判	272頁	9020円
328	校本石清水物語	宮崎裕子著	A5判	688頁	22550円
329	『源氏物語』庭と邸宅 — 想定配置図私案 —	加藤伸江著	A5判	352頁	11220円
330	伊勢物語 色好みの享受史	瀬尾博之著	A5判	352頁	11000円
331	源氏物語 現代語訳書誌集成	佐藤由佳著	A5判	328頁	10560円
332	蜻蛉日記上巻前半部研究	堤和博著	A5判	432頁	13750円
333	元亨釈書全訳注 上	今浜通隆著	A5判	760頁	24750円
334	源氏物語論攷	上野辰義著	A5判	416頁	13200円
335	校本 懐風藻	土佐朋子編著	A5判	456頁	15400円
336	日本古典文学における孝文化 — 『源氏物語』を中心として —	趙秀全著	A5判	424頁	13750円
337	幕末維新期の近藤芳樹 — 和歌活動とその周辺	小野美典著	A5判	584頁	18700円

古代中世文学論考（古代中世文学論考刊行会編）

継続刊行中

23	第23集	A5判	288頁	6710円	27	第27集	A5判	320頁	7040円
24	第24集	A5判	320頁	7040円	28	第28集	A5判	288頁	6710円
25	第25集	A5判	320頁	7040円	29	第29集	A5判	320頁	7040円
26	第26集	A5判	368頁	8030円	30	第30集	A5判	280頁	6710円

31 第31集	A5判	272頁	6600円	38 第38集	A5判	376頁	8360円
32 第32集	A5判	264頁	6490円	39 第39集	A5判	288頁	6710円
33 第33集	A5判	288頁	6710円	40 第40集	A5判	320頁	7040円
34 第34集	A5判	336頁	7370円	41 第41集	A5判	280頁	6710円
35 第35集	A5判	304頁	6930円	42 第42集	A5判	280頁	6710円
36 第36集	A5判	304頁	7040円	43 第43集	A5判	320頁	7040円
37 第37集	A5判	296頁	6820円				

和歌文学注釈叢書

編集委員 浅田徹・久保木哲夫・竹下豊・谷知子

全3巻揃 33000円 分売可

1 元良親王集全注釈	片桐洋一・関西私家集研究会	A5判	304頁	9900円
2 大斎院御集全注釈	石井文夫・杉谷寿郎	A5判	320頁	11000円
3 肥後集全注釈	久保木哲夫・平安私家集研究会	A5判	352頁	12100円

新典社注釈叢書

継続刊行中

5 本朝麗藻全注釈一	今浜通隆注釈	A5判	424頁	18689円
15 本朝麗藻全注釈三	今浜通隆注釈	A5判	624頁	19360円
16 新撰朗詠集全注釈一	柳澤良一注釈	A5判	614頁	19800円
17 新撰朗詠集全注釈二	柳澤良一注釈	A5判	672頁	21340円
18 『古今和歌集』巻二十 一 注釈と論考 一	久喜の会編	A5判	436頁	14300円
19 新撰朗詠集全注釈三	柳澤良一注釈	A5判	664頁	21340円
20 新撰朗詠集全注釈四	柳澤良一注釈	A5判	640頁	20350円
21 天草版伊曾保物語 影印及び全注釈 言葉の和らげ 影印及び翻刻翻訳	江口正弘編	A5判	480頁	15180円
22 全釈続みなしぐり	田中善信注釈	A5判	368頁	12100円
23 柳宗元古文注釈 一 説・伝・騒・帯 一	竹田晃編	A5判	512頁	17380円
24 世俗諺文全注釈	濱田寛注釈	A5判	720頁	23100円
25 本朝麗藻全注釈四	今浜通隆注釈	A5判	636頁	19800円
26 舊家集 叙意一百韻全注釈	今浜通隆注釈	A5判	712頁	22000円

青表紙本 源氏物語 (全五十四帖別冊二)

全56帖揃 60115円 分売可

1 桐 壺	山岸徳平校注	84頁	935円	4 夕 顔	鈴木知太郎校注	158頁	1375円
2 帚 木	岸上慎二校注	156頁	1375円	5 若 紫	岡一男校注	160頁	1375円
3 空 蟬	藤岡忠美校注	40頁	550円	6 未摘花	石川徹校注	104頁	1100円

7 紅葉賀	今井卓爾校注	80頁	880円	33 藤裏葉	池田弥三郎校注	84頁	935円
8 花宴	上坂信男校注	40頁	550円	34 若菜上	村井順校注	322頁	1980円
9 葵	高崎正秀校注	144頁	1210円	35 若菜下	石田穰二校注	348頁	1980円
10 賢木	松村博司校注	150頁	1320円	36 柏木	桜井祐三校注	136頁	1320円
11 花散里	松村博司校注	22頁	550円	37 横笛	高橋和夫校注	64頁	715円
12 須磨	松尾聡校注	116頁	1100円	38 鈴虫	菊田茂男校注	60頁	715円
13 明石	白田甚五郎校注	128頁	1155円	39 夕霧	神作光一校注	228頁	1870円
14 滯標	曾沢太吉校注	110頁	1100円	40 御法	清水好子校注	72頁	770円
15 蓬生	寺本直彦校注	96頁	1045円	41 幻	鈴木一雄校注	64頁	715円
16 関屋	稲賀敏二校注	26頁	550円	42 匂宮	犬養廉校注	52頁	605円
17 絵合	稲賀敏二校注	70頁	770円	43 紅梅	高橋正治校注	44頁	550円
18 松風	片桐洋一校注	72頁	770円	44 竹河	桑原博史校注	124頁	1155円
19 薄雲	清水文雄校注	102頁	1100円	45 橋姫	秋山虔校注	120頁	1100円
20 檜	上村悦子校注	72頁	770円	46 椎本	野口元大校注	124頁	1155円
21 乙女	森岡常夫校注	148頁	1320円	47 総角	阪倉篤義校注	316頁	1980円
22 玉鬘	玉上琢弥校注	144頁	1320円	48 早蕨	吉岡曠校注	64頁	715円
23 初音	中田剛直校注	60頁	715円	49 宿木	大朝雄二校注	256頁	1980円
24 胡蝶	仲田庸幸校注	76頁	825円	50 東屋	喜多義男校注	184頁	1650円
25 螢	安川定男校注	64頁	715円	51 浮舟	阿部秋生校注	192頁	1650円
26 常夏	橋本不美男校注	80頁	880円	52 蜻蛉	多屋頼俊校注	168頁	1540円
27 篝火	今泉忠義校注	18頁	550円	53 手習	池田勉校注	200頁	1760円
28 野分	今泉忠義校注	56頁	660円	54 夢の浮橋	長谷章久校注	64頁	715円
29 行幸	南波浩校注	104頁	1100円	55 山路の露・雲隠六帖			
30 藤袴	迫徹朗校注	56頁	605円		山岸徳平・今井源衛編	138頁	1210円
31 真木柱	今井源衛校注	116頁	1100円	56 源氏物語解題			
32 梅ヶ枝	目加田さくを校注	68頁	770円		山岸徳平・今井源衛著	136頁	1210円

影印本シリーズ

仮名変体集

实用変体がな

画引き かな解読字典

画引き くずし字解読字典 — 増補改訂・索引付 —

古筆切で読む くずし字練習帳

変体がなで読む日本の古典

万葉集略解抄(影印本)

影印本 万葉新採百首解

竹取物語(影印本) 別冊解説付

伊地知鉄男編 B6判 64頁 385円

かな研究会編 A5判 112頁 660円

かな研究会編 A5判 112頁 660円

くずし字研究会編 A5判 128頁 880円

小島孝之著 B5判 64頁 1100円

田代圭一・山中悠希・和田琢磨編 A4判 80頁 1100円

川上富吉編 A5判 160頁 1760円

鈴木淳・吉村誠編 A5判 208頁 2030円

片桐洋一編 B5判枳形 104頁 1100円

継続刊行中

影印本	土左日記 (新訂版)	萩谷朴編	A5判	112頁	880円
影印本	伊勢物語	片桐洋一編	A5判	164頁	1210円
変体仮名で読む	源氏物語全和歌	井上八雲編・中田武司監修	B5判	240頁	4180円
ハーバード大学美術館蔵	『源氏物語』「須磨」	伊藤欽也編	A5判	186頁	1760円
ハーバード大学美術館蔵	『源氏物語』「蜻蛉」	伊藤欽也編	A5判	210頁	1980円
国立歴史民俗博物館蔵	『源氏物語』「鈴虫」	伊藤欽也・阿部江美子・浅川槿子編	A5判	154頁	1980円
国文学研究資料館蔵	橋本本『源氏物語』「若紫」	伊藤欽也・浅川槿子編	A5判	178頁	1540円
影印本	和泉式部物語	鈴木一雄・伊藤博編	A5判	112頁	1100円
影印本	更級日記	犬養廉編	A5判	208頁	1430円
影印本	定家歌論集	田中裕編	A5判	102頁	1100円
影印本	百人一首	有吉保・犬養廉・橋本不美男編	A5判	80頁	825円
影印本	鳴の羽搔	川平ひとし・大伏春美編	A5判	288頁	2200円
影印本	連歌作品集	廣木一人編	A5判	128頁	1430円
影印本	元禄版猿蓑 — 『猿蓑箋註』翻刻付 —	雲英・佐藤編	A5判	192頁	2030円
影印本	曾根崎心中 — 加賀掾直伝 —	森修編	A5判	74頁	825円
影印本	心中重井筒・今宮の心中	景山正隆編	A5判	168頁	1430円

影印校注古典叢書

継続刊行中

1	桐壺	山岸徳平校注	A5判	80頁	935円
2	百人一首 (兼載筆)	有吉保・犬養廉・橋本不美男校注	A5判	64頁	770円
3	古今集一	橋りつ校注	A5判	144頁	1430円
4	十六夜日記	一瀬幸子・江口正弘・長崎健校注	A5判	96頁	1100円
5	小倉山庄色紙和歌 (百人一首古注)	有吉保・神作光一校注	A5判	168頁	1540円
6	伊勢物語	小林茂美校注	A5判	184頁	1870円
7・13	堤中納言物語 (上下)	塚原欽雄・神尾暢子校注	A5判	上112頁/1100円・下152頁/1320円	
9・30・39	大鏡 (上中下)	小久保崇明校注	A5判	上136頁/1320円・中176頁/1760円・下168頁/1650円	
10	万葉集 卷一・二	桜井満・並木宏衛校注	A5判	112頁	1210円
11	大福光寺本 方丈記	小内一明校注	A5判	112頁	1210円
14	柏木	岡野道夫校注	A5判	126頁	1210円
16	お伽草子一 およのの尼・玉もの前	西沢正二・石黒吉次郎校注	A5判	112頁	1210円
17	帚木	犬養廉・奥出文子校注	A5判	144頁	1375円
18	須磨・明石	橘誠校注	A5判	224頁	1980円
22	和泉式部日記	平田喜信校注	A5判	124頁	1320円
25	若紫・末摘花	有吉保・安藤亭子校注	A5判	232頁	1980円
28	滯標・蓬生・関屋	守屋省吾校注	A5判	208頁	1870円
29	篝火・野分・行幸・藤袴	中田武司校注	A5判	200頁	1870円
31	春のみやまち	渡辺静子校注	A5判	216頁	1980円

33	玉鬘・初音	小山利彦校注	A5判	184頁	1870円
34	紅葉賀・花宴・葵	神作光一・遠藤和夫校注	A5判	236頁	1980円
35	絵合・松風・薄雲	野口元大校注	A5判	220頁	1980円
36	橋姫・椎本	森本元子校注	A5判	224頁	2136円
38	槿・乙女	武山隆昭校注	A5判	206頁	1870円

新典社校注叢書

継続刊行中

1	校注 方丈記・徒然草	長崎健・桑原博史編	B6判	224頁	1870円
2	校注 紫式部日記	萩谷朴編	B6判	160頁	1650円
3	校注 万葉集筑紫篇	林田正男編	B6判	272頁	2090円
4	校注 狭衣物語 卷一・卷二	久下晴康・堀口悟編	B6判	224頁	1870円
5	校注 大和物語	柳田忠則編	B6判	216頁	1760円
6	校注 とはずがたり	松村雄二編	B6判	272頁	2200円
9	校注 讃岐典侍日記	小谷野純一編	B6判	160頁	1815円
10	校注 更級日記	小谷野純一編	B6判	168頁	1870円
11	校注 堤中納言物語	大倉比呂志編	B6判	136頁	1485円
12	校注 風に紅葉	大倉比呂志・鈴木泰恵編	B6判	128頁	1408円

大妻文庫（大妻女子大学国文学会編）

継続刊行中

1	徒然草	B6判	528頁	4180円	4	曾我物語 中	B6判	560頁	4510円
2	詞花和歌集	B6判	328頁	2750円	5	曾我物語 下	B6判	512頁	4070円
3	曾我物語 上	B6判	432頁	3520円					

活字本 教科書

継続刊行中

新講古典文法	塚原欽雄著	A5判	144頁	1430円
古典文学概論 — キーワードで読む原典 —	竹尾・本間・濱中・安保編	A5判	272頁	2618円
作品中心 日本文学史	山岸徳平編	A5判	228頁	1100円
日本文学研究のために ——	山岸徳平編	A5判	192頁	1320円
古事記歌謡注釈 歌謡の理論から読み解く古代歌謡の全貌	辰巳正明監修	A5判	288頁	2860円
懐風藻 古代日本漢詩を読む	辰巳正明著	A5判	392頁	3960円
女流の文学 — 古典編 —	青木・糸賀・井上・木村・濱口・藤平・森本編	A5判	256頁	1760円
日本詩歌選〔改訂版〕	古典和歌研究会編	A5判	248頁	1100円
日本古典 文・和歌・文章の構造	中村幸弘・碓石雅利著	A5判	282頁	2970円

漢文文型 訓読の語法	中村幸弘・杉本完治著	A5判	392頁	4180円
日本文学検定公式問題集〔古典・近現代〕3級	日本文学検定委員会編	A5判	256頁	1650円
日本文学検定公式問題集〔古典〕2級	日本文学検定委員会編	A5判	352頁	2200円
日本文学検定公式問題集〔近現代〕2級	日本文学検定委員会編	A5判	368頁	2200円
新注 源氏物語抄	久下晴康・元吉進編	A5判	192頁	1760円
編年 中世の文学 — 中世文学小事典 —	浅見・天野・小島・田村編	A5判	320頁	2200円
史館茗話	中間洋一編	A5判	192頁	2090円
連句の世界	佐藤勝明・竹下義人・谷地快一・宮脇真彦編	A5判	128頁	1430円
芭蕉・近松・西鶴	峯岸義秋・扇畑忠雄・片野達郎編	A5判	174頁	1100円
影印版頭注付 西鶴の世界Ⅰ	雲英・谷脇・伊藤・井上・佐藤・二又編	A5判	128頁	1430円
影印版頭注付 西鶴の世界Ⅱ	雲英・谷脇・伊藤・井上・佐藤・二又編	A5判	128頁	1430円
俊寛 — 平家・謡曲・浄瑠璃 —	景山正隆・松崎仁編	A5判	160頁	1430円
新版 作品で読む20世紀の日本文学	京都橋大学日本語日本文学科編	A5判	88頁	1100円
新版 作品で読む明治文学	京都橋大学日本語日本文学科編	A5判	122頁	1210円
新版 作品で読む宮沢賢治	京都橋大学日本語日本文学科編	A5判	88頁	1100円
注釈『晩年』抄	赤木孝之編	A5判	224頁	1923円
中級からの日本語 — 読解中心 —	池田重監修	B5判	本文192頁 別冊24頁	2200円
日本語リテラシー	伊藤善隆・小森潔監修	B5判	64頁	1100円

単行本（研究書・資料・他）

継続刊行中

中京大学文化科学叢書17 東海の「道」から見た上代文学 —— 東海・東山道を基軸に	佐藤隆編著	A5判	312頁	4290円
作品別研究文献2 大和物語文献集成	柳田忠則編	A5判	376頁	12320円
松井石根 アジア主義論集	野村幸一郎編	A5判	292頁	9350円
日記文学研究 第三集	日記文学研究会編	A5判	288頁	9460円
叢刊・日本の文学13 「縁」について — 中国と日本 —	古田島洋介著	B6判	124頁	1078円

日本の作家

継続刊行中

9 蜻蛉日記作者 右大将道綱母	増田繁夫著	B6判	272頁	1870円
11 感性のきらめき 清少納言	藤本宗利著	B6判	272頁	2310円
12 源氏の作者 紫式部	稲賀敬二著	B6判	272頁	1870円
19 誇り高く歌に生きた 藤原俊成女	神尾暢子著	B6判	256頁	2200円
23 残照の中の巨樹 正 徹	村尾誠一著	B6判	272頁	2420円
24 人生の達人 兼好法師	桑原博史著	B6判	248頁	1760円
43 自然主義作家 田山花袋	小林一郎著	B6判	280頁	1980円

49	豊饒なる仮面 三島由紀夫	井上隆史著	B6判	256頁	2200円
52	元禄の奇才 宝井其角	田中善信著	B6判	240頁	2046円
55	名づけ得ぬものへ 中原中也	岡崎和夫著	B6判	352頁	3080円

女性作家評伝シリーズ (全13巻)

編集委員 尾形明子・小林富久子・長谷川啓

全13巻 分売可

1	樋口一葉	増田みず子著	B6判	232頁	〔品切〕
2	與謝野晶子	渡邊澄子著	B6判	232頁	〔品切〕
3	野上彌生子	藪禎子著	B6判	272頁	2200円
4	岡本かの子	三枝和子著	B6判	160頁	〔品切〕
5	尾崎翠 — 『第七官界彷徨』の世界 —	水田宗子著	B6判	176頁	〔品切〕
6	宇野千代	尾形明子著	B6判	288頁	2310円
7	宮本百合子	岩淵宏子著	B6判		〔未刊〕
8	平林たい子	中山和子著	B6判	192頁	1650円
9	林芙美子	中沢けい著	B6判		〔未刊〕
10	佐多稲子	長谷川啓著	B6判		〔未刊〕
11	円地文子 — ジェンダーで読む作家の生と作品 —	小林富久子著	B6判	288頁	2310円
12	壺井栄	小林裕子著	B6判	288頁	2310円
13	幸田文	由里幸子著	B6判	208頁	1650円

新典社選書

継続刊行中

15	ことば遊びの世界	小野恭靖著	B6判	224頁	1760円
22	郷歌 — 注解と研究	中西進・辰巳正明編	B6判	272頁	1980円
23	晶子の美学 — 珠玉の百首鑑賞	荻野恭茂著	B6判	144頁	1386円
24	万葉集宮廷歌人全注釈 — 虫麻呂・赤人・金村・千年 —	濱口博章著	B6判	272頁	2200円
25	女流歌人 中務 — 歌で伝記を辿る —	稲賀敬二著	B6判	384頁	3080円
26	荻萱道心と石童丸のゆくえ — 古典世界から現代へ —	三野恵著	B6判	144頁	1386円
27	江戸の恋の万華鏡 — 『好色五人女』	竹野静雄著	B6判	256頁	1870円
29	万葉 恋歌の装い	菊池威雄著	B6判	208頁	1540円
30	文明批評の系譜 — 文学者が見た明治・大正・昭和の日本 —	和田正美著	B6判	208頁	1540円
31	毛髪で縫った曼荼羅 — 漂泊僧 空念の物語 —	日沖敦子著	B6判	188頁	1650円
32	あらすじで楽しむ源氏物語	小町谷照彦著	B6判	224頁	1760円
33	「いろはかるた」の世界	吉海直人著	B6判	198頁	1760円
34	土屋文明私論 — 歌・人・生 —	宮崎莊平著	B6判	260頁	2310円
35	宇治拾遺物語のたのしみ方	伊東玉美著	B6判	176頁	1430円
36	更級日記への視界	小谷野純一著	B6判	368頁	2970円

37	古典和歌の世界 — 歌題と例歌（証歌）鑑賞 —	三村晃功著	B6判	256頁	1870円
38	沖繩 備瀬 — あの世につながる聖空間 —	中畑充弘著	B6判	192頁	1540円
39	島瓦の考古学 — 琉球と瓦の物語 —	石井龍太著	B6判	212頁	1980円
40	智恵子抄を読む	大島龍彦著	B6判	176頁	1430円
41	百人一首を読み直す — 非伝統的表現に注目して —	吉海直人著	B6判	264頁	2530円
42	『住吉物語』の世界	吉海直人著	B6判	276頁	2640円
43	讃岐典侍日記への視界	小谷野純一著	B6判	368頁	2970円
44	『枕草子』をどうぞ — 定子後宮への招待 —	藤本宗利著	B6判	176頁	1430円
45	窪田空穂と万葉集 — 亡き母挽歌と富士関係歌 —	鈴木武晴著	B6判	320頁	2640円
46	これならわかる漢文の送り仮名 — 入門から応用まで —	古田島洋介著	B6判	208頁	1650円
47	国学史再考 — のぞきからくり本居宣長 —	田中康二著	B6判	256頁	1980円
48	「一分」をつらぬいた侍たち — 『武道伝来記』のキャラクター	岡本隆雄著	B6判	208頁	1650円
49	芭蕉の学力	田中善信著	B6判	160頁	1210円
50	大道具で楽しむ日本舞踊	中田節著	B6判	240頁	2200円
51	宮古の神々と聖なる森	平井芽阿里著	B6判	272頁	2200円
52	式子内親王 — その生涯と和歌	小田剛著	B6判	176頁	1430円
53	古典和歌の文学空間 — 歌題と例歌（証歌）からの鳥瞰 —	三村晃功著	B6判	448頁	3520円
54	物語のいでき始めのおや — 『竹取物語』入門	原國人著	B6判	160頁	1210円
55	家集の中の「紫式部」	廣田收著	B6判	256頁	1980円
56	森嶋外 永遠の問いかけ	杉本完治著	B6判	300頁	2420円
57	京都のくるわ — 生命を更新する祭りの場 —	田口章子編	B6判	192頁	1540円
58	方丈記と往生要集	鈴木久著	B6判	128頁	1100円
59	古典和歌の時空間 — 「由緒ある歌」をめぐる —	三村晃功著	B6判	288頁	2310円
60	作品の表現の仕組み — 古典と現代 散策 —	大木正義著	B6判	176頁	1430円
61	鎌倉六代将軍宗尊親王 — 歌人将軍の栄光と挫折 —	菊池威雄著	B6判	224頁	1760円
62	『こころ』の真相 漱石は何をたくらんだのか	柳澤浩哉著	B6判	256頁	1980円
63	続・古典和歌の時空間 — 長流と契沖の「由緒ある歌」の展望 —	三村晃功著	B6判	416頁	3410円
64	白洲正子 — 日本文化と身体	野村幸一郎著	B6判	208頁	1650円
65	女たちの光源氏	久保朝孝編	B6判	208頁	1650円
66	江戸時代落語家列伝	中川桂著	B6判	240頁	1870円
67	能のうた — 能楽師が読み解く遊樂の物語 —	鈴木啓吾著	B6判	400頁	3520円
68	古典和歌の詠み方読本 — 有賀長伯編著『和歌八重垣』の文学空間 —	三村晃功著	B6判	352頁	2860円
69	役行者のいる風景 — 寺社伝説探訪 —	志村有弘著	B6判	120頁	1100円
70	澁川春海と谷重遠 — 双星煌煌 —	志水義夫著	B6判	192頁	1540円
71	文豪の漢文旅日記 — 鴨外の渡欧、漱石の房総	森岡ゆかり著	B6判	292頁	2530円
72	リアルなイーハトーヴ — 宮沢賢治が求めた空間 —	人見千佐子著	B6判	320頁	2530円
73	義経伝説と鎌倉・藤沢・茅ヶ崎	田中徳定著	B6判	272頁	2200円
74	日本近代文学はアジアをどう描いたか	野村幸一郎著	B6判	256頁	1980円
75	神に仕える皇女たち — 斎王への誘い —	原槇子著	B6判	224頁	1760円

76	三島由紀夫『豊饒の海』VS 野間宏『青年の環』—— 戦後文学と全体小説	井上隆史著	B6判	192頁	1540円
77	明治、このフシギな時代	矢内賢二編	B6判	208頁	1650円
78	三島由紀夫の源流	岡山典弘著	B6判	256頁	1980円
79	ゴジラ傳 — 怪獣ゴジラの文藝学 —	志水義夫著	B6判	240頁	1870円
80	説話の中の僧たち	京都仏教説話研究会編	B6判	328頁	2640円
81	古典の叡智 —— 老いを愉しむ	小野恭靖著	B6判	240頁	1870円
82	『源氏物語』の特殊表現	吉海直人著	B6判	304頁	2420円
83	これならわかる復文の要領 — 漢文学習の裏技 —	古田島洋介著	B6判	328頁	2640円
84	明治、このフシギな時代 2	矢内賢二編	B6判	128頁	1100円
85	源氏物語とシェイクスピア — 文学の批評と研究と —	廣田収・勝山貴之著	B6判	232頁	1870円
86	下級貴族たちの王朝時代 『新猿蓑記』に見るさまざまな生き方	繁田信一著	B6判	200頁	1650円
87	新版 宮崎駿の地平 ナウシカからもののけ姫へ	野村幸一郎著	B6判	208頁	1650円
88	宮崎駿が描いた少女たち	野村幸一郎編	B6判	240頁	1870円
89	向田邦子文学論	向田邦子研究会編	B6判	480頁	3850円
90	歌舞伎を知られば日本がわかる	田口章子著	B6判	224頁	1760円
91	明治、このフシギな時代 3	矢内賢二編	B6判	192頁	1540円
92	ゆく河の水に流れて — 人と水が織りなす物語 —	山岡敬和著	B6判	296頁	2310円
93	『源氏物語』忘れぬ初恋と懸隔の恋 — 朝顔の姫君と夕顔の女君 —	小澤洋子著	B6判	240頁	1870円
94	文体再見	半沢幹一著	B6判	272頁	2200円
95	続・能のうた — 能楽師が読み解く遊楽の物語 —	鈴木啓吾著	B6判	336頁	2970円
96	入門 平安文学の読み方	保科恵著	B6判	208頁	1650円
97	百人一首を読み直す2 — 言語遊戯に注目して —	吉海直人著	B6判	312頁	2915円
98	戦場を発見した作家たち —— 石川達三から林芙美子へ	蒲豊彦著	B6判	320頁	2585円
99	『建礼門院右京大夫集』の発信と影響	日記文学会中世分科会編	B6判	312頁	2530円
100	鳳胡と一茶、その時代 — 近世後期俳諧と地域文化 —	金田房子・玉城司編	B6判	376頁	3080円
101	賀茂保憲女 紫式部の先達	天野紀代子著	B6判	144頁	1210円

新典社新書

継続刊行中

1	光源氏と夕顔 — 身分違いの恋 —	清水婦久子著	新書判	160頁	1100円
2	戦国時代の諏訪信仰 — 失われた感性・習俗 —	笹本正治著	新書判	160頁	1100円
3	〈悪口〉の文学、文学者の〈悪口〉	井上泰至著	新書判	128頁	880円
4	のたれ死にでもよいではないか	志村有弘著	新書判	128頁	880円
5	源氏物語 —— 語りのからくり	鷲山茂雄著	新書判	160頁	1100円
6	天皇と女性霊力	諏訪春雄著	新書判	128頁	880円
7	バタヴィアの貴婦人	白石広子著	新書判	160頁	1100円
8	死してなお求める恋心 — 「菟原娘子伝説」をめぐる —	廣川晶輝著	新書判	160頁	〔品切〕
9	酒とシャーマン —— 『おもろさうし』を読む	吉成直樹著	新書判	128頁	880円

10	喜界島・鬼の海域 — キカイガシマ考 —	福寛美著	新書判	128頁	880円
11	萬葉の散歩みち — 上巻 —	廣岡義隆著	新書判	128頁	880円
12	萬葉の散歩みち — 下巻 —	廣岡義隆著	新書判	128頁	880円
13	偽装の商法 — 西鶴と現代社会	堀切実著	新書判	128頁	880円
14	待つ女の悲劇	大輪靖宏著	新書判	128頁	880円
15	源氏物語の季節と物語 — その類型的表現	渋谷栄一著	新書判	160頁	1100円
16	平家物語の死生学 — 上巻 —	佐伯雅子著	新書判	128頁	880円
17	平家物語の死生学 — 下巻 —	佐伯雅子著	新書判	128頁	880円
18	芭蕉 — 俳聖の実像を探る	田中善信著	新書判	128頁	880円
19	光源氏とティータイム	岩坪健著	新書判	128頁	880円
20	ことば遊びへの招待	小野恭靖著	新書判	128頁	880円
21	武器で読む八犬伝	吉丸雄哉著	新書判	160頁	1100円
22	神の香り秘法の書 — 中国の摩崖石経・上 —	北島信一著	新書判	160頁	1100円
23	都市空間の文学 — 藤原明衡と菅原孝標女 —	深沢徹著	新書判	128頁	880円
24	百人一首かるたの世界	吉海直人著	新書判	160頁	1100円
25	これならわかる返り点 — 入門から応用まで —	古田島洋介著	新書判	128頁	880円
26	東アジアの文芸共和国 — 通信使・北学派・兼葭堂 —	高橋博巳著	新書判	128頁	880円
27	歌垣 — 恋歌の奇祭をたずねて	辰巳正明著	新書判	160頁	1100円
28	紫式部日記の世界へ	小谷野純一著	新書判	160頁	1100円
29	芝居にみる江戸の暮らし	吉田弥生著	新書判	128頁	880円
30	我を絵に看る — 芭蕉の甲斐行 —	楠元六男著	新書判	160頁	1100円
31	源氏物語 二つのゆかり — 継承の主題と変化 —	熊谷義隆著	新書判	160頁	1100円
32	御家騒動の物語 — 中世から近世へ —	石黒吉次郎著	新書判	128頁	880円
33	礼法を伝えた男たち	綿抜豊昭著	新書判	128頁	880円
34	文豪だって漢詩をよんだ	森岡ゆかり著	新書判	128頁	880円
35	清少納言“受難”の近代 — 「新しい女」の季節に遭遇して —	宮崎莊平著	新書判	128頁	880円
36	男はつらいよ 推敲の謎	杉下元明著	新書判	160頁	1100円
37	古事記の仕組み — 王権神話の文芸 —	志水義夫著	新書判	160頁	1100円
38	千と千尋の神話学	西條勉著	新書判	160頁	1100円
39	『宇治拾遺物語』の中の昔話	廣田收著	新書判	160頁	〔品切〕
40	跳んだ『源氏物語』 — 死と哀悼の表現 —	天野紀代子著	新書判	128頁	880円
41	和歌を力に生きる — 道綱母と蜻蛉日記 —	堤和博著	新書判	160頁	1100円
42	「危機の時代」の沖縄 — 現代を写す鑑、十七世紀の琉球 —	伊藤陽寿著	新書判	128頁	880円
43	神の香り秘法の書 — 中国の摩崖石経・下 —	北島信一著	新書判	160頁	1100円
44	智恵子抄の光景	大島裕子著	新書判	128頁	880円
45	昔男の青春 — 『伊勢物語』初段～16段の読み方 —	妹尾好信著	新書判	160頁	1100円
46	涙の美学 — 日本の古典と文化への架橋 —	榎本正純著	新書判	128頁	880円
47	琉球の恋歌 — 「恩納なべ」と「よしや思鶴」 —	福寛美著	新書判	128頁	880円
48	初代都太夫一中の浄瑠璃 — 音曲に生きた元住職 —	小侯喜久雄著	新書判	160頁	1100円

49	万葉集を訓んだ人々 — 「万葉文化学」のころみ —	城崎陽子著	新書判	128頁	880円
50	源氏物語 姫君のふるまい	太田敦子著	新書判	128頁	〔品切〕
51	アニメに息づく日本古典 — 古典は生きている —	山田利博著	新書判	128頁	880円
52	紫式部・定家を動かした物語 — 謙徳公の書いた豊蔭物語 —	堤和博著	新書判	160頁	〔品切〕
53	ことばと文字の遊園地	小野恭靖著	新書判	160頁	1100円
54	女神たちの中世物語	濱中修著	新書判	160頁	1100円
55	向田邦子の比喩トランプ	半沢幹一著	新書判	160頁	1100円
56	夜の海、永劫の海	福寛美著	新書判	128頁	880円
57	ウラ日本文学 — 古典文学の舞台裏 —	岩坪健著	新書判	128頁	880円
58	コロボックルとはだれか — 中世の千島列島とアイヌ伝説	瀬川拓郎著	新書判	128頁	880円
59	万葉集からみる「世界」	井上さやか著	新書判	160頁	1100円
60	つける 連歌作法閑談	鈴木元著	新書判	160頁	1100円
61	アイヌの沈黙交易 — 奇習をめぐる北東アジアと日本 —	瀬川拓郎著	新書判	128頁	880円
62	少年少女のクロニクル — セラムン、テツジン、ウルトラマン —	志水義夫著	新書判	128頁	880円
63	萬葉の散歩みち — 続 —	廣岡義隆著	新書判	128頁	880円
64	文豪たちの「？」な言葉	馬上駿兵著	新書判	128頁	880円
65	ぐすく造営のおもろ — 立ち上がる琉球世界 —	福寛美著	新書判	160頁	1100円
66	向田邦子の思い込みトランプ	半沢幹一著	新書判	128頁	880円
67	知ったか源氏物語	山田利博著	新書判	128頁	880円
68	宮廷の御神楽 — 王朝びとの芸能 —	中本真人著	新書判	160頁	1100円
69	京ア二を読む	野村幸一郎著	新書判	160頁	1100円
70	[文法] であじわう名文	馬上駿兵著	新書判	128頁	880円
71	魔法少女まどか☆マギカ講義録 — メディア文藝への招待 —	志水義夫著	新書判	160頁	1100円
72	『源氏物語』女三の宮の〈内面〉	西原志保著	新書判	160頁	1100円
73	超口語訳 徒然草	濱田浩一郎著	新書判	128頁	880円
74	重箱の隅から読む名場面	馬上駿兵著	新書判	128頁	880円
75	戦国武将と能楽 — 信長・秀吉・家康 —	原田香織著	新書判	160頁	1100円
76	物語の中の京都	濱中修著	新書判	160頁	1100円
77	滑稽艶笑譚 — 江戸小咄を愉しむ	宮尾與男著	新書判	160頁	1100円
78	「令和」から読む万葉集	辰巳正明著	新書判	128頁	880円
79	平家物語とその周辺 — 女性たちの物語 —	濱中修著	新書判	160頁	1100円
80	向田邦子の末尾文トランプ	半沢幹一著	新書判	160頁	1100円
81	藤沢周平 とどめの一文	半沢幹一著	新書判	160頁	1100円
82	二・二六事件の思想課題 — 三島事件への道程	野村幸一郎著	新書判	160頁	1100円

一般単行本

継続刊行中

人と書と 歴史人の直筆

田代圭一著 A5判 256頁 2530円

人と書とⅡ 歴史人の直筆	田代圭一著	A5判	216頁	2145円
良寛 一 文人の書 一	萬羽啓吾著	A5判	256頁	4180円
奈良・京都 文学散歩	二松學舎大学文学部国文学科編	A5判	144頁	1320円
神奈川 文学散歩	二松學舎大学文学部国文学科編	A5判	144頁	1320円
東京 文学散歩	二松學舎大学文学部国文学科編	A5判	144頁	1320円
古典と歩く古都鎌倉	佐藤智広著	A5判	240頁	2420円
大人のまち歩き	秋山秀一著	A5判	232頁	1760円
鎌ヶ谷 まち歩きの楽しみ	秋山秀一著	A5判	160頁	1650円
ヨーロッパ観光事情 まち歩きの楽しみ	秋山秀一著	A5判	160頁	1650円
世界観光事情 まち歩きの楽しみ	秋山秀一著	A5判	208頁	2145円
萬葉集名花百種鑑賞	川上富吉編	A5判	224頁	3740円
大伴旅人 「令和」を開いた万葉集の歌人	辰巳正明著	A5判	256頁	2640円
もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第1集	伊藤欽也編	A5判	272頁	2640円
もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第2集	伊藤欽也編	A5判	384頁	3300円
もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第3集	伊藤欽也編	A5判	336頁	2970円
もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第4集	伊藤欽也編	A5判	372頁	3190円
木曾義仲に出会う旅	伊藤悦子著	A5判	164頁	1980円
式子内親王全歌新釈	小田剛著	A5判	384頁	4070円
今日は一日、方丈記	磯水絵編	A5判	224頁	2200円
元禄名家句集略注 伊藤信徳篇	田中善信著	A5判	224頁	2200円
元禄名家句集略注 池西言水篇	田中善信著	A5判	404頁	3960円
元禄名家句集略注 山口素堂篇	田中善信著	A5判	200頁	1980円
元禄名家句集略注 小西来山篇	佐藤勝明著	A5判	296頁	2970円
元禄名家句集略注 上嶋鬼貫篇	玉城司・竹下義人・木下優著	A5判	496頁	4950円
寺田洋祐 俳画集 蕪村・一茶に遊ぶ	寺田洋祐画	A5判	112頁	2530円
謎解き森鷗外	原國人著	B6判	296頁	2530円
謎解き富嶽百景	原國人著	B6判	184頁	1540円
物書き フライ演 杉田瑞子 秋田出身の芥川賞候補作家	石塚政吾著	A5判	304頁	3135円
『智恵子抄』の世界	大島龍彦・大島裕子編著	B6判	256頁	2090円
智恵子抄を歩く 一 素顔の智恵子 一	大島裕子著	B6判	240頁	1980円
土岐善麿と図書館	大伏春美・大伏節子編著	B6判	240頁	1870円
雀様が語る日本	崔古城著	B6判	280頁	2310円
文学部のリアル、東アジアの人文学	江藤茂博編	A5判	216頁	2145円
東アジアの知 一 文化研究の軌跡と展望 一	中西進編	A5判	400頁	6380円
表象のトランス・ジェンダー —— 越境する性	安達太郎・野村幸一郎・林久美子編著	B6判	224頁	1760円
教育改革のゆくえ 一 続・家庭は子どもの教育の原点 一	中田雅敏著	B6判	256頁	1980円
忘れられた作家・忘れられない作品	中田雅敏著	B6判	336頁	2640円
親と子の人間関係 一 幼児より青少年まで 一	中田雅敏著	新書判	176頁	1100円

幻想と現実 — 日本古典文学の愉しみ —	板垣俊一著	B6判	240頁	1980円
理性と平和 ザーロモ・フリートレンダー／ミュノーナ政治理論作品選集				
ハルトムート・ゲールケン/デートレフ・ティール/中村博雄共編		A5判	256頁	2640円
技術と空想 ザーロモ・フリートレンダー／ミュノーナ グロテスケ作品選集				
ハルトムート・ゲールケン/デートレフ・ティール/山本順子/中村博雄共編		A5判	240頁	2530円
哲学とユーモア ザーロモ・フリートレンダー／ミュノーナ笑いの理論と実践作品選集				
デートレフ・ティール/中村博雄共編		A5判	264頁	2750円
青桐 — ものゝ詞いはん —	深澤邦弘編著	新書判	124頁	1100円
歌集 歩み来し方	宮崎莊平著	新書判	112頁	1100円
はじめて学ぶ仏教 インド・中国編	有働智瑛著	A5判	256頁	1980円
新 うたの神話学	福寛美著	新書判	128頁	1210円

書名索引

— あ —

- アイヌの沈黙交易【新書】……………43, 65
 葵【青表紙本源氏物語】……………57
 青桐 - もの一詞いはん - ……………46, 67
 明石【青表紙本源氏物語】……………57
 晶子の美学 - 珠玉の首首鑑賞【選書】……………38, 61
 総角【青表紙本源氏物語】……………57
 槿【青表紙本源氏物語】……………57
 槿・乙女【影印校注古典叢書】……………21, 59
 東屋【青表紙本源氏物語】……………57
 アニメに息づく日本古典【新書】……………27, 65
 天草版伊曾保物語・言葉の和らげ【注釈叢書】…16, 56
 歌集 歩み来し方……………46, 67
 あらすじで楽しむ源氏物語【選書】……………29, 61

— い —

- 十六夜日記【影印校注古典叢書】……………23, 58
 和泉式部日記【影印校注古典叢書】……………21, 58
 和泉式部の方法試論【研究叢書】……………11, 55
 影印本 和泉式部物語……………21, 58
 影印本 伊勢物語……………19, 58
 伊勢物語【影印校注古典叢書】……………19, 58
 伊勢物語 色好みの享受史【研究叢書】…3, 11, 55
 「一分」をつらぬいた侍たち【選書】……………34, 62
 「いろはかるた」の世界【選書】……………34, 61

— う —

- 浮舟【青表紙本源氏物語】……………57
 宇治拾遺物語のたのしみ方【選書】……………31, 61
 薄雲【青表紙本源氏物語】……………57
 右大将道綱母【日本の作家】……………27, 60
 歌垣 - 恋歌の奇祭をたずねて【新書】……………26, 64
 空蟬【青表紙本源氏物語】……………56
 宇野千代【女性作家評伝】……………39, 61

- 梅ヶ枝【青表紙本源氏物語】……………57
 ウラ日本文学【新書】……………27, 65

— え —

- 絵合【青表紙本源氏物語】……………57
 絵合・松風・薄雲【影印校注古典叢書】…21, 59
 江戸時代落語家列伝【選書】……………36, 62
 江戸の恋の万華鏡 - 『好色五人女』【選書】…34, 61
 円地文子【女性作家評伝】……………39, 61
 「縁」について【日本の文学】……………42, 60
 役行者のいる風景【選書】……………27, 62

— お —

- 御家騒動の物語【新書】……………33, 64
 王朝継子物語と力【研究叢書】……………11, 52
 王朝物語の表現生成【研究叢書】……………11, 55
 大鏡（上中下巻）【影印校注古典叢書】……………21, 58
 大斎院御集全注釈【和歌文学注釈叢書】…12, 56
 大道具で楽しむ日本舞踊【選書】……………44, 62
 大伴旅人「令和」を開いた万葉集の歌人…27, 66
 沖繩 備瀬【選書】……………43, 62
 小倉山庄色紙和歌【影印校注古典叢書】…23, 58
 お伽草子一【影印校注古典叢書】……………23, 58
 男はつらいよ 推敲の謎【新書】……………40, 64
 大人のまち歩き……………41, 66
 乙女【青表紙本源氏物語】……………57
 親と子の人間関係……………45, 66
 女たちの光源氏【選書】……………29, 62

— か —

- 懐風藻 古代日本漢詩を読む……………19, 59
 校本 懐風藻【研究叢書】……………2, 8, 55
 篝火【青表紙本源氏物語】……………57
 篝火・野分・行幸・藤袴【影印校注古典叢書】…21, 58
 蜻蛉【青表紙本源氏物語】……………57

蜻蛉日記上巻前半部研究【研究叢書】 ……3, 12, 55
 家集の中の「紫式部」【選書】 ……28, 62
 柏木【青表紙本源氏物語】 ……57
 柏木【影印校注古典叢書】 ……21, 58
 校注 風に紅葉 ……23, 59
 画引き かな解読字典【影印本】 ……17, 57
 神奈川 文学散歩 ……41, 66
 仮名変体集【影印本】 ……17, 57
 歌舞伎を知れば日本がわかる【選書】 ……35, 63
 鎌ヶ谷 まち歩きのお楽しみ ……41, 66
 鎌倉六代将軍宗尊親王【選書】 ……32, 62
 神に仕える皇女たち【選書】 ……28, 62
 神の香り秘法の書 - 上・下 - 【新書】 ……42, 64
 賀茂保憲女 紫式部の先達【選書】 ……3, 28, 63
 苅萱道心と石童丸のゆくえ【選書】 ……34, 61
 菅家後集 叙意一百韻全注釈【注釈叢書】 ……14, 56
 漢文文型 訓読の語法 ……18, 60

— き —

喜界島・鬼の海域【新書】 ……31, 64
 「危機の時代」の沖縄【新書】 ……43, 64
 技術と空想 ……45, 67
 偽装の商法 - 西鶴と現代社会【新書】 ……34, 64
 木曾義仲に出会う旅 ……31, 66
 金時習『金鰲新話』と日本【研究叢書】 ……16, 55
 宮廷の御神楽 - 王朝びとの芸能 - 【新書】 ……30, 65
 宮廷御神楽芸能史【研究叢書】 ……14, 53
 京アニを読む【新書】 ……46, 65
 教育改革のゆくえ ……45, 66
 京都のくわ - 生命を更新する祭りの場 - 【選書】 ……43, 62
 今日是一日、方丈記 ……32, 66
 桐壺【青表紙本源氏物語】 ……56
 桐壺【影印校注古典叢書】 ……20, 58

— く —

ぐすく造営のおもろ【新書】 ……43, 65
 画引き くずし字解読字典【影印本】 ……17, 57
 古筆切で読む くずし字練習帳 ……17, 57

窪田空穂と万葉集【選書】 ……38, 62

— け —

兼好法師【日本の作家】 ……32, 60
 元亨釈書全訳注 上【研究叢書】 ……5, 15, 55
 青表紙本 源氏物語 (全五十四帖別冊二) ……19, 56, 57
 源氏物語 引用とゆらぎ【研究叢書】 ……12, 55
 『源氏物語』女三の宮の〈内面〉【新書】 ……29, 65
 源氏物語解題【青表紙本源氏物語】 ……57
 ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』「蜻蛉」……20, 58
 源氏物語 - 語りのからくり【新書】 ……29, 63
 源氏物語 現代語訳書誌集成【研究叢書】 ……4, 13, 55
 新注 源氏物語抄【活字本テキスト】 ……20, 60
 国立歴史民俗博物館蔵『源氏物語』「鈴虫」……20, 58
 ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』「須磨」……20, 58
 変体仮名で読む 源氏物語全和歌 ……19, 58
 源氏物語と漢世界【研究叢書】 ……13, 54
 源氏物語 読解と享受資料考【研究叢書】 ……13, 55
 源氏物語とシェイクスピア【選書】 ……42, 63
 源氏物語と周辺文芸の研究【研究叢書】 ……12, 55
 『源氏物語』庭と邸宅【研究叢書】 ……4, 13, 55
 源氏物語の季節と物語【新書】 ……29, 64
 源氏物語の思想的な研究【研究叢書】 ……12, 54
 源氏物語の史的意識と方法【研究叢書】 ……13, 54
 『源氏物語』の罪意識の受容【研究叢書】 ……12, 54
 『源氏物語』の特殊表現【選書】 ……28, 63
 『源氏物語』の光と影【研究叢書】 ……12, 55
 源氏物語 二つのゆかり【新書】 ……30, 64
 源氏物語〈読み〉の交響Ⅲ【研究叢書】 ……12, 55
 源氏物語論攷【研究叢書】 ……3, 13, 55
 『源氏物語』忘れ得ぬ初恋と懸隔の恋【選書】 ……29, 63
 幻想と現実 - 日本古典文学の愉しみ - ……46, 67
 『建礼門院右京大夫集』の発信と影響【選書】 ……4, 31, 63
 影印本 元禄版猿蓑 ……24, 58
 元禄名家句集略注 池西言水篇 ……35, 66
 元禄名家句集略注 伊藤信徳篇 ……35, 66
 元禄名家句集略注 上嶋鬼貫篇 ……5, 35, 66
 元禄名家句集略注 小西来山篇 ……35, 66

元禄名家句集略注 山口素堂篇 ……35, 66

— こ —

語彙・語法から見た四鏡の文章【研究叢書】 ……14, 55

幸田文【女性作家評伝】 ……40, 61

紅梅【青表紙本源氏物語】 ……57

校本石清水物語【研究叢書】 ……15, 55

古今集一【影印校注古典叢書】 ……19, 58

『古今和歌集』巻二十・注釈と論考・【注釈叢書】 ……11, 56

国学史再考【選書】 ……36, 62

『こころ』の真相【選書】 ……37, 62

古事記歌謡注釈 ……18, 59

古事記の仕組み【新書】 ……27, 64

ゴジラ傳 - 怪獣ゴジラのアニメーション - 【選書】 ……45, 63

古代中世文学論考 ……2, 8～10, 55, 56

胡蝶【青表紙本源氏物語】 ……57

滑稽艶笑譚 - 江戸小咄を愉しむ【新書】 ……35, 65

古典の叡智 - 老いを愉しむ【選書】 ……42, 63

古典と歩く古都鎌倉 ……41, 66

古典文学概論【活字本テキスト】 ……17, 59

古典和歌の時空間【選書】 ……32, 62

古典和歌の世界【選書】 ……32, 62

古典和歌の文学空間【選書】 ……32, 62

古典和歌の詠み方読本【選書】 ……33, 62

ことば遊びの世界【選書】 ……33, 61

ことば遊びへの招待【新書】 ……34, 64

ことばと文字の遊園地【新書】 ……34, 65

これならわかる返り点【新書】 ……44, 64

これならわかる漢文の送り仮名【選書】 ……44, 62

これならわかる復文の要領【選書】 ……44, 63

コロポックルとはだれか【新書】 ……43, 65

— さ —

西鶴の世界Ⅰ・Ⅱ【活字本テキスト】 ……24, 60

賢木【青表紙本源氏物語】 ……57

新版 作品で読む20世紀の日本文学 ……25, 60

新版 作品で読む宮沢賢治 ……25, 60

新版 作品で読む明治文学 ……25, 60

作品の表現の仕組み【選書】 ……42, 62

酒とチャーマン【新書】 ……36, 63

校注 狭衣物語 巻一・巻二 ……22, 59

校注 讃岐典侍日記 ……22, 59

讃岐典侍日記への視界【選書】 ……30, 62

影印本 更級日記 ……22, 58

校注 更級日記 ……22, 59

更級日記への視界【選書】 ……30, 61

早蕨【青表紙本源氏物語】 ……57

— し —

椎本【青表紙本源氏物語】 ……57

詞花和歌集【大妻文庫】 ……22, 59

史館茗話【活字本テキスト】 ……24, 60

影印本 鳴の羽搔 ……23, 58

知ったか源氏物語【新書】 ……30, 65

実用変体がない【影印本】 ……17, 57

芝居にみる江戸の暮らし【新書】 ……34, 64

澁川春海と谷重遠【選書】 ……35, 62

島瓦の考古学【選書】 ……43, 62

袖中抄の研究【研究叢書】 ……14, 54

重箱の隅から読む名場面【新書】 ……37, 65

春画論 - 性表象の文化学【研究叢書】 ……16, 54

俊寛【活字本テキスト】 ……24, 60

正徹【日本の作家】 ……32, 60

少年少女のクロニクル【新書】 ……45, 65

式子内親王全歌新釈 ……31, 66

式子内親王 - その生涯と和歌【選書】 ……31, 62

初代都太夫一中の浄瑠璃【新書】 ……34, 64

女流歌人 中務【選書】 ……27, 61

女流の文学 - 古典編 - 【活字本テキスト】 ……18, 59

白洲正子 - 日本文化と身体【選書】 ……40, 62

新 うたの神話学 ……46, 67

新講古典文法【活字本テキスト】 ……17, 59

影印本 心中重井筒・今宮の心中 ……24, 58

新撰類聚往来 影印と研究【研究叢書】 ……15, 55

新撰朗詠集全注釈 全四巻【注釈叢書】 ……14, 56

神仏習合の手法【研究叢書】 ……15, 55

— す —

末摘花【青表紙本源氏物語】 ……56
 物書きブライ漢 杉田瑞子 ……40, 66
 鈴虫【青表紙本源氏物語】 ……57
 雀様が語る日本 ……44, 66
 須磨【青表紙本源氏物語】 ……57
 須磨・明石【影印校注古典叢書】 ……20, 58
 『住吉物語』の世界【選書】 ……28, 62

— せ —

清少納言【日本の作家】 ……28, 60
 清少納言“受難”の近代【新書】 ……28, 64
 世界観光事情 まち歩きの楽しみ ……7, 42, 66
 関屋【青表紙本源氏物語】 ……57
 世俗諺文全注釈【注釈叢書】 ……13, 56
 説話の中の僧たち【選書】 ……31, 63
 戦国時代の諏訪信仰【新書】 ……42, 63
 戦国武将と能楽【新書】 ……33, 65
 全釈読みなしぐり【注釈叢書】 ……16, 56
 戦場を発見した作家たち【選書】 ……7, 39, 63
 千と千尋の神話学【新書】 ……27, 64

— そ —

曾我物語 上・中・下【大妻文庫】 ……23, 59
 続・王朝文学論【研究叢書】 ……11, 55
 続・古典和歌の時空間【選書】 ……33, 62
 続・能のうた【選書】 ……33, 63
 影印本 曾根崎心中 ……24, 58

— た —

増補 太平記と古活字版の時代【研究叢書】 ……15, 54
 太平記における白氏文集受容【研究叢書】 ……15, 54
 宝井其角【日本の作家】 ……36, 61
 竹河【青表紙本源氏物語】 ……57
 竹取物語【影印本】 ……19, 57
 玉鬘【青表紙本源氏物語】 ……57
 玉鬘・初音【影印校注古典叢書】 ……21, 59

田山花袋【日本の作家】 ……38, 60

— ち —

智恵子抄の光景【新書】 ……38, 64
 『智恵子抄』の世界 ……38, 66
 智恵子抄を歩く - 素顔の智恵子 - ……38, 66
 智恵子抄を読む【選書】 ……38, 62
 中級からの日本語 - 読解中心 - ……25, 60
 中近世中院家における百人一首注釈の研究【研究叢書】 ……15, 54
 注釈『晩年』抄【活字本テキスト】 ……25, 60
 編年 中世の文学【活字本テキスト】 ……22, 60
 中世文学の思想と風土【研究叢書】 ……15, 55
 超口語訳 徒然草【新書】 ……32, 65

— つ —

つける 連歌作法閑談【新書】 ……33, 65
 土屋文明私論 - 歌・人・生 - 【選書】 ……39, 61
 校注 堤中納言物語 ……22, 59
 堤中納言物語 (上下)【影印校注古典叢書】 ……21, 58
 壺井栄【女性作家評伝】 ……38, 61
 徒然草【大妻文庫】 ……23, 59
 徒然草 人物考証の新研究【研究叢書】 ……15, 55

— て —

影印本 定家歌論集 ……22, 58
 哲学とユーモア ……45, 67
 手習【青表紙本源氏物語】 ……57
 寺田洋祐 俳画集 蕪村・一茶に遊ぶ ……5, 36, 66
 天皇と女性霊力【新書】 ……42, 63

— と —

東海の「道」から見た上代文学 ……8, 60
 東京 文学散歩 ……41, 66
 土岐善麿と図書館 ……39, 66
 常夏【青表紙本源氏物語】 ……57
 影印本 土左日記 (新訂版) ……19, 58
 都市空間の文学【新書】 ……30, 64
 校注 とはずがたり ……23, 59

『とりかへばや』の研究【研究叢書】	14, 55
跳んだ『源氏物語』【新書】	30, 64

— な —

中原中也【日本の作家】	38, 61
謎解き富嶽百景	39, 66
謎解き森鷗外	37, 66
涙の美学【新書】	42, 64
奈良・京都 文学散歩	41, 66

— に —

匂宮【青表紙本源氏物語】	57
日記文学研究 第三集	11, 60
二・二六事件の思想課題【新書】	6, 39, 65
日本近代文学はアジアをどう描いたか【選書】	37, 62
日本語基幹構文の研究【研究叢書】	8, 54
日本古典文学における孝文化【研究叢書】	4, 13, 55
日本古典 文・和歌・文章の構造	18, 59
日本語リテラシー	25, 60
日本詩歌選〔改訂版〕【活字本テキスト】	18, 59
日本書紀典拠論【研究叢書】	8, 54
日本文学研究のために——【活字本テキスト】	17, 59
日本文学検定公式問題集〔古典・近現代〕3級	18, 60
日本文学検定公式問題集〔古典〕2級	18, 60
日本文学検定公式問題集〔近現代〕2級	18, 60
作品中心 日本文学史【活字本テキスト】	17, 59
入門 平安文学の読み方【選書】	27, 63

— の —

能のうた【選書】	33, 62
野上彌生子【女性作家評伝】	38, 61
のたれ死にでもよいではないか【新書】	37, 63
野分【青表紙本源氏物語】	57

— は —

幕末維新期の近藤芳樹【研究叢書】	6, 16, 55
はじめて学ぶ仏教 インド・中国編	44, 67
国文学研究資料館蔵 橋本本『源氏物語』「若紫」	20, 58

橘姫【青表紙本源氏物語】	57
橘姫・椎本【影印校注古典叢書】	21, 59
芭蕉 - 俳聖の実像を探る【新書】	35, 64
芭蕉・近松・西鶴【活字本テキスト】	24, 60
芭蕉の学力【選書】	35, 62
バタヴィアの貴婦人【新書】	43, 63
初音【青表紙本源氏物語】	57
花散里【青表紙本源氏物語】	57
花宴【青表紙本源氏物語】	57
帯木【青表紙本源氏物語】	56
帯木【影印校注古典叢書】	20, 58
春のみやまぢ【影印校注古典叢書】	23, 58

— ひ —

東アジアの知 - 文化研究の軌跡と展望 -	42, 66
東アジアの文芸共和国【新書】	43, 64
光源氏とティータタイム【新書】	30, 64
光源氏と夕顔 - 身分違いの恋 - 【新書】	29, 63
肥後集全注釈【和歌文学注釈叢書】	12, 56
人と書と 歴史人の直筆	41, 65
人と書と II 歴史人の直筆	41, 66
影印本 百人一首	23, 58
百人一首かるたの世界【新書】	32, 64
百人一首(兼載筆)【影印校注古典叢書】	23, 58
百人一首を読み直す【選書】	33, 62
百人一首を読み直す2【選書】	5, 33, 63
郷歌 - 注解と研究【選書】	26, 61
表象のトランス・ジェンダー	44, 66
平林たい子【女性作家評伝】	39, 61

— ふ —

武器で読む八犬伝【新書】	36, 64
藤沢周平 とどめの一文【新書】	7, 40, 65
藤裏葉【青表紙本源氏物語】	57
藤袴【青表紙本源氏物語】	57
藤原俊成女【日本の作家】	32, 60
文学部のリアル、東アジアの人文学	44, 66
文豪たちの「？」な言葉【新書】	37, 65

文豪だって漢詩をよんだ【新書】 ……37, 64
 文豪の漢文旅日記【選書】 ……37, 62
 文体再見【選書】 ……45, 63
 [文法] であじわう名文【新書】 ……44, 65
 文明批評の系譜【選書】 ……40, 61

— へ —

平安朝の文学と装束【研究叢書】 ……11, 54
 平家物語とその周辺【新書】 ……31, 65
 平家物語の死生学 - 上・下 - 【新書】 ……30, 64
 変体がなで読む日本の古典 ……17, 57

— ほ —

大福光寺本 方丈記【影印校注古典叢書】 ……22, 58
 校注 方丈記・徒然草 ……22, 59
 方丈記と往生要集【選書】 ……32, 62
 鳳朗と一茶、その時代【選書】 ……6, 36, 63
 螢【青表紙本源氏物語】 ……57
 本朝麗藻全注釈 全五巻【注釈叢書】 ……13, 56

— ま —

真木柱【青表紙本源氏物語】 ……57
 『枕草子』をどうぞ【選書】 ……28, 62
 松井石根 アジア主義論集 ……16, 60
 待つ女の悲劇【新書】 ……34, 64
 松風【青表紙本源氏物語】 ……57
 魔法少女まどか☆マギカ講義録【新書】 ……45, 65
 幻【青表紙本源氏物語】 ……57
 万葉 恋歌の装い【選書】 ……26, 61
 万葉集からみる「世界」【新書】 ……26, 65
 万葉集宮廷歌人全注釈【選書】 ……26, 61
 校注 万葉集筑紫篇 ……18, 59
 万葉集巻一・二【影印校注古典叢書】 ……18, 58
 萬葉集名花百種鑑賞 ……26, 66
 万葉集略解抄【影印本】 ……18, 57
 万葉集を訓んだ人々【新書】 ……26, 65
 影印本 万葉新採百首解 ……19, 57
 萬葉の散歩みち - 上・下 - 【新書】 ……26, 64

萬葉の散歩みち - 続 - 【新書】 ……26, 65

— み —

濤標【青表紙本源氏物語】 ……57
 濤標・蓬生・閑屋【影印校注古典叢書】 ……20, 58
 未刊 江戸歌舞伎年代記集成【研究叢書】 ……16, 54
 三島由紀夫【日本の作家】 ……39, 61
 三島由紀夫の源流【選書】 ……39, 63
 三島由紀夫『豊饒の海』VS 野間宏『青年の環』【選書】 ……39, 63
 水鏡の成立と構造【研究叢書】 ……14, 55
 御法【青表紙本源氏物語】 ……57
 宮古の神々と聖なる森【選書】 ……43, 62
 宮崎駿が描いた少女たち【選書】 ……45, 63
 新版 宮崎駿の地平【選書】 ……45, 63
 行幸【青表紙本源氏物語】 ……57
 民間説話と『宇治拾遺物語』【研究叢書】 ……15, 55

— む —

昔男の青春【新書】 ……28, 64
 向田邦子の思い込みトランプ【新書】 ……40, 65
 向田邦子の比喩トランプ【新書】 ……40, 65
 向田邦子の末尾文トランプ【新書】 ……7, 40, 65
 向田邦子文学論【選書】 ……40, 63
 紫式部【日本の作家】 ……28, 60
 校注 紫式部日記 ……21, 59
 紫式部日記の世界へ【新書】 ……30, 64

— め —

明治、このフシギな時代【選書】 ……36, 63
 明治、このフシギな時代2【選書】 ……36, 63
 明治、このフシギな時代3【選書】 ……37, 63
 女神たちの中世物語【新書】 ……31, 65

— も —

毛髪で縫った曼荼羅【選書】 ……44, 61
 もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第1集…29, 66
 もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第2集…29, 66
 もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第3集…29, 66

もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第4集…6, 29, 66
 元良親王集全注釈【和歌文学注釈叢書】 …12, 56
 物語展開と人物造型の論理【研究叢書】 …12, 54
 物語のいでき始めのおや【選書】 ……28, 62
 物語の中の京都【新書】 ……31, 65
 物語文学の生成と展開【研究叢書】 ……11, 54
 紅葉賀【青表紙本源氏物語】 ……57
 紅葉賀・花宴・葵【影印校注古典叢書】 …20, 59
 森鷗外 永遠の問いかけ【選書】 ……37, 62

— や —

八百屋お七論【研究叢書】 ……16, 55
 宿木【青表紙本源氏物語】 ……57
 山鹿文庫本発心集【研究叢書】 ……14, 54
 山路の露・雲隠六帖【青表紙本源氏物語】 ……57
 校注 大和物語 ……19, 59
 大和物語文献集成【作品別研究文献】 ……11, 60

— ゆ —

夕顔【青表紙本源氏物語】 ……56
 夕霧【青表紙本源氏物語】 ……57
 ゆく河の水に流れて【選書】 ……41, 63
 夢の浮橋【青表紙本源氏物語】 ……57

— よ —

横笛【青表紙本源氏物語】 ……57
 義経伝説と鎌倉・藤沢・茅ヶ崎【選書】 …31, 62
 蓬生【青表紙本源氏物語】 ……57
 夜の海、永劫の海【新書】 ……42, 65
 『夜の寢覚』から読む物語文学史【研究叢書】 …13, 55
 ヨーロッパ観光事情 まち歩き楽しみ…41, 66

— り —

リアルなイーハトーヴ【選書】 ……38, 62
 理性と平和 ……45, 67
 琉球の恋歌【新書】 ……43, 64
 柳宗元古文注釈【注釈叢書】 ……8, 56
 良寛 - 文人の書 - ……36, 66

— れ —

礼法を伝えた男たち【新書】 ……44, 64
 「令和」から読む万葉集【新書】 ……26, 65
 影印本 連歌作品集 ……24, 58
 連歌という文芸とその周辺【研究叢書】 …14, 54
 連句の世界【活字本テキスト】 ……24, 60

— わ —

若菜上【青表紙本源氏物語】 ……57
 若菜下【青表紙本源氏物語】 ……57
 若紫【青表紙本源氏物語】 ……56
 若紫・末摘花【影印校注古典叢書】 ……20, 58
 和歌を力に生きる【新書】 ……27, 64
 忘れられた作家・忘れられない作品 ……37, 66
 〈悪口〉の文学、文学者の〈悪口〉【新書】 …34, 63
 我を絵に看る - 芭蕉の甲斐行 - 【新書】 …35, 64

— あ —

青木生子 ……………18, 59
 赤木孝之 ……………25, 60
 秋間康夫 ……………48
 秋山虔 ……………57
 秋山秀一 ……………7, 41, 42, 66
 阿久澤忠 ……………54
 坪美奈子 ……………11, 51, 52, 55
 浅川楨子 ……………20, 58
 浅田徹 ……………56
 麻原美子 ……………47
 浅見和彦 ……………22, 60
 安達太郎 ……………44, 66
 阿部秋生 ……………57
 阿部江美子 ……………20, 58
 阿部一彦 ……………52
 阿部好臣 ……………18
 安保博史 ……………17, 59
 雨海博洋 ……………49
 天野紀代子
 ……………3, 28, 30, 52, 63, 64
 天野文雄 ……………22, 60
 有馬義貴 ……………53
 有吉保 ……………20, 23, 58
 安藤亨子 ……………20, 58

— い —

飯沼清子 ……………13, 54
 伊井春樹 ……………49
 猪狩友一 ……………18
 井黒佳穂子 ……………53
 池田重 ……………25, 60
 池田勉 ……………57
 池田弥三郎 ……………57
 池辺実 ……………48
 石井文夫 ……………12, 56
 石井龍太 ……………43, 62
 石川徹 ……………48, 56
 石川洋子 ……………54
 石黒吉次郎 ……………15, 23, 33, 51,
 53, 55, 58, 64

石坂妙子 ……………49, 52
 石田穰二 ……………57
 石塚政吾 ……………40, 66
 伊地知鉄男 ……………17, 57
 石原清志 ……………49
 伊勢光 ……………13, 55
 磯水絵 ……………32, 66
 板垣俊一 ……………46, 67
 市井外喜子 ……………48, 50, 51
 一瀬幸子 ……………23, 58
 井爪康之 ……………48
 井手至 ……………48, 50
 伊藤悦子 ……………31, 66
 伊藤敬 ……………48, 51
 伊藤剣 ……………52
 伊東玉美 ……………31, 61
 伊藤鉄也 ……………6, 20, 29, 58, 66
 伊藤博 ……………21, 58
 伊藤守幸 ……………49, 53
 伊藤陽寿 ……………43, 64
 伊藤善隆 ……………24, 25, 60
 糸賀きみ江 ……………18, 59
 稻賀敬二
 ……………27, 28, 50, 57, 60, 61
 乾裕幸 ……………48
 犬養廉 ……………20, 22, 23, 57, 58
 井上和人 ……………24, 60
 井上啓治 ……………49
 井上さやか ……………26, 52, 65
 井上隆明 ……………47, 50
 井上隆史 ……………18, 39, 61, 63
 井上宗雄 ……………18, 59
 井上八雲 ……………19, 58
 井上泰至 ……………34, 63
 今井源衛 ……………19, 57
 今泉忠義 ……………57
 今井卓爾 ……………57
 今成元昭 ……………49
 今浜通隆 ……………5, 13~15, 55, 56
 李美淑 ……………52
 岩坪健 ……………27, 30, 64, 65
 岩淵宏子 ……………61

— う —

上坂信男 ……………49, 57
 上野辰義 ……………3, 13, 55
 上原作和 ……………57
 上村悦子 ……………57
 白田甚五郎 ……………57
 内田美由紀 ……………53
 有働智柴 ……………44, 67
 梅野きみ子 ……………49

— え —

江口正弘 ……………16, 23, 52, 56, 58
 江藤茂博 ……………41, 66
 榎坂浩尚 ……………49
 榎本正純 ……………42, 64
 江本裕 ……………51
 遠藤和夫 ……………20, 59
 遠藤邦基 ……………47

— お —

扇畑忠雄 ……………24, 60
 大朝雄二 ……………57
 大木正義 ……………42, 48~51, 62
 大倉比呂志 ……………22, 23, 50, 53, 59
 大島龍彦 ……………38, 50, 52, 62, 66
 大島裕子 ……………38, 64, 66
 大城悦子 ……………54
 太田敦子 ……………53, 65
 太田昌孝 ……………53
 大妻女子大学国文学会
 ……………22, 23, 59
 大伏春美 ……………23, 39, 49, 58, 66
 大伏節子 ……………39, 66
 大谷哲 ……………52
 大和博幸 ……………55
 大輪靖宏 ……………34, 64
 岡一男 ……………56
 岡崎和夫 ……………38, 61
 尾形明子 ……………39, 61
 岡田博子 ……………49
 岡野道夫 ……………21, 58

岡本隆雄 ……34, 62
岡保生 ……47, 48
岡山典弘 ……39, 63
小木曾千代子 ……52
荻野恭茂 ……38, 61
奥出文子 ……20, 58
小倉肇 ……49
尾崎知光 ……53, 54
小沢正夫 ……48
小田剛 ……31, 62, 66
小野美典 ……6, 16, 55
小野恭靖
……33, 34, 42, 61, 63~65
小俣喜久雄 ……34, 64
小村宏史 ……52

— か —

景山正隆 ……24, 48, 58, 60
鏑武彦 ……52
梶原正昭 ……50
片岡哲 ……49
片岡懋 ……47~49
片桐洋 ……12, 19, 56~58
片野達郎 ……24, 48, 60
片山ふゆき ……14, 55
勝倉壽一 ……14, 55
勝山貴之 ……42, 63
加藤静子 ……54
加藤伸江 ……4, 13, 55
金井清光 ……48, 49
かな研究会 ……17, 57
金澤和美 ……53
金田房子 ……6, 36, 63
金木利憲 ……15, 54
蒲豊彦 ……7, 39, 63
釜田喜三郎 ……48
神尾暢子
……21, 32, 47, 49~51, 58, 60
上島眞智子 ……15, 55
上條彰次 ……48
紙宏行 ……14, 54
川上富吉 ……18, 26, 54, 57, 66
川鍋義一 ……53
川平ひとし ……23, 58
関西私家集研究会 ……12, 56

神作光一 ……20, 23, 57~59
神田邦彦 ……14, 54
神田典城 ……54
— き —
菊田茂男 ……57
菊池威雄
……26, 32, 47, 50, 51, 61, 62
岸上慎二 ……56
北島信一 ……42, 64
北原美紗子 ……49
喜多義勇 ……57
木下優 ……5, 35, 66
木村正中 ……18, 59
京都橘大学日本語日文学科
……25, 60
京都仏教説話研究会 ……31, 63
雲英末雄 ……24, 58, 60

— く —

久喜の会 ……11, 56
久下晴康 ……20, 22, 47, 59, 60
久下裕利 ……48
日下幸男 ……50
くずし字研究会 ……17, 57
楠元六男 ……35, 48, 64
工藤浩 ……51
久保木哲夫 ……12, 56
久保木寿子 ……11, 55
久保朝孝 ……29, 62
熊谷義隆 ……30, 64
熊本守雄 ……51
倉田実 ……47
倉橋正恵 ……16, 54
呉羽長 ……53
桑原博史 ……22, 32, 57, 59, 60
桑原博行 ……16, 54

— け —

源氏物語を読む会
……12, 52, 53, 55

— こ —

小秋元段 ……15, 51, 54
小池章太郎 ……16, 54

小池博明 ……49
古池由美 ……50
小井土守敏 ……54
碁石雅利 ……18, 59
小内一明 ……22, 58
康林 ……51
小久保崇明 ……14, 21, 53, 55, 58
小財陽平 ……54
小澤洋子 ……29, 63
小島孝之 ……17, 22, 57, 60
古代中世文学論考刊行会
……2, 8~10, 55, 56
古田島洋介
……42, 44, 60, 62~64
古典和歌研究会 ……18, 59
後藤康文 ……53
小林一郎 ……38, 60
小林茂美 ……19, 58
小林裕子 ……38, 61
小林富久子 ……39, 61
小町谷照彦 ……29, 61
小松光三 ……49
小森潔 ……25, 60
小谷野純一
……22, 30, 59, 61, 62, 64
小山利彦 ……21, 59
今栄蔵 ……48
近藤豊勝 ……48
今野厚子 ……51

— さ —

西條勉 ……27, 64
齊藤千恵 ……16, 54
佐伯雅子 ……30, 52, 64
三枝和子 ……61
酒井敏 ……50
酒井茂幸 ……15, 53, 54
坂口善保 ……51
阪倉篤義 ……57
坂巻甲太 ……48
桜井宏徳 ……52, 54
桜井満 ……18, 58
桜井祐三 ……57
笹本正治 ……42, 63
佐藤恵里 ……50

佐藤勝明……24, 35, 58, 60, 66
佐藤勢紀子 ……………12, 54
佐藤隆 ……………8, 60
佐藤智広 ……………41, 66
佐藤信雅 ……………54
佐藤由佳 ……………4, 13, 55
三野恵 ……………34, 61

— し —

鹿野しのぶ……………53
繁田信一 ……………63
柴田幸子 ……………53
渋谷栄一 ……………29, 64
島内景二 ……………48
清水婦久子 ……………29, 63
清水文雄 ……………57
志水義夫 ……27, 35, 45, 62~65
清水好子 ……………57
志村有弘 ……………27, 37, 62, 63
志村士郎 ……………48, 50
正道寺康子……………51
白井忠功 ……………50
白石広子 ……………43, 63
城崎陽子 ……………26, 65
信州平安文学研究会 ……51
新藤協三 ……………51
神保五彌 ……………48

— す —

末澤明子 ……………11, 55
陶智子 ……………51
杉崎重遠 ……………47
杉下元明 ……………40, 64
杉谷寿郎……………12, 50, 56
杉田昌彦 ……………52
杉本完治……………18, 37, 54, 60, 62
杉森暢男 ……………48
杉山重行 ……………47
鈴木一雄……………21, 57, 58
鈴木啓吾……………33, 62, 63
鈴木堅弘 ……………16, 54
鈴木淳 ……………19, 57
鈴木武晴……………38, 62
鈴木知太郎……………56
鈴木俊幸 ……………53

鈴木元 ……………33, 49, 65
鈴木久 ……………32, 62
鈴木宏昌 ……………52
鈴木啓之 ……………52
鈴木泰恵 ……………23, 59
須田喜代次……………48
須藤圭 ……………53
諏訪春雄 ……………42, 63

— せ —

瀬尾博之 ……………3, 11, 55
瀬川拓郎 ……………43, 65
妹尾好信……………13, 28, 50, 55, 64

— そ —

曾沢太吉 ……………57
孫久富 ……………48, 49, 51

— た —

高木浩明 ……………52
高崎正秀 ……………57
高橋和夫 ……………57
高橋正治 ……………57
高橋忠彦……………15, 53, 55
高橋久子……………15, 53, 55
高橋博巳 ……………43, 64
高橋文二 ……………49
高松寿夫 ……………51
田口章子 ……………35, 43, 62, 63
武井和人 ……………54
竹内正彦 ……………51
竹尾利夫 ……………17, 59
竹下豊 ……………56
竹下義人 ……5, 24, 35, 60, 66
竹田晃 ……………8, 56
竹野静雄……………34, 47, 61
武山隆昭 ……………21, 59
田代圭一……………17, 41, 57, 65, 66
橘誠 ……………20, 58
橘りつ ……………19, 58
辰巳正明 ……18, 19, 26, 27, 59,
61, 64~66
田中康二 ……………36, 62
田中徳定 ……………31, 51, 62
田中裕 ……………22, 58

田中善信 ……16, 35, 36, 47, 52,
56, 61, 62, 64, 66
谷知子 ……………56
谷口基 ……………52
谷地快一……………24, 51, 60
谷脇理史 ……24, 47, 50, 60
玉上琢弥 ……………57
玉城司 ……5, 6, 35, 36, 63, 66
田村柳壺 ……………22, 60
多屋頼俊 ……………57

— ち —

崔吉城 ……………44, 66
趙秀全 ……………4, 13, 55

— つ —

塚原鉄雄……………17, 21, 47, 48, 50~
52, 58, 59
辻和良 ……………52
津田大樹 ……………54
土屋忍 ……………53
堤和博……………3, 12, 27, 55, 64, 65
堤康夫 ……………50, 52
津本信博……………51, 53, 54

— て —

デートレフ・ティール
……………45, 67
寺田洋祐 ……………5, 36, 66
寺本直彦 ……………57

— と —

土佐朋子……………2, 8, 55
戸谷高明 ……………47, 50
外山敦子 ……………51

— な —

中井賢一 ……………12, 54
永井義憲 ……………47
中川桂 ……………36, 62
長崎健 ……………22, 23, 58, 59
中沢けい ……………61
長島弘明 ……………18
中路基夫 ……………52
中城さと子……………51

中田節 ……44, 62
中田剛直 ……57
中田武司…19, 21, 58
中田雅敏…37, 45, 66
仲田庸幸 ……57
中西健治 ……53
中西進 ……26, 42, 61, 66
中西智子 ……12, 55
長沼英二 ……48
長野一雄 ……51
中野猛 ……49
中畑充弘 ……43, 62
中哲裕 ……50
永藤靖 ……49
中村博雄 ……45, 67
中村幸弘 ……18, 53, 59, 60
中本真人 ……14, 30, 53, 65
中山和子 ……39, 61
名木橋忠大…53
並木宏衛 ……18, 58
南波浩 ……57

— ㇗ —

西沢正二 ……23, 58
西田禎元 ……12, 55
西原志保 ……29, 65
二松學舎大学文学部国文学科
…41, 66
日記文学会中世分科会
…4, 31, 63
日記文学研究会 ……11, 60
仁平道明 ……52
日本文学検定委員会 ……18, 60
丹羽みさと ……16, 55

— の —

野口元大 ……21, 57
野田千平 ……48
野田浩子 ……49
野村幸一郎…6, 16, 37, 39, 40,
44~46, 60, 62, 63, 65, 66
野村貴次 ……47

— は —

萩谷朴 ……19, 21, 58, 59

迫徹朗 ……57
橋本不美男…23, 57, 58
長谷章久 ……57
長谷川啓 ……61
長谷川端 ……48, 51
畑恵里子 ……11, 52
畠山大二郎 ……11, 54
服部旦 ……47
花田富二夫…51
濱口博章…18, 26, 47, 59, 61
濱田敦 ……48, 50
濱田浩一郎 ……32, 65
濱田寛 ……13, 56
濱中修…17, 31, 49, 59, 65
林久美子 ……44, 66
林田正男…18, 47, 59
原國人

…28, 37, 39, 49, 50, 62, 66

原田香織 ……33, 65
原豊二 ……53
原楨子 ……28, 53, 62
針原孝之 ……52
播本眞一 ……52
ハルトムート・ゲールケン
…45, 67
半沢幹一 ……7, 40, 45, 63, 65
半田公平 ……51
半藤英明 ……8, 51, 54

— ひ —

日沖敦子 ……44, 61
東原伸明 ……50
人見千佐子 ……38, 62
日向一雅 ……47
平井芽阿里 ……43, 62
平田澄子 ……52
平田英夫 ……53
平田喜信 ……21, 48, 50, 58
廣岡義隆…26, 64, 65
廣川晶輝 ……63
廣川勝美 ……49
廣木一人…14, 24, 51, 54, 58
廣田收

…15, 28, 42, 53, 55, 62~64

邊恩田 ……16, 55

— ふ —

深澤邦弘…46, 51, 67
深沢徹 ……30, 64
福寛美
…31, 42, 43, 46, 64, 65, 67
藤岡忠美 ……56
藤澤友祥 ……54
藤平春男 ……18, 59
藤本宗利…28, 60, 62
藤原マリ子…50
二又淳 ……24, 60
古屋明子 ……12, 54

— へ —

平安私家集研究会 ……12, 56

— ほ —

保科恵 ……27, 49, 63
星野五彦 ……48
堀切実 ……34, 64
堀口悟 ……22, 59
本宮洋幸 ……55
本間洋一 ……17, 24, 59, 60

— ま —

前田雅之 ……53
増田繁夫 ……27, 60
増田みず子…61
松尾聡 ……57
松崎仁 ……24, 60
松園宣郎 ……48
松田存 ……53, 54
松野彩 ……54
松村博司 ……57
松村雄二 ……23, 59
松本直樹 ……18, 51
松本治久 ……50
松本弘毅 ……52
松本寧至 ……50
丸山茂 ……49
萬羽啓吾 ……36, 66

— み —

三瓶達司 ……47, 49

水田宗子 ……61
 水原一 ……49
 光延真哉 ……16, 54
 峯岸義秋 ……24, 60
 美夫君志会 ……50, 52
 三村晃功……32, 33, 62
 宮岡薫 ……47
 宮尾與男 ……35, 65
 宮川葉子 ……51
 宮崎莊平 ……28, 39, 46, 52, 54,
 61, 64, 67
 宮崎裕子……15, 53, 55
 宮脇真彦 ……24, 60

— む —

向田邦子研究会 ……40, 63
 村井順 ……57
 村尾誠一 ……32, 60
 村瀬敏夫 ……49

— め —

目加田さくを……57

— も —

馬上駿兵……37, 44, 65
 元吉進 ……20, 60
 桃澤匡行 ……54
 森岡常夫 ……57
 森岡ゆかり……37, 62, 64

森修 ……24, 58
 森田喜郎 ……49
 森野正弘 ……53
 森本元子 ……18, 21, 47, 59
 守屋省吾 ……20, 47, 50, 58
 両角倉一 ……50

— や —

安川定男 ……57
 矢内賢二……36, 37, 63
 柳澤浩哉 ……37, 62
 柳澤良一 ……14, 56
 柳田忠則……11, 19, 54, 59, 60
 藪禎子 ……38, 61
 山岡敬和……41, 53, 63
 山上義実 ……12, 55
 山岸徳平 ……17, 19, 20, 56~59
 山崎かおり……53
 山田純 ……8, 54
 山田利博 ……27, 30, 51, 65
 山田直巳 ……48, 50
 山田永 ……50
 山中悠希 ……17, 57
 山本英二 ……53
 山本啓介 ……52
 山本順子 ……45, 67

— ゆ —

湯浅幸代 ……13, 54

湯澤賢之助……50
 由里幸子 ……40, 61

— よ —

吉江久彌 ……47
 吉岡曠 ……57
 吉海直人
 ……5, 28, 32~34, 61~64
 吉川発輝 ……48
 吉田弥生 ……34, 64
 吉田唯 ……15, 55
 吉成直樹 ……36, 63
 吉丸雄哉……36, 52, 64
 吉村誠 ……19, 57

— り —

林叢 ……48

— わ —

鷲山茂雄 ……29, 63
 和田琢磨 ……17, 18, 54, 57
 渡辺静子……23, 47, 58
 渡邊澄子 ……61
 渡辺信和 ……52
 渡辺仁史 ……53
 渡辺善雄 ……51
 綿拔豊昭……44, 50, 64
 和田正美 ……40, 61
 和田律子 ……52

新典社常備店一覧

*小社の出版物は、下記書店のご協力により、店頭でご覧になれます。もし、ない場合には、全国どちらの書店からでもご注文いただけますので、書名・シリーズ名・巻数などを書店員にお伝え下さい。

- 【北海道】
札幌市 MARUZEN&ジュンク堂書店札幌店
- 【宮城 県】
仙台市 ジュンク堂書店仙台TR店
- 【栃木 県】
宇都宮市 落合書店宝木店
- 【群馬 県】
高崎市 ブックマンズアカデミー高崎店
高崎市 戸田書店高崎店
前橋市 ブックマンズアカデミー前橋店
太田市 ブックマンズアカデミー太田店
- 【茨城 県】
ひたちなか市 蔦屋書店ひたちなか店
- 【埼玉 県】
さいたま市 ジュンク堂書店大宮高島屋店
- 【千葉 県】
印西市 喜久屋書店千葉ニュータウン店
習志野市 丸善津田沼店
- 【東京 都】
千代田区 丸善丸の内本店
千代田区 三省堂書店神保町本店
中央区 丸善日本橋店
中央区 八重洲ブックセンター本店4F
渋谷区 MARUZEN&ジュンク堂書店渋谷店
豊島区 ジュンク堂書店池袋本店
武蔵野市 ジュンク堂書店吉祥寺店
立川市 ジュンク堂書店立川高島屋店
多摩市 丸善多摩センター店
- 【神奈川 県】
横浜市 有隣堂伊勢佐木町本店
藤沢市 ジュンク堂書店藤沢店
- 【新潟 県】
新潟市 ジュンク堂書店新潟店
- 【山梨 県】
都留市 都留文科大学生協書籍部
- 【静岡 県】
富士宮市 小長谷書店
- 【長野 県】
松本市 丸善松本店
- 【岐阜 県】
岐阜市 丸善岐阜店
大垣市 ACADEMIA大垣店
- 【愛知 県】
名古屋市 泰文堂日比野本店
名古屋市 丸善名古屋本店
- 【三重 県】
四日市市 宮脇書店四日市本店
- 【京都 府】
京都市 丸善京都本店
- 【大阪 府】
大阪市 ジュンク堂書店大阪本店
大阪市 MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店
大阪市 ジュンク堂書店天満橋店
大阪市 ジュンク堂書店難波店
- 【兵庫 県】
神戸市 ジュンク堂書店三宮店
神戸市 ジュンク堂書店三宮駅前店
姫路市 ジュンク堂書店姫路店
- 【岡山 県】
倉敷市 喜久屋書店倉敷店
- 【広島 県】
福山市 啓文社ポートプラザ店
広島市 丸善広島店
広島市 フタバ図書MEGA中筋店
広島市 ジュンク堂書店広島駅前店
安芸郡 フタバ図書TERA広島府中店
- 【香川 県】
高松市 宮脇書店総本店
- 【愛媛 県】
松山市 ジュンク堂書店松山店
新居浜市 沢井書店
- 【福岡 県】
中央区 ジュンク堂書店福岡店
福岡市 丸善博多店
- 【大分 県】
大分市 明林堂書店大分本店
- 【鹿児島 県】
鹿児島市 ジュンク堂書店鹿児島店
- 【沖縄 県】
那覇市 ジュンク堂書店那覇店